

発狂より狂気行動優先 のTRPGリプレイ

狼と月の間

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

と有る趣味を持つリアルでTRPG（主にクトゥルフ）をやっている主とリア友のリアルプレイを載せております。

目次

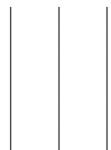
シナリオ一覧

Judgment・Chain	# 4	105
Judgment・Chain	# 3	85
Judgment・Chain	# 2	76
Judgment・Chain	# 1	48
?		
TF furry or human		19
死にたがり電車・後編		1
死にたがり電車・前編		

Judgment・Chain	# 5	119
Judgment・Chain	# 6	133
稲荷の村	# 1	145
稲荷の村	# 2	183
稲荷の村	# 3	196
Code・Cross	# 1	215
Code・Cross	# 2	237
金縛り殺人鬼	# 1	256
金縛り殺人鬼	# 2	278
七刻キザミ	# 1	294
		320

七刻キザミ
七刻キザミ
七刻キザミ

4 # 3 # 2



364 347 330

シナリオ一覧

死にたがり電車・前編

くササクレ宅く

ササクレ「アアアア……」

狼「どした？10連ガチャして全部ハズレか？」

ササクレ「そうじゃなくて最近暇だなんて思つて」

狼「確かにねえ……誰か来ないのk(〇)」

マトナ「呼ばれた気がしなかったので帰ります」

狼月&ササクレ「……」

ササクレ「捕まえろ！奴がルパンだ！」

狼「了解……オマエヲトラエル！」

マトナ「アアアアアニゲラレナイ！」

マトナ「で、クトゥルフ神話trpgやるん？」

狼&ササクレ「(コクコク)」

マトナ「分かった……推奨技能は以下の通りな」

推奨技能：目星 聞き耳 精神分析

推奨職業：電車に乗ってくれる人なら何でも

狼「『電車に乗ってくれる人なら何でも』？コレってどういう事だ？」

マトナ「そのままの意味だよ」

ササクレ「(職業選択中……)」

色々長いのでカット

マトナ「そんじやキャラ紹介簡単に宜しく」

狼「名前は『夜刀^{ヤトウ}』大学生。剣道部と登山部を掛け持ち」

ササクレ「同じく大学生の『囊橐^{ノイルホ}屢^ホ圃^ン怨』登山部だけど現在、旅をしております」

マトナ「関連性は？」

狼「先輩後輩。突如行方不明になった囊橐屢圃怨を探すべく、許可貰って夜刀一人で

捜索中」

マトナ「成程。一つ良いかな？」

ササクレ「どうかしたか？」

マトナ「なんでアー○ナイツから引つ張った？」

狼「バレテラ」

ササクレ「正直言つて……慣れ……ですかねえ？」

マトナ「慣れなん？まあ良いか……じゃあございさん制作『死にたがり電車』始めるよー」

狼&ササクレ「バッチコーイ」

では導入。夜刀は旅の一日を終え、次の駅に向かう為、電車を待つています。因みに
囊橐屢圍怨も居るんですけど人混みの中で見えないです。

囊橐屢圍怨「(そろそろ来るか……)」

夜刀「……今日も先輩は見つからない。一体何処へ行ったのか？」

やがてアナウンスと共に電車のライトがホームに近づいてくるでしょう。夜刀は乗車するため、乗車位置へ一歩足を進めます。すると、背後からやけに耳触りの良い、どこか楽しげな声がありました。

「命は粗末にするものではありませんよ」

夜刀「ッ!？」

その直後、あなたの身体はホームから線路の上へ投げ出されていきました。

囊彙屡圃怨「それって俺気付ける?」

〈目星〉 振らなくても分かるよ。

囊彙屡圃怨「あれは……夜刀!？」

轟音と、まばゆいばかりの電車のライトがすぐ目の前に迫っています。

夜刀「痛つ……つて……え?」

囊彙屡圃怨「夜刀ッ!」(バッ!)

夜刀「囊彙屡圃怨……先輩?」

その光に飲み込まれるように、あなた達の意識は遠のいてしまいます。

——なんだか心地の良い、慣れ親しんだ揺れと音に、暗闇の中で意識をゆっくりと浮上させます。

夜刀「……ここ……は?」

どうやらそこは電車の中で、あなたは座席に座り、いつもみたいに居眠りでもしていたかのように目を閉じていた様に思えます。

夜刀「……先輩は!？」

囊彙屢圃怨「誰だ、上に乗ってるのは……?」

夜刀「せ、先輩!?!すみません!?!」

囊彙屢圃怨「嗚呼……俺は大丈夫だ。夜刀、お前は大丈夫（ガバツ）や、夜刀!?!」

夜刀「探したんですよ……突然居なくなるから……」

囊彙屢圃怨「そうか。迷惑掛けちまった様だな」

夜刀「もう……馬鹿なんだから……!」

囊彙屢圃怨「取り敢えずここは何処なんだ?」

夜刀「私にも分からなくて……」

ぼんやりとした意識のままゆるゆると目を開けると、そこはおびただしい数の『人だったはずのもの』が散らばる、この世のものとは思えぬ惨状でした。電車内のスピーカーから、よく通る無機質な声が響きます。

「本日は当列車をご利用くださいまして、誠にありがとうございます。途中、終点までに、3駅を通過致します。お乗り間違えのお客様がいらっしゃいましたら、至急、乗務員にその旨をお伝えくださいますよう、お願いします。」

アナウンスは沈黙し、あとには電車の走る音だけ。

辺りには手足をちぎられていたり、臓物をまき散らしていたり、首だけになっていたり、何かでメッタ刺しにされていたり、とにかく無残極まりない死体が床にも座席にも、荷物棚に至るまで大量に散らかっている。SANチエックです。

夜刀 〈SANチエック〉

SAN65 ↓ 57成功

囊橐屢圃怨 〈SANチエック〉

SAN80 ↓ 1クリティカル

減少値は1d2+1

夜刀 〈SAN値減少〉

1d2+1 ↓ 2+1=3

残りSAN値62 (不定まで残り10)

囊橐屢圃怨 〈SAN値減少〉

1d2+1 ↓ 2+1=3

残りS A N値77（不定まで残り13）

夜刀「ツ!?これって……!?!」

囊彙屡圃怨「……血だな」

夜刀「血だな」って……慣れてるんですか?」

囊彙屡圃怨「んあ?生肉とか切ってたからな」

夜刀「あ、そう言う事ですか……」

壁や床や窓など、車両内には真つ赤な文字で「しにたくない」とびっしり書かれていて、進行方向と逆側にそれぞれ扉があり、窓が付いているので先の車両を見ることがもでききる。窓の外は真つ暗であり、何も見えない。

夜刀「先輩、何か書かれていますよ」

囊彙屡圃怨「何て書いてある?」

夜刀「何か……「死にたくない」とか。」

〈シックレットダイス〉

〈???〉 ↓ ??

夜刀「おいチョットマテ何振ったw」

囊彙屡圍怨「……あ（察し）」

夜刀が赤文字……いや血文字を読み上げると天井から床へと槍が突き刺さった。〈回避〉とかは振らなくて良いよ。

夜刀「かつ!？」

囊彙屡圍怨「大丈夫か!？」

夜刀「はい……なんか天井から槍が……」

囊彙屡圍怨「天井から?」

夜刀「天井から」

囊彙屡圍怨「……因みに何両編成?」

四両編成で今は二両目

夜刀「コオオオレまた中途半端」

囊彙屡圍怨「取り敢えず一両目見とくか」

どうやら最後尾の車両のようで、奥に乗務員室らしきものが見える。暗幕が掛かっており、中は見えない。車両内は比較的散らかっておらず、座席にスーツの男が一人、深

く俯いて座っているのが見える。顔は見えない。動く様子もない。

囊彙屢圃怨「(乗務員か?) 夜刀、乗務員居るぞ」

夜刀「取り敢えず開けるか試してみる?」

開けは出来るよ。

囊彙屢圃怨「じゃあ開けるか」

く一両目く

多少血や死体はあるものの、はじめの車両ほど散らかってはいない。乗務員室は暗幕がかかっている中は見えない。どうやらここが一番端の車両のようだ。で、スーツの男が深く俯き座席に座っている。

囊彙屢圃怨「乗務員さん?」

声をかけても反応はない。

夜刀「脈とか有る?」

近づくかどうかやら荒く呼吸をしている様子がわかる。

夜刀「先輩。微かですけど息してます」

囊彙屢圃怨「なら良いが……」

夜刀、覗き込んだんだよね?

夜刀「あ、はい」

顔を覗き込むと、喉元から大量の血が流れており、その喉は水平にぱっくりと裂かれ、その傷口からまだ血色の良いピンク色の舌が引つ張り出されているのを目にする。S
AN チェック。

夜刀「う”っ”……」

夜刀 〈SAN値チェック〉

SAN62 ↓ 6成功(—1減少)

残りSAN値61(不定まで残り9)

さらに〈アイデア〉どうぞ

夜刀「……はい？」

夜刀 〈アイデア〉判定

成功率80% ↓ 39成功

成功した夜刀は、気づいた時点で目を動かし口をぱくぱくさせ、何かを伝えようとす

る様子を見せる。声は出ていないが

「死にたい、死なせてくれ、殺してくれ」

と繰り返しているのがわかる。

夜刀「(殺してくれなんて……)」

すると、窓を割り電車の外から槍が飛んできて男の顔面を貫く。男は絶命する。

夜刀「なっ!？」

囊袋屢圃怨「下がれ!」

割れた窓の方を見ると、てらてらと光る巨大な体の何かが屋根の上へと上っていくのを一瞬だけ見ることができよう。SANチェック。

夜刀 〈SANチェック〉

SAN61 ↓ 94失敗

減少値1d3 ↓ —1減少

残りSAN値60 (不定まで残り8)

囊袋屢圃怨 〈SANチェック〉

SAN77 ↓ 86失敗

減少値1d3 ↓ | 2減少

残りSAN値75 (不定まで残り11)

囊彙屢圃怨「……今の見たか？」

夜刀「は、はい」

囊彙屢圃怨「あんな者出会ったらオーワタ」

夜刀「デシヨウネ」

囊彙屢圃怨「取り敢えず乗務員室行く？」

夜刀「一応ここで待ってます」

く乗務員室く

入口に鍵はかかかっていない。中は薄暗く、運転のための機器類や放送機材など一般的な電車と同じ作りになっている。

囊彙屢圃怨「暗っ！真っ暗で何も見えねえ！」

夜刀「薄暗いから若干見えますよ」

囊彙屢圃怨「前言撤回ッ！で、乗務員は？」

そこには文字通り「人影」がいた。車掌服を纏ってはいるものの、本来露出している

はずの頭の部分は、ぱつと見る限り顔のパーツらしきものは見当たらず真っ黒いモヤの
ようなものになっており、その上に帽子がまるで浮いているようだった。人の形である
が人ならざるそれに探索者は得も知れぬ恐怖を感じる。SANチェックです。

囊彙屢圃怨「影……Shadow……うつ……頭が……」

夜刀「おいやめろ、しかもそれ私のネタ」

囊彙屢圃怨 〈SANチェック〉

SAN75 ↓ 36成功（―1減少）

残りSAN値74（不定まで残り10）

囊彙屢圃怨 「あのー、すいません」

車掌の反応は無いですね。

囊彙屢圃怨 「聞け！デト○イト市警だ！」

反応なし。

夜刀「……もう肩とか叩けば良いのでは？」

囊彙屢圃怨 「あ、そっか。じゃあトントン」

探索者の方を向き、黒いモヤのような顔に真っ赤な口のようなものが現れる。

「どうかなされましたか、お客様。申し訳ございませんが、わたくしは見ての通り《車内放送のためだけ》に乗車しております。お手数ですがなにかご用事がございましたら、他の乗務員にお伝えくださいませ」

とだけ言い、またすぐ窓の外を向いてしまう。

囊彙屢圃怨「……そつかり、頑張れよ！」

夜刀「（呑気だなあ……先輩……）」

囊彙屢圃怨「て事で戻つて二両目！」

（三両目）

座席を埋め尽くす人数の人々が座り、全員深く俯いたまま動こうとしない。性別、服装、年齢層も様々である。床や乗客たちの服には血が付いていたりもする。ただし顔は見えない。一席だけ空席である。その席は血まみれで、そこから引きずられたように次の車両の扉へ続く血の跡がある。その席の隣に幼稚園くらいの小さな女の子が俯いて座っている。まだ先への扉があることから、先頭車両ではなさそうだ。窓は真つ赤に染まっており中を伺い見ることはできない。

夜刀「まだ乗客が居たんですか……」

囊彙屢圃怨「全員あの男と同じ考えだろ」

夜刀「そう願いたくないですよ……」

囊彙屡圃怨「んじゃ目星」

囊彙屡圃怨 〈目星〉判定

成功率65% ↓ 88失敗

夜刀 〈目星〉判定

成功率60% ↓ 21成功

んじゃ、夜刀なんだけど、一人の女子高生が血まみれの可愛らしい便箋を握っていることに気づく。血で汚れてほとんど読めないが、大まかな内容としては誰かを必死に励ましているように思える。手紙の最後には「死ぬとか簡単に言っちゃダメだよ」と書いている。

夜刀「先輩、これ……」

囊彙屡圃怨「ん？……成程、言うどダメなのか」

夜刀「きつと……でしようね」

追加で夜刀は〈アイデア〉判定

夜刀 〈アイデア〉判定

成功率80% ↓ 64成功

ここにいる乗客のほとんどに、喉の傷の他に手首に深い傷があったり、首にぐるりと細く赤い痕があったりと痛々しい痕跡を多々見つけることができる。もしかしたら、簡易的な遺書のようなものを身に着けているものもいるかもしれない。

夜刀「(自殺者? だとしたらさっきの男性の言葉も繋がる可能性は……?)」
囊袋屡圍怨「……どうかしたのか? 夜刀?」

夜刀「いえ、さっき死んだ方の言葉が気になって……あ」

シークレットダイス

∧???
∨
??

瞬間、目の前の乗客三人が窓の傍から飛んできた槍に貫かれた。その後、巨大なヒキガエルのような生き物が乗り込んできた。SANチェックだ。

夜刀 〈SANチェック〉

SAN60 ↓ 66失敗

1d6+2 ↓ |5減少

残りSAN値55 (不定まで残り3)

囊橐屢圃怨 (SANチェック)

SAN74 ↓ 23成功 (|1減少)

残りSAN値73 (不定まで残り9)

夜刀「I, m die」

囊橐屢圃怨「諦めるなー!」

〈アイデア〉判定

成功率80% ↓ 22成功

んじゃ発狂表見るから1d10振って

夜刀 (発狂内容) ロール

1d10 ↓ 1 (気絶あるいは金切り声の発作)

1 d 1 0 + 4 ↓ 9 ラウンド

夜刀「Oh……〈精神分析〉取ってるっけ？」

囊彙屢圃怨「(キャラシ確認中) 取ってない」

夜刀「よし！ 次のキャラシ用意するか！」

囊彙屢圃怨「だから諦めんなヨオ！」

夜刀「あ……ああ……(バタツ)」

囊彙屢圃怨「おい！ チツ……クソツタレが！」

……んじゃ戦闘開始。

死にたがり電車・後編

くらウンドー

DEX順で行うから夜刀↓囊彙屢圃怨↓化物の順ね

夜刀「気絶により行動不能」

囊彙屢圃怨「へこぶし」へタワーシールド」

囊彙屢圃怨「へこぶし(盾)」判定

成功率70% ↓ 25成功

化物「回避」判定

成功率??% ↓ 23成功

囊彙屢圃怨「……オラア！（ブンッ！）」

化物「シャアアアアア！（サッ！）」

ガンッ！

振りかぶった大盾は避けられた。

囊彙屢圃怨「クッソ！避けられたか！」

化物〈シークレットダイス〉

成功率??% ↓ 47成功

対象1d2 ↓ 2(囊彙屢圃怨)

化物は口の中から槍が飛び出した。

囊彙屢圃怨「〈回避〉ッ！」

囊彙屢圃怨〈回避〉判定

成功率51% ↓ 47成功

囊彙屢圃怨「(ザッ!) チッ！」

くらウンド2くら

夜刀「気絶により行動不能」

囊彙屢圃怨「へこぶし」対象は夜刀。」

囊橐屢圍怨 〈こぶし〉判定

成功率70% ↓ 58成功

ダメージロール1d3+1d6 ↓ 3ダメージ

(夜刀残りHP10)

夜刀は〈幸運〉1/2ロール。成功すれば発狂解除で良いよ。

夜刀 〈幸運〉1/2判定

成功率32% ↓ 18成功

夜刀「良しっ！」

んじゃ発狂解除。

夜刀「痛っ!?って私は一体……?」

囊橐屢圍怨「すまねえ!気絶してたんだよ!」

夜刀「何が何だか分からないけど……!」

夜刀は次のラウンドまでデイレイね。
夜刀「おっけ」

化物 〈シークレットダイス〉

成功率??% ↓ 64成功

対象1d2 ↓ 2 (囊彙屢圃怨)

囊彙屢圃怨 「また俺か！」

囊彙屢圃怨 〈回避〉判定

成功率51% ↓ 52失敗

ダメージロール1d10+1d6 ↓ 10ダメージ

囊彙屢圃怨 「タワーシールドオ！」

囊彙屢圃怨 〈こぶし〉(盾)判定

成功率70% ↓ 60成功

(囊彙屢圍怨残りHP9)

シユン……ザシユツ!

放たれた槍は盾で威力を削ごうとするが、全ては削げれず腹部に刺さった。

囊彙屢圍怨「ぐう”!!?”!

夜刀「先輩ツ!?”!

囊彙屢圍怨「……大丈夫だっ!今は……目の前の敵に集中しろっ!」

くラウンド3く

夜刀「……先輩ツ!時間を稼いで下さいッ!」

夜刀 〈居合〉判定

成功率70% ↓ 45成功

囊彙屢圍怨「……了解だ!」

囊彙屢圍怨 〈くぶし〉(盾)判定

成功率70% ↓ 49成功
防衛対象↓夜刀

化物「……グギャアアア！」

化物〈シークレットダイス〉
成功率??% ↓ 92失敗

放った槍は外した。

夜刀「後少し……！」

くらウンド4くら

夜刀「……ッ！」

夜刀〈居合〉判定
成功率70% ↓ 23成功

夜刀「もうちよい……!」

囊彙屢圃怨 〈へこぶし〉(盾)〈判定

成功率70% ↓ 66成功

防衛対象↓夜刀のまま

囊彙屢圃怨 「(夜刀は何をする気だ……?)」

化物 〈シークレットダイス〉

成功率??% ↓ 6成功

対象1 d 2 ↓ 1 (夜刀だが庇いにより囊彙屢圃怨)

化物「グアアアアア!」

ガシッ!

化物は囊彙屢圃怨を掴み、左足を引き千切ろうとしている。2ターン後に引き千切られるぞ。

囊彙屢圃怨「STR対抗行ける?」

ええよ。

夜刀「先輩！」

囊彙屢圃怨「筋力勝負か？相手してやるよ！」

囊彙屢圃怨〈筋力対抗〉ロール

成功率??% ↓ 73失敗

振り解こうとした囊彙屢圃怨だが、なかなか振り解けない。
囊彙屢圃怨「なかなか……やるな……！」

くラウンド5く

夜刀「〈居合〉してから抜刀！」

夜刀〈居合〉判定

成功率70% ↓ 59成功

夜刀〈日本刀〉判定

成功率75% ↓ 96ファンプル

夜刀「ア”ア”ア”ア”ア”ア”ア”！」

囊彙屢圃怨「嘘だろ？」

えっ……では、夜刀は居合後に接近。抜刀し上手く化物だけ斬り裂こうとするが、囊彙圃怨ごと斬り裂こうとしてしまう。

囊彙屢圃怨「KP、化物って組み付いているな？」

あ、うん。そうだけど……。

囊彙屢圃怨「回避」の応用でマト○ックスの如く身体を逸らして化物だけ切り裂ける
？」

良いねえ！でもファンブル出たから——30%判定で

囊彙屢圃怨 〈回避〉——30%判定

成功率21% ↓ 20成功

夜刀「せ、先p」

囊彙屢圃怨「やれえ！タイミングは合わせる！」

夜刀「……ッ！」

ササクレ「あ、一応〈応急手当〉」

夜刀 〈応急手当〉判定

成功率45% ↓ 26成功

回復量1d3 ↓ 3 (夜刀残りHP10)

囊彙屢圃怨 〈応急手当〉判定

成功率46% ↓ 4クリティカル

回復量2d3 ↓ 6 (囊彙屢圃怨残りHP15)

んでどする？先進むん？

夜刀「生きている方居るか片っ端から調べる」

おけおけ、なら5歳程の少女が俯いて座っている。近づくとすうすうとかすかな寝息が聞こえる事から生きている事が分かる。

夜刀「先輩。この子、息あります」

囊彙屢圃怨「(自殺) 志願者では無いと良いなあ」

夜刀「(トントン) お嬢ちゃん？大丈夫？」

声をかけたりゆすったり顔を上げさせたりすると、彼女は両目から血を流しているの

がわかる。そしてまるで寝起きのようにごしごしと目をこすり、目をつむったまま不思議そうに見渡すようなしぐさを見ると、探索者へ向けてこう言う。

少女「……おにいちゃん、どうしたの？」

夜刀「先輩まさか（小声）」

囊橐屡圃怨「俺を見るんじやねえ（小声）」

夜刀「でもお兄ちゃんって……（小声）」

囊橐屡圃怨「違うて、俺は知らん（小声）」

夜刀「……そうですか（小声）」

少女「おにいちゃん、誰と話してるの？」

夜刀「え？ええっ……と、私はお姉さんだよ？」

少女「おにいちゃんは……おにいちゃんだよ？」

夜刀「（お兄ちゃん？女性でも？）」

囊橐屡圃怨「先の車両の様子見てくる（小声）」

夜刀「……分かりました。何かあったら呼んでください（小声）」

囊橐屡圃怨「OK牧場（小声）」

夜刀「先輩、それ古いです（小声）」

んじや夜刀のシーンからね。

夜刀「少女に対して〈応急手当〉」

夜刀 〈応急手当〉判定

成功率45% ↓ 43成功

成功した夜刀は、彼女の目は両方とも無理にえぐり出されている事が分かる。本来なら激痛の筈であるのに。

夜刀「(痛覚は感じないのか?) ……ちよつと身体調べても良い?」

少女「……うん」

夜刀は少女の体を調べると、かなりの数の痣や傷を体中にみとめることができる。

夜刀「この痣って何?」

少女「あのね、またお父さんにぶたれて痛いのが増えたの。ここでしょ、ここでしょ」
少女は痣を指で押さえて見せるだろう。

夜刀「(父親……幼児虐待?)」

すると夜刀の電話が鳴る。囊橐屢圃怨からだ。

夜刀「ちよつと待っててね……はい、夜刀ですg」

囊彙屢圃怨「夜刀か、先の車両には来るなよ」

夜刀「え？どう言う事でs……切れた……」

すると先の車両からガンツ！と音が聞こえた。

夜刀「少女連れて先の車両へ向かいます」

はーい。じゃあ囊彙屢圃怨のシーンに変えるね。

では囊彙屢圃怨のシーン。次の車両に向かう扉前に貴方は立っているよ。

囊彙屢圃怨「次車両へゴー」

向かう前に〈聞き耳〉を振れ。

囊彙屢圃怨「ハァイ」

囊彙屢圃怨 〈聞き耳〉判定

成功率65% ↓ 38成功

では不明瞭ながらも「いやだ、やめて、しにたくない！しにたくないよ！」と言って
いる風に聞こえる。声はすぐに途切れた。

囊彙屢圃怨「タワ―シールド構えて静かに入る」

車内は血まみれであり、目覚めた車両と同じくらい死体で散らかっている。どうやらここは先頭車両のようで、奥に乗務員室らしきものが見える。ある一つの窓に大量に血が付着しており、窓枠がひしゃげている。そしてそのそばに血まみれの小さな腕が落ちていた。この状況下で腕の持ち主の姿も声もないことから探索者は想像してしまう。この腕の持ち主は窓から外に放り出され、必死にしがみついていた腕を窓枠をギロチンのように使い切り離されてしまったのだと。そして、窓の傍に巨大なヒキガエルのような生き物が鎮座しており、それはちぎられた小さな腕を拾い上げると楽しげに弄んでいる。それを確認した囊袋屢圃怨、S A N チェックだ。

囊袋屢圃怨「……」

囊袋屢圃怨 〈S A N チェック〉

S A N 7 3 ↓ 17 成功 (—1 減少)

残り S A N 値 7 2 (不定まで残り 8)

囊袋屢圃怨 「K P、化物つて後ろ向いてる?」

(シークレットダイス) 向いてるね。

囊袋屢圃怨 「へたワ—シールド」で殴り込み」

囊橐屢圍怨 〈こぶし〉(盾)判定

成功率70% ↓ 69成功

ダメージロール1d6+1+1d6 ↓ 9ダメージ

囊橐屢圍怨「……フンッ！」

ガンッ!と言う鈍い音が鳴り響くが、化物は倒れる此方に気付くだろう。戦闘だ。

ササクレ「KP、事前に夜刀に連絡する」

了解。なら2ラウンド後合流で。

くラウンド1く

囊橐屢圍怨「ブツ飛ばす！」

囊橐屢圍怨 〈こぶし〉(盾)判定

成功率70% ↓ 15成功

化物 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 82失敗

ダメージロール1d6+1+1d6 ↓ 10ダメージ

囊彙屢圃怨 「オラア！」

ガンツ！

頭にタワーシールドを叩きつけるが、化物は立っている。

〈シークレットダイス〉

成功率??% ↓ 30成功

囊彙屢圃怨 〈回避〉判定

成功率51% ↓ 17成功

放たれた槍は上手く躲せた様だ。

囊彙屢圃怨 「もう当たりたくねえからな！」

くラウンド2く

囊彙屢圃怨 「ブン殴る！」

囊彙屢圃怨 〈へこぶし(盾)〉判定

成功率70% ↓ 83失敗

放たれた盾の一撃は外した。

〈シークレットダイス〉

成功率??% ↓ 93失敗

飛び付こうとしたのだろう。しかし外した。

くラウンド3く

夜刀「(バンツ!)先輩!大丈夫ですか!?!」

囊彙屢圃怨「嗚呼!大丈夫だg……お前その子連れてきたのか!?!」

夜刀「生きてる子連れて来ただけですよ?」

囊彙屢圃怨「……いやまあそうんだけどさあ」

夜刀「取り敢えず、先輩は少女をお願いします。ここは私が相手しますので」

囊彙屢圃怨「死ぬなよ……ア、ヤベ」

シークレットダイス

???

↓

??

囊橐屢圍怨の上から槍が突き刺さる。命中はしなかった。

囊橐屢圍怨「怖えええええ！」

夜刀「……！」

夜刀 〈居合〉判定

成功率70% ↓ 11成功

夜刀 〈日本刀〉判定

成功率75% ↓ 75成功

化物 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 63失敗

化物「ギャ!？」

夜刀「逃がさないっ！」

ダメージロール1d10+1d4 ↓ 10ダメージ

ザシユ!

化物「ギエアアアア!」

彼女が放った袈裟斬りは腹部を斬り裂いた……。だが、化物はまだ立っている。

夜刀「……お嬢ちゃんは後ろのおじさんの後ろに隠れてて」

囊彙屢圃怨「おじさんって……まあ良いか。て事でデイレイで」

お、おう……分かった。

化物 〈シークレットダイス〉

成功率??% ↓ 30成功

対象1d3 ↓ 2 (囊彙屢圃怨)

化物は囊彙屢圃怨を掴み、右足を引き千切ろうとしている。

囊彙屢圃怨 〈筋力対抗〉ロール

成功率??% ↓ 41失敗

囊橐屢圍怨「やっぱり動けねえか……」

くラウンド2く

夜刀「〈居合〉〈日本刀〉」

夜刀 〈居合〉判定

成功率70% ↓ 77失敗

夜刀 〈日本刀〉判定

成功率75% ↓ 3クリティカル

夜刀「やっらい！」

ダメージ2倍か必中かどうぞぞ。

夜刀「必中！」

ダメージロール1d10+1d4 ↓ 11ダメージ

囊彙屢圃怨「マト○ツクスツ！」

囊彙屢圃怨〈回避〉判定

成功率51% ↓ 89失敗

(囊彙屢圃怨残りHP4)

ザシユツ！

化物「ゴギヤア!？」

囊彙屢圃怨「ぐあっ!？」

夜刀「先輩!?すみません!？」

あ、囊彙屢圃怨〈ショックロール〉だわ。

囊彙屢圃怨「80%有るから楽勝楽勝」

囊彙屢圃怨〈ショックロール〉判定

成功率80% ↓ 97ファンブル

囊橐屡圍怨「ア”ア”ア”ア”ア”ア”ア”ア”」

夜刀「フラグ乙」

え、ファンブル？じゃあ、戦闘終了まで気絶判定因みに気絶しても、後1ターンで片足挽がれます。

夜刀「あれ？少女は？」

隅っこでふらふらしてる。

夜刀「……大丈夫かな？」

くらウンド3く

夜刀「貫け！牙突ッ！」

あ、そうそう。〈幸運〉で囊橐屡圍怨に当たらない様にする事も出来るよ。

夜刀 〈居合〉判定

成功率70% ↓ 94失敗

夜刀 〈日本刀〉判定

成功率75% ↓ 44成功

ダメージロール1d10+1d4 ↓ 11ダメージ

夜刀 〈幸運〉判定

成功率65% ↓ 54成功

グサツ!

化物「ガアアアア!」

牙突は心臓を貫き、化物の生命活動は停止した。

……戦闘終了です。お疲れ様でした。

夜刀「先輩ツ!起きて下さいッ!(パアン!)」

トドメ刺そうとしてない?

夜刀 〈応急手当〉判定

成功率45% ↓ 59失敗

斬りつけた傷は治せなかったが囊彙屢圃怨は起きて良いよ。

囊彙屢圃怨「……はっ!?俺は一体!?!」

夜刀「私の攻撃に躲し切れず当たって気絶したんですよ!」

囊彙屢圃怨「〈応急手当〉」

囊彙屢圃怨「〈応急手当〉」判定

成功率46% ↓ 58失敗

囊彙屢圃怨「そ、そうか……と、取り敢えず。こいつをどかし……て。よし、行こうぜ」

夜刀「は、はい……あ、少女」

少女はトコトコ来るね。

囊彙屢圃怨「てえてえな」

夜刀「〈目星〉確認」

夜刀「〈目星〉判定

成功率60% ↓ 90失敗

囊彙屢圃怨「〈目星〉判定

成功率65% ↓ 29成功

では囊彙屢圃怨は化物が持っていた子供の腕はどうやら何かを握っているようだ
と気付くだろう。

囊彙屢圃怨「調べるぜ」

握られていたのはくしゃくしゃになった紙きれで、血で描かれたような震える赤い文
字で「いきて」とある。

囊彙屢圃怨「夜刀、これ見ろよ」

夜刀「……遺書ですかね？」

囊彙屢圃怨「分かんねえよな」「いきて」って

夜刀「……まさか？」

囊彙屢圃怨「ん？どうかしたのか？」

夜刀「先輩。この文字に希望を持って言ってみて下さい。」

囊彙屢圃怨「うえ？一体……そう言うことか！」

夜刀「お嬢ちゃん。一緒に言ってくれる？」

少女「……うん。」

じゃあ二人と少女はどうしますか？

夜刀・囊彙屢圃怨・少女「生きたいです！」

すると電車は急ブレーキをかけ、完全に停車してから扉の開く音とアナウンスが流れる。

「大変申し訳ありませんでした。こちらの不手際により、本来ご乗車になられるはずのないお客様がいらっしやっただようです。お客様の下車のため緊急停車させて頂きました。乗務員の案内に従って頂きどうぞお降りください。どうか、生きようとするお客様の前途に、幸あらんことを」

運転士は深々とお辞儀をすると、外へ出るように促すようなしぐさをする。

夜刀「少女の手を繋いで出ます」

囊彙屢圃怨「俺も少女の手を繋ぐぜ」

促されるまま扉を出ると、そこは真つ暗闇だ。間もなく背後で扉が閉まった。電車はどこかへと走り去ってしまった。

足元はおぼつかなかったが、確かに道は存在しているようだった。当てもなく進んでいくと、どこからか光が見えてくる。そして間もなく、探索者はその優しい光に包まれ再び意識を失うことだろう。

囊彙屢圃怨「あ、KP。少し相談が……」

夜刀「いつ……先輩？大丈夫ですか？」

囊囊屢圍怨の姿はそこにはなかった。彼が居た所には手紙が置いてある。

「夜刀、この手紙を読んでいると言う事は、俺はもう居ないな。あ、死んだんじゃねえぞ？また旅を続けるだけさ。また会う時が来たらその時はその時だ。んじゃ、俺は行くから。怪我するんじゃねえぞ？」

夜刀「もう、これだから先輩は……」

駅員「その君!?大丈夫か!」

……さわがしい喧騒に見上げると、駅員たちが真つ青な顔で見降ろしていた。話を聞くと、どうやら自分はふらりと線路に飛び込んだらしい。だが奇跡的に電車とホームの隙間へ落ちたらしく、無傷だったとのこと。そして数日前にここよりも前の駅で行方不明になっていた兄妹のうちの一人が、何故か傍に倒れていたそうだ。兄はまだ見つからないとのこと。監視カメラにも、背を押したはずの人の姿はなかった。

夜刀は警察の事情聴取や検査入院等で慌ただしく過ごしたのち、事故としてそう経たず解放されるだろう。

帰り際、話を聞けばあの少女は精神的なショックから視覚を失っていること、兄はまだ見つからないこと、ただ、少女は別居していた母親に引き取られ、母親も夫との

離婚や裁判などについて相談を行っているとのことだった。

シナリオ「死にたがり電車」 トウルーエンドです

お疲れ様でした。

TF furry or human?

↳狼宅↳

狼「……」

幡幡「……」

狼「……あの」

幡幡「シナリオやります?」

狼「アツハイ」

推奨技能

新規推奨（ロストでも可能）

探索系技能、回避、それなりのRP（任意）

狼「（戦闘系か?でも探索もあるし……）」

ササクレ「長いのでカットしてやるぜ!」

幡幡「はい！今回の犠牲者紹介お願いします！」

狼「犠牲者ちやう。と言う事で自己紹介をば、継続キャラの『白ノ恵シラノメ 夏希ナツキ』です。高校生で格闘部所属の部長。家庭科で余ったフェルトで人形をたまに作る高校生。気配りができるが本人は分かっておらず。趣味は音楽鑑賞だとか。好物は苺大福。」

幡幡「女子なの!？」

狼「いえ男子です」

幡幡「(, @,)」

狼「(, @,)」

幡幡「(, @,) d」

狼「(/ @?)」

では描写。突然だが夏希は、と有る考えを持っていた。もしも貴方が獣っ子だったら？いや、そんな事は無理だろう。

夏希「……夢も欠片もないからなあ」

そう思っていると白い閃光と共に探索者の意識は途切れた。

夏希「シナリオ終了です」

お疲れ様でした。

夏希「じゃなくて！早よ進めてよ！w」

意識が徐々に回復し目を覚ます。

夏希「うう……ん？」

辺りを見渡すとそこは何処かの部屋。奥には扉が有り、周りにはベッドに白い液体と机が有る。

夏希「ベッドから降りて机確認」

横長な机、上には紙が置いてある。

夏希「読む」

ではこう書かれている。

「おはよう。目が覚めてから此処が何処か驚いているだろうが、私は君を保護する事になったんだ。そして驚かないで欲しい。諸君以外の人類は絶滅した。取り敢えず起きたなら私の所へ来て欲しい。話はそこで話そう。」

夏希「人類……滅亡……？う、裏は……？」

「そこにある白い液体や途中に会うジェル状の物体、動物達にはくれぐれも注意したまえ。触れたり捕まったりしたら君は一時を終えるだろう。もし、人間と言う人生を終えたい

のなら触れば良い。代償も付く事を忘れるな。一応、地図も載せとこう。」

夏希「ヤダッ！もう部屋出る！」

く大広間く

扉を出ると大広間の様だ。さっきの部屋を含めて

6つの扉が有る。しかもなんかゲル状の物体や先程の部屋に有った白い液体も散乱している。

夏希「広っ!?何処まであるの？」

因みに夏希が出てきた部屋は1と考えて良いよ。

夏希「じゃあ順番に調べる……」

く部屋2く

探索者が寝ていた寝室と同じ様だ。だが所々荒らされており、ベッドのシーツは濡れている。

夏希「〈目星〉? 〈目星〉か?」

夏希 〈目星〉判定

成功率77% ↓ 35成功

では3枚の写真が目に入る。1枚目は白衣の研究者と人型の様な動物が戯れている。2枚目は人型の動物が研究者を取り込んでいる写真だ。3枚目は白衣を着た人型の動物が写っている。と言う事で夏希。〈アイデア〉振ってみて？

夏希 〈アイデア〉判定

成功率80% ↓ 42成功

まさかだと思うが……恐怖と取り込まれた者の末路を悟った探索者はSANチエツクだよ。

夏希 「……」

夏希 〈SANチエツク〉

成功率70% ↓ 54成功(減少—1)

残りSAN値69(不定まで13)

夏希「……南無」

く部屋3く

テーブルに料理が置かれている。どうやら食堂の様だ。そして恰も読んでくださいと言わんばかりのメモが置いてある。

夏希「見たくないけど見る……」

「そう言えばお腹が空いているだろう。食事を用意した。安心したまえ、危険な物は入っていない。」と書かれている。

夏希「そう言えばまだお昼済まして無かった」

済ましてないの!?

夏希「だって、夏希格闘部部长だよ？」

あ、そう言う事。

夏希「何を考えたのかは放って……食事は？」

パンとシチューなどが用意されている。美味しそうな匂いが探索者の鼻を撥る。

夏希「POW×5で対抗していい？」

普通に食べれるけど、まあ良いよ。

夏希 〈POW×5〉ロール

成功率70% ↓ ???

夏希 「食べます」

失敗したんだね？

夏希 「そうですよお！」

では食べると普通に美味しい。身体にも変化は無い。SAN回復1d3ね。

夏希 〈SAN値回復〉1d3 ↓ 1回復

残りSAN値70 (全回復)

夏希 「やった。て事で次に」

〈部屋4〉

奥に部屋があるが内側から開けられない病室、どうやらここは隔離室の様だ。部屋の奥には誰かが壁に背を向けて座っている。

夏希 「入りますよそりゃ」

中に入ると白衣姿の男性が壁に背を向けて座っていた。貴方に気がつく、「ああ、まだ生存者が居たのか……だが来ない方が良い。」と言いつつ警告する。

夏希「えつと……どうしてですか？」

研究員「奴に触れられ寄生された……身体はもう持たない。私の手を見てみない。」すると研究員は左手を貴方に見せる。彼の左手は獣の毛が生えており、徐々に彼の身体は毛が生える様に蝕んでいるのか変わっている。

夏希「少し触れますよ？」

研究員「触れるな！寄生されたら最後……俺は奴らと同じだ。もう犠牲者は増やしたくない。」

夏希「……でも！」

瞬間、ガンガンとダクト付近から音が聞こえる。

その音はだんだんと近くなり、ついには降りて来て姿を現した。その姿はキツネの様な姿を持つ人だった。そして二人の方を見るとニヤリと笑みを浮かべ襲いかかって来る。

〈シークレットダイス〉 1d2 ↓ 1 (夏希)

対象は夏希だ。

夏希「〈回避〉だ！」

夏希 〈回避〉判定

成功率24% ↓ 49失敗

夏希「避けきれない!？」

貴方は襲い掛かるキツネの獣人を避けようとするが逃げられない……と思った瞬間だった。

研究員「うおおおおお！」

崩れ落ちていた研究員が力を振り絞ったのか思いつきりにタツクルした……が、彼のタツクルも虚しく押し倒された。そして、またニヤリと笑みを浮かべた瞬間、研究員を取り込み始めた。足……手……下半身から上半身へと取り込んでいく。研究員は探索者に大声で……

研究員「……逃げろ！私はもう限界だ！君達に被害が出ない様に隔離室を封鎖する！早く出ろ！」

夏希「でも……貴方は……！」

研究員「良いから行け！」

夏希「うっ……必ず、必ず助けに戻ります！」

夏希が隔離室から出たのを確認したのか懐からリモコンを取り出しボタンを押すとシャッターが降りる。その数秒後「あ……がああ……」と悲嘆の嘆きが聞こえたが、それ以上は聞こえない。

……彼は、ここで生涯を終えたのだろう。SAN値チェック。

夏希「そんな……そんな……嘘だ……嘘だっ！」

夏希 〈SANチェック〉

成功率70% ↓ 48成功(減少—1)

残りSAN値69(不定まで13)

夏希「次の部屋に行きます……」

〈部屋5〉

ロッカーが並んでおり、散らばった衣服や壊れているであろう通信機が落ちている。

夏希「〈目星〉」

夏希 〈目星〉判定

成功率77% ↓ 46成功

ロッカーの中からガスマスクが出てくる。損傷が酷くて使えない物も有れば、まだまだ使える物が人数分有るだろう。

夏希 「研究員も……一応装備します。そして次の部屋へ」

〈シークレットダイス〉 ??? ↓ 58

通信機がザザツツと反応する。そして何者かの声が聞こえる。

??? 「あ、あー? 誰か聞こえるかい?」

夏希 「ツ!? 誰だ!」

??? 「応答有りと言う事は生きてるんだね。良かった良かった。」

夏希 「良かった……? 此方では一人の研究員が犠牲になったんですよ! と言うか誰だ

!

??? 「んー、研究者……と言うよりは……話すと長くなるから詳しい話はこっちに來て

からで良いかな？ごめんね？取り敢えずこの先の研究部屋に来てよ！博士も言っていたし、詳しい話はそこで話すから！あ、通る時はくれぐれも注意ね！」

夏希「……。」

〈部屋6〉

一本道の廊下。特には怪しい物は無いと思われ、奥には扉が見える。

夏希「〈目星〉する」

夏希 〈目星〉判定

成功率77% ↓ 69成功

正面上の角付近から噴射口見たいのが見える。

夏希「そのまま進む」

では青いガスが放出されるが、ガスマスクをしている夏希には意味が無かった。

〈部屋7〉

ガスの部屋を抜けるとそこは本棚がずらりと並んで置かれている。真正面には机と椅子、パソコン。そして薬品らしきものとシエルターらしき扉が有る。しかも寝息が聞こえるので見ると白衣姿で黒い尻尾の仮面獣人が「すう……すう……」と寝息を立てている。

??? 「……おや？ 予定より早く来たかね？」

声がある方を向けると、どうやら奥の椅子に誰か座っていた様だ。白い薄毛に太い尻尾。白衣姿のツインレギュレーターガスマスクを付けた白狼獣人がこちらを見ていた。そして貴方に気付くとゆっくりと近づく。

夏希 「思いつきり戦闘態勢」

??? 「おっと、安心したまえ。私は君達を襲わない。寧ろ寄生する気もない……と言うよりは寄生出来ないと言った方が正解だろう」

夏希 「巫山戯るな！ 研究員が取り込まれたんだ！ そんな言葉信用できるか！」
 ??? 「そんなに警戒するなら触ってみるか？」

と言い手を広げ身を差し出してくる。

夏希 「……ッ！」

夏希 〈キック〉判定

成功率94% ↓ 64成功

夏希 〈マーシャルアーツ〉判定

成功率74% ↓ 49成功

???
〈???〉

成功率??% ↓ 60成功

夏希「ハアツ！」

夏希は渾身の蹴りを放つが……

??? 「おっと…… (ガシッ!)」

避けられ、尻尾を巧みに使い捕まえられる。

夏希「ぐっ……はな……せっ……!!」

??? 「そんな怯えなくて良いのに、ほれ」

触れさせらるが、自身の身体には変化はない。

??? 「そういえば名前を言っただけな。私の名は『Selektor』この研究所の博士だ……そうだな、少しの質問なら受けつけよう。」

夏希「何故……研究者を殺した……あのキツネは……お前の……だろ！」

Selecto「キツネ? ああ、寄生者も居たのか。残念だが私は「寄生された者」

でワクチンのお陰で意識はハッキリしており、この姿で過ごしている。これは大発見だと私は気付いたのだ。」

夏希「その結果が……あの……犠牲者だろ！」

Select or 「犠牲者？もしかして私達が元凶と言うのかい？」

夏希「どう見ても……そうだろ！」

Select or 「……どうやら君は少し、休んだ方が良さそうだ」

夏希「どう言う……事だっ!？」

尻尾を分裂させ、そのまま貴方を包みこむ。貴方はどんどん意識が遠くなるだろう。

Select or 「君が落ち着き、目覚めたら話そう」

夏希「くっ……ううっ……まだっ……だっ……」

再び目覚めると、黒狼獣人の尻尾が目に入る。

??? 「あ、目が覚めましたか？」

夏希「私は……一体……?」

??? 「Select or 博士の尻尾繭で眠らされていたのですよ。気分はどうですか

？」

夏希「大丈夫……そういえばSelect or 博士とか言う人は？」

Selector「ここに居るが」

黒狼獣人の後ろで本を読んでいた。

???「あ、そうでした。自己紹介を、私の名前は『Che^チssi^シdo^ド』博士の助手をしています。」

彼女は軽くお辞儀をして一礼する。それと同時に尻尾がピクピクしており、上下にパタパタと動いている。

Selector「……彼も起きたし、本題に移そうか。君には、ワクチンの製作に手伝って欲しい。」

夏希「その前に少し良いですか？」

Selector「ん？どうかしたのか？」

夏希「……すみません。先程は蹴ろうとしてしまつて。あれを見てから混乱してしまつて」

Selector「……良いんだ。私も、彼女もこの光景は何度も見てきてる。苦しいの是一緒だ」

夏希「……そうですね。えと、ワクチン製作ですよね？」

Chessido「はい！危険を伴いますが……成功すれば、貴方を元の世界へ転送させます！」

Selector 「選択は君達次第だ。どうする？」

ここで手伝うか、手伝わないか選択できるよ。

夏希 「……さっきの件もあります。償いの為に手伝わせて下さい」

Selector 「ありがとう。一応此方も支給する物も有るが……居るかね？」

夏希 「では、お言葉に甘えて」

夏希は支給品の新品のガスマスクと透明の液体が入った注射器を一本手渡される。

Selector 「君達のそのガスマスクは半壊しているだろう。こちらの新品を渡そう。この先の廊下のガスを防ぐ。後は……」

Chessido 「一応、こちらも渡しておきますね！」

するとChessidoは君達に通信機を渡してくれるだろう。

Chessido 「何か有りましたらご連絡ください！私もお手伝いします！」

Selector 「それでは頼んだぞ。くれぐれも寄生報告は聞きたくないからな。」

夏希 「……ええ、成功報告を待つて下さい」

本棚がずらりと並んで置かれている。真正面には机と椅子、パソコン。そして薬品らしきものとシエルターらしき扉が有る。Selectorはパソコンで何か調べ物をしており、本棚にはChessidoが本を手に取り読んでいる。

夏希「机と椅子を調べるわ」

では机と椅子とパソコンね。

Selector「私物に調べ物か？まあ、散らばせない様にしてくれれば良いが……」

夏希「了解です。では〈目星〉」

夏希 〈目星〉判定

成功率77% ↓ 52成功

机の引き出しから一枚の書類が出てくる。

内容は「対寄生ワクチン・材料」と書いてある。

夏希「読みます」

〈対寄生ワクチン・材料〉

寄生液体

・そこら辺に有る液体かゲル状の物体に注射器を 使つて採取。ただしゲル状の物体は危険。また人肌で接触すると寄生される為注意すること。

Rayの対寄生ワクチン投与報告書

・隔離室で担当しているRayの報告書。当の本人はワクチンを投与してない為、既に捕まり寄生されている可能性が高め。

ルキル・プロスの細胞

・極限環境植物「ルキル・プロス」どうやら、奴には対寄生ワクチンに即効性を高めるらしい。詳しい事は本に記載している。

夏希「本棚に情報が……では本棚へ」

本棚ね。ではChessidoが笑顔で返してくる。

Chessido「はい！どうかしましたか？」

夏希「ルキル・プロスの本を探しに……」

〈図書館〉どうぞ。

夏希 〈図書館〉判定

成功率87% ↓ 56成功

では「ルキル・プロスの植生について」と書かれている本を見つける。

夏希「読みます」

「ルキル・プロスの植生について」

ルキル・プロスは土さえ有れば何処でも生える植物。毒性が有るので無闇に食べない様に注意。最近では寄生液体の近くにも生えることが有るが主に生存者が寝ている寝室に生えるようになった。とある日、研究員の一人がルキル・プロスを除去する為に手で触れた途端、即座に寄生した為。寄生能力が大きいのも確認出来た。その後、我々が更に調べた結果、対寄生ワクチンに即効性を高める効果も確認出来た。暫くは生存者が寝ている寝室に生えてくるルキル・プロスを採取する様に。また、素手ではなくビニール手袋で採取する事。ビニール手袋は更衣室のロッカー内に随時入れておき、定期的に消毒する事。

夏希「成程、大広間へ向かいます。Chessidoさんありがとうございます。」
Chessido「いえいえ！」

「大広間」

「ここで〈聞き耳〉を振るんだア！」

夏希「嫌な予感」

夏希 〈聞き耳〉判定

成功率65% ↓ 95失敗

では何も起きないよ。

夏希「うーん？取り敢えず部屋1へ」

〈シークレットダイス〉

〈部屋1〉

此処は探索者達は寝ていた部屋だろう。周りには白いベッドに白い液体と机が有る。

夏希「ベッド退かせます？」

退かせるよ。

夏希「じゃあベッド退かしてみます」

ではベッドの下に白い花が生えている。ルキル・プロスの植生を読んでいる夏希は分

かる。これがルキル・プロスだと。

夏希「確か採取方法はビニール手袋……ロッカーだっけ？」

〈シークレットダイス〉

〈部屋5〉

ロッカーが並んでおり、散らばった衣服や壊れているであろう通信機が落ちている。

夏希「ロッカー開けます」

ではビニール手袋が手に入るね

夏希「では戻りましょう」

〈シークレットダイス〉

〈部屋1〉

ベッドの下にルキル・プロスが生えている。

夏希「ビニール手袋をしたままルキル・プロスを採取します。あれ？てか白い液体もあるから注射器で採れば……」

注射器の中に何か入っている。

夏希 「ん？何これ……取り敢えず空じやないなら持つておこう……」

では『ルキル・プロスの細胞』を獲得しました。

夏希 「あとは『寄生液体』と『Rayの対寄生ワクチン投与報告書』だけ……隔離室の人……もしかしたらRayと言う方とか？」

〈シークレットダイス〉

↳ 部屋4 (隔離室) ↳

奥に部屋があるが内側から開けられない病室。

隔離室。部屋の奥には研究者が居たであろう姿が消えており、隔離壁らしき物が破壊されている。

夏希 「Rayの対寄生ワクチン投与報告書が有るか〈目星〉ZOY☆」

夏希 〈目星〉判定

成功率77% ↓ 12成功

では一部が見つかる。もう一部が有れば繋がるだろうかと思う。では此処で〈回避〉

かDEX×3判定。

夏希「え」

夏希 〈DEX×3〉ロール

成功率36% ↓ 2クリティカル

夏希「良しっ！」

では背後に嫌悪感を感じた夏希は素早く躲すことが出来る。目の前にはキツネの獣人が飛び掛かろうとしていた。カウンターとして行動して良いよ。

夏希「なら注射器を！これでも喰らってろ！」

では注射器の中身をキツネの獣人に投与すると、急に大人しくなつたと同時にポロツと紙が出てきた。

夏希「取って退散！」

く大広間く

では逃げきれたね。追っては来ない様だ。

夏希「で、何の紙？」

それは『Rayの対寄生ワクチン投与報告書』の一部だ。二枚の紙を合わせてみると、どうやら報告書の様だ。最後の名前には『Ray』と書かれている。

夏希「Rayさん……安らかに。ゲル状の物体に注射器をブツ刺して採取します」

では『寄生液体』と『Rayの対寄生ワクチン投与報告書』を手に入れる。

夏希「これでワクチンが作れる筈……行こう！」

〈部屋7〉

三つのワクチン材料を持って行き、部屋へ戻るとSelectorが薬品が入ったフラスコを見ている。すると貴方に気付いたのかChessidoが近付いて来て

Chessido「……今はそつとしとして下さい。博士、頑張つてとある薬品の製作をしているんです。あ、材料持つてきてくれたんですね！こちらで受け取っておきます！」

夏希「あ、はい」

三つのワクチン材料を持って机の上に乗せてからもう一度貴方に近付いて来る。

Chessido「少し疲れましたよね？ゆっくり休んではどうでしょうか？」

夏希「そうだね。少し……寝ようかな……」

暫くして貴方は目を覚ます。目を擦って視界が鮮明に見えてくると「やりましたね！博士！」と言う歓喜の声と「これで何とかなると思う。」と言う物静かだが若干喜んでる様な声が聞こえる。起きた事に気付いたのかSelectorとChessidoは貴方に向けてこう言った。

Selector「感謝する。君のお陰でワクチンが完成した。この恩はどう返せば良いか……。」

Chessido「もう！博士つたら……本当に君達には感謝しているよ！では約束通り現実世界に返して……。」

……Chessidoは何故か途中で言い止めると深く考えてSelectorに耳打ちした。すると納得したのかSelectorは探索者に向けて、

Selector「私は君達には恩を返す事が出来ない。だが一つ恩を返す事が出来る。……君達が『獣人として生きて行きたいか』と言う事だ。」

夏希「獣人……として？」

Chessido「でも大丈夫！寄生されてもワクチンを投与してとある物を渡すから社会でも生きていけるよ！」

Selector「と言う事だ。判断は任せる。人間として生きて行くか。寄生体として新しい生活を試してみるか。」

此処で最後の選択が選べるよ、人間として生きて帰るか、寄生者として生きて帰るか。

夏希「……Selectorさん。半人半猫って出来ます?」

Selector「出来るぞ」

夏希「じゃあ、お願いします」

Selector「……後悔は無いんだな?」

夏希「……ええ」

Selector「……分かった」

SelectorとChessidoは同時にボタンを押すと

シエルターの扉がゆっくりと開く、先は白い光で

前が見えない。手で隠すので精一杯だ。

Selector「振り返るな。現実に戻れたとしても記憶が失う可能性が有る。もし記憶が残っているなら都合がな。」

Chessido「また此処に来たらお話しましょう!」

意を決して前へと進む……その先の光へ、一步、また一步と足を踏み出す。振り返らず。その先へ……仲間や最愛の人が待つ。あの世界へ。

……目が覚めるとそこは自室の布団の上。どうやら今までののは夢だったのか?……

いや、あの二人の研究員の記憶はまだ残っていた。

しかし変わった事がある。身体に異常があるのだ。猫耳に尻尾が生えており、スカーフが巻いてある。どう言う事かと辺りを見渡すと床に一枚の手紙が置いてある。手に取り内容を見ると、

『と有る物とはそのスカーフだ。それを着ければ周りの人々からはただの人間だと思われる……いや、猫耳と尻尾を隠す。特殊で破れないスカーフだ……』

そして最後の文には……

……新たな生活を楽しんでくれると嬉しい。その選択が後悔を生まないと信じて。

b y . 博士』

何時もの日常……いや、少し違う生活が始まる。

シナリオ「TF furry or human?」特殊生還エンドです。お疲れ様でした。

Judgment・Chain #1

リバス宅

ピンポオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオ

ササクレ「長えな！」

狼「何時もの事だろ」

幡幡「それでも長過ぎませんか？」

マトナ「確かにね」

シエト「初めて来たのに何この状況」

幡幡「普通だから取り敢えず気合いで頑張つて」

ガチャ

リバス「来た来た、入って入って」

狼「全員集合したか確認するぞ？点呼！One！」

幡幡「Two？」

ササクレ「Three」

シエト「Four」

マトナ「Five」

ベター「Six」

羅刹「Seven」

リバス「Eight!」

和多「Nine」

永「デエエエエン!」

シエト「KP抜いて9名全員居るぞ」

リバス「酷!?てかキャラ紹介してよ!」

和多「の前に推奨技能はどうしたん?」

リバス「ここにPON☆」

推奨技能

三大技能、戦闘技能全般

幡幡「これしかないんですか?」

リバス「主に組織の関係だったら良いね」

狼「なら面倒だから一覧でまとめよう」
マトナ&永「賛成」

紹介探索者一行

殺人組織『The・Killer』

生影 轟「殺人鬼」：狼

血羅死十羅子 殺夜「武器商人」：幡幡

烈斗「暗殺者」：マトナ

雨露雨暗州「ハンター（暗殺者）」：羅刹

Sfilter「料理人（殺人鬼）」ササクレ

特殊依頼排除者『Cross fiber』

Heticle「構成員（ヤクザ）」：ベター

Bitelas「構成員（暴力団員）」：和多

機械組織『Metal Weapon』

Agile「機人兵（軍事会社メンバー）」：永

Contractor「（機人兵（軍事会社メンバー）」：シエト

リバス「んじゃ始めるぞ！」
一同「おぉー！」

最初にThe・Killerの皆さんから、貴方達は依頼が来ない為、隠れ家で休憩している。

生影「今日は来ない……烈斗と布露雨暗州は？」

殺夜「買い出しに行ったよー」

Sfiler「外は雨なのにねえ？ 楽そうだよなあ？」

殺夜「本当は既に皆集まっているんだけど……よし。轟、拳銃の調整終わったよ」

生影「悪いな殺夜」

殺夜「良いんだよ。旧友の仲でも有って、部隊の仲間だからね」

ガチャ

布露雨暗州「ただいまー！ いやー雨凄いな！」

烈斗「布露、尻尾濡れてる。タオル貰える？」

Sfiler「ついでにコーヒーかココアどっちだ？」

烈斗「ココアで」

布露雨暗州「僕はコーヒーで良いかな」

Sfilter「畏まり」

すると轟の携帯から着信が鳴る。差出人は不明だ。

生影「出る……The・Killerだ。依頼の件なら……」

???「……お前がThin・Shadowか？」

生影「……何者だ？」

???「我は『Judge』貴様等を送りに来た！」

生影「なっ!?全員!此処から下がr……」

瞬間、君達の視界は波の様に消えて行つた。

続いてCross fiberの二人組だね。二人も上層部からの指示が無くてのんびりしているよ。

Heticle「この資料とこの報告書を後で提出してと……」

Bitelas「Heticle。仕事も良いが少しは休めよ？」

Heticle「まだまだ依頼が多いんだ。私達に休みは程遠いと思うがね」

Bitelas「……そう言うと思つたぜ」

そこでピリリ……ピリリ……とHeticleの携帯電話が鳴る。

Heticle 「速攻で出ます……私だが」

??? 「お前達の 背後に 俺は 居る」

Heticle 「……どう言う事だ？」

Bitelas 「後ろ振り返ってみます」

では振り返ると黒い霧を纏った人物がそこに居た。そうだなあ……Heticle は「アイデア」をどうぞ。

Heticle 「……え？」

Heticle 〈アイデア〉判定

成功率90% ↓ 45成功

黒い霧の姿で姿は見えませんが成功したHeticleは分かった。あの姿は敵対組織の殺人鬼……生影 轟だと。

Heticle 「……貴様は!？」

瞬間、貴方達の意識は黒い霧によって失うだろう。

最期にMetal Weaponの二人組。廃工場を拠点に次の行動を考え中だ。

Agile「……付かぬ事をお伺いしますが」

Contractor「何じゃAgile? お年寄りに対して何かしらの相談か?」

Agile「いえ、何故この廃工場を拠点に?」

Contractor「ん、単の気分じゃよ。工場とかだと落ち着くんじゃ」

Agile「気分で此処にくる理由もしようもないですね」

Contractor「元々は機人兵武装兵器だからのお。しようもないのもごもつともじゃ」

Agile「……私には分かりません」

Contractor「お主は博士Masterに愛されていたから、兵器としては扱われなかったからか?」

Agile「……分かってない貴方が言わないで下さい」

Contractor「おっと、こりや失礼」

では此処で二人は〈聞き耳〉判定。

Agile 〈聞き耳〉判定

成功率65% ↓ 56成功

Contractor 〈聞き耳〉判定

成功率75% ↓ 34成功

では二人は自分達以外の足音が聞こえる。

〈シークレットダイス〉……数は3人だ。

Contractor「MGL40^グ Laura^{ネー} Launcher^{チャー} mode^ドで構えます」

Agile「……誰ですか。出てきて下さい」

……沈黙の後、黒いコートを羽織った人が出てきた。

???「まさかこちらの存在に気付いているとは……なかなかやりますね」

声の辺りから一人は女性、後ろの二人組は男性だと分かる。

Contractor「……嬢ちゃん。儂も手荒なことはしたくない、ここはお引き

取り願えるかの？」

???「お引き取り願ったら此方が頭を下げないと行けないので……」

そう言い終えると、突如として銃声が鳴る。そして一瞬にして貴方達は意識を失うだろう。

???「……貴方達には少し、気絶してもらいます」

Contractor「成程……後ろの二人組は……」

Agile「鎮圧用の……EMP弾……」

んじゃあここで導入は終わり、この後3チームバラバラに別れる事になるから1d3振ってねー。9人だから3人ずつになるから、ダブったらこっちで仕分けるよ。

〈チーム分けロール〉

Judgment・Chain #2

では1チーム目から行きましようか、貴方達は目を覚ます。そこは刑務所の地下牢獄を思い浮かべるだろう。

烈斗「……此処、何処？」

Sfilter「分らない。一見して牢獄っぽいが」
その前にSANチェック。

烈斗〈SANチェック〉

成功率70% ↓ 70成功

Sfilter〈SANチェック〉

成功率70% ↓ 57成功

Bitelas〈SANチェック〉

成功率80% ↓ 63成功

では減少無し。

Bitelas「取り敢えず……お前達は誰だ？」

烈斗「……烈斗。ウルフハンター」

Sfilter「Sfilterだ。職業は料理人」

Bitelas「そうか、俺はBitelas。Cross fiberつて所の構成員だ」

Sfilter「Cross fiber……どっかで聞いた様な……」

烈斗「Sfilter、轟が言つてた組織」

Bitelas「轟……もしかしてお前らThe・killerの部隊か？」

Sfilter「嗚呼、そうだが……？」

烈斗「轟から聞いた。Heticleつて人、Cross fiberの一員で、敵対意識有るつて」

Sfilter「そうなのか？」

Bitelas「真実だ。どうやら本人から話してくれない。何か恨みでも有る様な気はするが……だが、本人もお前達に対して敵対は無い。依頼で頼まれた時は別だが……」

Sfilter「……」

烈斗「今は、敵じゃない。何とかここ、出よう」

Sfilter「……烈斗の言う通りだ。今は駄弁つてないで此処が何処だか調べないと」

Bitelas「確かに、と言う事で」

三人「二〈目星〉！」

長いし早くやつて欲しかった○

烈斗 〈目星〉判定

成功率79% ↓ 76成功

Sfilter 〈目星〉判定

成功率65% ↓ 65成功

Bitelas 〈目星〉判定

成功率70% ↓ 10成功

では手紙、鍵、モニターが見つかるだろう。それぞれ上から順に行きましょう。まず手紙を見つけた烈斗。

烈斗「読む」

はい、では以下の文が書かれています。

「ここから出して欲しければ諦めるんだな。君達は実験体だ。我が改造人間の戦闘データを集める為の捨て駒、だが、抗えるなら抗ってみせよ」

Bitelas「一応聞きたいけど持ち物は？」

武器以外全部有る。

Sfilter「つまり終俺の相棒の大銃も有ると」

そうだね。

烈斗「……紙の裏とかは？」

では裏を見ると「55666. 77733. 9666. 999666. 688. 866. 777444. 6688」も書かれている。

烈斗「何だろう？」

Sfilter「……あ、もしかして〈歴史〉とかか？」

お、鋭い！〈知識〉150%だw

Bitelas「違うやんけ」

烈斗 〈知識〉150% 判定

成功率35% ↓ 2クリティカル

……マジで!?

烈斗「これ、分かる……の?」

Bitelas「中の人の知識ロールが99フアンブルしてるぞこれw」

Sfitter「クツソwww」

烈斗「かゆ……うま……」

おいやめろw

Sfitter「やばい!w烈斗の中の人がどんどん侵食されていくぞ!w」

烈斗「ア”ア”ア”ア”ア”ア”」

Bitelas「SANチェックですw」

バ〇オしてんじやねえよ!w

烈斗「んで、情報有る?」

そだね、クリティカルだからねえ。取り敢えず普通の成功情報から行くね。まずこの数字の羅列はトグル入力だと分かる。

烈斗「トグル入力……?」

はい。次にSfilterは鍵を見つける。錆びた鍵だ。

Sfilter「情報は無さそうだな……」

最後にBitelas。モニターは暗い画面になっている。

Sfilter「電源ボタンとかは？」

有るよ。物凄いいかりやすい○

Sfilter「ポチツとな」

では電源を入れると何処かの部屋の一室が映し出される。そこにいるのは雨露雨暗州と他の二人が映し出されている。

Sfilter「ふむ……雨露は大丈夫そうだな」

烈斗「と言うか、トグル入力って何だっけ？」

Sfilter〈リアル歴史〉判定

成功率48% ↓ 48成功

Sfilter「確かトグル入力って携帯電話とかのボタンじゃなかった？」

Bitelas「んじゃあ、照らし合ったら……」

55666.
688. 8666.
77733.
96666.
999666.

korowo
yomutosinu

(これを讀むと死ぬ)

Bitelas「となるか」

Sfilter「……あ(察し)」

烈斗「オ?(ハワハ)／＼」

では烈斗は〈聞き耳〉をどうぞw

烈斗 〈聞き耳〉判定

成功率55% ↓ 92失敗

では烈斗は背後の存在に気付かずに何者かに斬りつけられた。

ダメージロール1d10 ↓ 1ダメージ

(烈斗残りHP15)

首筋にスツと斬り傷を付けられた。

烈斗「……くあっ!?何者っ!」

では振り返るとそこには黒いコートを羽織った人がそこに立っていた。両手に持っている2本のククリがチラつかせてクルクルと回している。

???「仕留め損ねた力……もう少し狙った方が良かったナ……」

受けた烈斗の声でSfilerとBitelasも気付いて良いよ。

Sfiler「だ、大丈夫か烈斗!」

Bitelas「お前……何者だ!」

少し笑うと、その者は答える。

???「僕の名は『仕留める者Tipman』改造人間サ」

烈斗「改造人間……お前が……」

Tipman「僕の戦闘データの為ニ……死ネ!」

分かるよね……戦闘だ!

く라운드1

DEX順に行くけど三人いくつ?

Bitelas「16」

烈斗「14」

S f i l t e r 「10」

ではB i t e l a s、烈斗、T i p m a n、S f i l t e rの順で行きます。

B i t e l a s 「S f i l t e rより上……11以上13以下か」

烈斗「改造人間だからK Pの事だし……何か能力持つてそう」

S f i l t e r 「だろうな」

B i t e l a s 「取り敢えずキック」

B i t e l a s 〈キック〉判定

成功率55% ↓ 27成功

T i p m a n 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 86失敗

ダメージロール1d6+1d6 ↓ 6ダメージ

ガンツ！つと鈍い音が聞こえるが、敵は立っている。

T i p m a n 「何だア？鉄の蹴りで倒れると思ったカ？」

B i t e l a s 「中々やる者だな」

S f i l t e r 「本当か……？」

烈斗「……仕留める！」

烈斗〈ナイフ〉判定

成功率75% ↓ 16成功

Tipman〈回避〉判定

成功率??% ↓ 98ファンブル

Tipman「何だト!？」

烈斗「……ハアッ！」

ダメージロール(ファンブルによりダメージ2倍) 1d6+3×2 ↓ 12ダメージ

ザシユツ!つと右胸を貫かれるが、手応えは有る。

烈斗「まだ……?」

Sfiltrer「いや、結構受けた筈だ……これで生きてたr」

Tipman「ハアッ……ハアッ……ふざけるナ！」

Bitelass「生きてるな」

Tipman〈シークレットダイス〉判定

成功率??% ↓ 81失敗、5クリティカル

対象1d3 ↓ 3(Sfilter)

Sfilter「ちよつと待て二回攻撃かよ!？」

烈斗「それがあの人の……能力？」

Bitelass「大方そうだろうな。両手に持っているククリとか怪しいとは思ってたけど」

クリティカルだけどダメージ2倍で行くか。

Sfilter「死ぬやんか!？」

Tipman「死ネ!」

Sfilter〈回避〉判定

成功率70% ↓ 84失敗

S f i l t e r 「ヤバイヤバイヤバイ」
 ダメージ出しまーす。

ダメージロール（クリティカルの為ダメージ2倍） $1d10 + 1d6 \times 2$ ↓26ダメージ

S f i l t e r 「ヤベエ終わった」

〈大鉈〉で受け流すのも良しとしよう。

S f i l t e r 「助かる……ここです死ぬかよ！」

S f i l t e r 〈大鉈（終ノ大鉈による受け流し）〉判定

成功率85% ↓ 30成功

S f i l t e r 「オオオオラアア！」

ガギイン！

懐に入ったククリを止めようと何処から取り出した大鉈で受け流した瞬間。大鉈は硝子の様に砕け散った。

S f i l t e r 「チツ……流石にこっちも持たないとは……」

T i p m a n 「早く死んだらよかったのにナ？」

S f i l t e r 「……客の笑顔見続けるまでは、生きるからな！」

S f i l t e r 〈大鈍〉判定

成功率85% ↓ 79成功

T i p m a n 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 61成功

大きく振りかぶった大鈍は避けられた。

T i p m a n 「危ねエ……喰らったらどうするんだ！」

S f i l t e r 「知らんがな！」

くラウンド2く

(終ノ大鈍の復活まで3ラウンド)

B i t e l a s 「トリエイト・アークリフトで撃ち抜く！」

Bitelas 〈拳銃〉判定

成功率60% ↓ 36成功、46成功、79失敗

Tipman 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 19成功、67成功

腰から抜いた拳銃から放たれた弾丸は躲された。

Bitelas「……射撃練習しないとな」

烈斗「Bitelas、下がって」

烈斗 〈ナイフ〉判定

成功率75% ↓ 47成功

Tipman 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 22成功

烈斗のナイフも躲された。

烈斗「グルルウ……むうつ……」

Sfilter「落ち着け、パニックでも当たらん」

Tipman 〈シークレットダイス〉判定

成功率??% ↓ 10成功、82失敗

対象1d3 ↓ 2(烈斗)

Tipman「今度ハ……女ア、お前ダ！」

烈斗「ッ！」

烈斗 〈回避〉判定

成功率48% ↓ 70失敗

烈斗 〈マーシャルアーツ(受け流し)〉判定

成功率31% ↓ 23成功

ククリをなんとか躲せる事に成功した。

烈斗「危ない……」

Sfilter「叩くか」

Sfilter 〈大鉈〉判定

成功率85% ↓ 95失敗

振り下ろした大鉈は空を切った。

Sfiler 「駄目だな。何時ものじやなきや意味がねえ」

くラウンド3く

(終ノ大鉈の復活まで2ラウンド)

Bitelas 「撃つ！」

烈斗 「斬る……！」

Bitelas 〈拳銃〉判定

成功率60% ↓ 91失敗、32成功、92失敗

烈斗 〈ナイフ〉判定

成功率75% ↓ 92失敗

Tipman 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 67成功

Bitelas 「当たらねえ！」

烈斗 「……駄目」

Tipman 「喰らえ！」

Tipman 〈シークレットダイス〉

成功率??% ↓ 50成功、9成功

対象2d3 ↓ 3、1 (Sfilter、Bitelas)

Bitelas 「来るか！」

Sfilter 「なら！」

Bitelas 〈回避〉判定

成功率32% ↓ 2クリティカル

Sfilter 〈回避〉判定

成功率70% ↓ 4クリティカル

嘘だろ!?

二人「倍返しだ！カウンター！」

Bitelas 〈キック（カウンター）〉判定

成功率55% ↓ 33成功

Sfilter 〈大鉈（カウンター）〉判定

成功率85% ↓ 28成功

ダメージロール1d6+1d6+1d8+1d6 ↓ 17ダメージ

Tipman「グアアアア!? 僕ガ……貴様ら二……負けるなんて……」

改造人間は倒れ、二度と此処には蘇らないだろう。戦闘終了です。

烈斗「……終わったの？」

Sfilter「……そうみたいだな」

すると、カチャリと音がして何処からか扉が現れた。

Bitelas「どうやら、倒すと出れるのは本当らしいな」

Sfilter「と言うか、大丈夫か烈斗？」

烈斗「……何？」

Bitelas「傷だ傷。お前後ろから斬られただろ」

烈斗「あ……」

Bitelas「……どれ、傷口見せてみる」

Bitelas 〈応急手当〉判定

成功率30% ↓ 82失敗

Bitelas「……止血程度はしといた」

Sfilter「なら俺も手伝うよ」

Sfilter 〈応急手当〉判定

成功率30% ↓ 99ファンブル

んじゃ、傷を扶ったかな。ダメージ1d3で。

ダメージロール1d3 ↓ 3

(烈斗残りHP12)

烈斗「うぐっ……!!?」

Sfilter「すまねえ!? 痛かったか!?

烈斗「もう……烈斗一人でやる」

烈斗〈応急手当〉判定

成功率51% ↓ 1クリティカル

回復量2d3 ↓ 6 (烈斗残りHP16)

烈斗「取り敢えずありがと……行く」

Biteias「よし」

Sfilter「嗚呼……鍵使つて出ます」

Judgment・Chain #3

んじゃ2チーム目。貴方達は目を覚まし辺りを見渡すと、何処かの地下道らしき所だ。

雨露雨暗州「……ここは何処だろう？しかも……ここって……ううっ」

Heticle「どうやらここは地下道か？」

Contractor「だろうな。儂にも分からないが、それだけは皆分かるだろう」
何時もの様にSANチェック忘れずにね。

雨露雨暗州〈SANチェック〉

成功率70% ↓ 36成功

Heticle 〈SANチェック〉

成功率80% ↓ 8成功

Contractor 〈SANチェック〉

成功率85% ↓ 55成功

雨露雨暗州「と言うか君達は一体……?」

Heticle「名を名乗るならまずは自分から名乗るのが礼儀では?」

Contractor「そんな事言うでない。どれ、儂から自己紹介しよう。儂の名前はContractorじゃ、ロボットに近い者と言えば良いだろう」

雨露雨暗州「ロボット……あ、僕は雨露雨暗州。ハンターを職としているよ」

Heticle「……Heticle。Crossfiberの構成員兼リーダーだ」

雨露雨暗州「Crossfiber……? 何処かで聞いた事が有る様な……?」

Contractor「辺りを確認する為に〈目星〉振れるか?」
どうぞ。

Contractor 〈目星〉判定

成功率75% ↓ 89失敗

雨露雨暗州 〈目星〉判定

成功率75% ↓ 60成功

Heticle 〈目星〉判定

成功率70% ↓ 50成功

では1チームと同じ目星情報だけど、モニターは見つからなかった。

Heticle「……これを見てみる」

布露雨暗州「……手紙……ですか？」

手紙の内容は1チームとは違うよ。

Heticle「読むか」

なら読んでる間に布露雨暗州の方の処理するね。布露雨暗州は鍵を見つける。

布露雨暗州「以上ッ！」

んで、手紙の内容だけど。以下同文

Heticle「読む気ないでしょw」

布露雨暗州「www」

Contractor「んじや取り敢えず、前へと進むかのう」

布露雨暗州「背後は僕が！目と耳は良い方だから！」

Heticle「なら私はContractorと同じ前方確認」

では……〈シークレットダイス〉布露雨暗州は〈目星〉もしくは〈聞き耳〉をどうぞ。

布露雨暗州「ふえっ!？」

雨露雨暗州 〈聞き耳〉判定

成功率75% ↓ 100ファンブル

雨露雨暗州 「やつちやつたあああああ!？」

Contractor 「もう……分かったからw」

Heticle 「やめてあげてよw」

では雨露雨暗州は後方の暗闇から弾丸が飛んで来て命中する。ダメージは1d10だ。

ダメージロール1d10 ↓ 9ダメージ

(雨露雨暗州残りHP7)

雨露雨暗州 「っ!？」

あ、シヨックロール入りまーす。

雨露雨暗州 〈シヨックロール〉判定

成功率80% ↓ 4クリティカル

はいいいい!?

白露雨暗州「流石にハンター(暗殺者)なんで、この位は……あ、カウンター良いですか？」

く、暗闇の中、射撃の位置を予測して撃つのでー20%で……

白露雨暗州「はーい、じゃあドラグノフで撃ちまーす」

白露雨暗州 (ハライフル(カウンター)) < ー20%判定

成功率48% ↓ 9成功

ダメージロール2d8+4 ↓ 9ダメージ

では……まあ暗い中、貴方は的確にドラグノフの弾丸を命中させる。ただし、ギイン！という金属音が帰ってくる。白露雨暗州は分かる。手応えは有るがそんなに感じなかった。

白露雨暗州「気をつけて！後ろから何か来てる！」

しばらくすると、金属音の元凶が現れる。その姿は鋼鉄のアーマーに鉄の手足、そして赤く光るその一つの目。

Contractor「……まさか、俺と同じロボットか？」

Heticle「敵意は有る様だが……銃を抜いて構えます」

雨露暗州「僕もアンチマテリアルライフル構えるよ」

ではそのロボットは短く点滅したり長く点滅します。此処で〈コンピューター〉どうぞ。

Contractor「儂か」

Contractor 〈コンピューター〉判定

成功率61% ↓ 55成功

ではContractorはその点滅がモールス信号という事が分かる。ローマ字で伝えている様だ。

???「……オレノナハ『D破estr壊uctor者』オマエトオナジ『機人兵』ダ」

Contractor「何じやと……?」

Destructor「オレノニンムハ、オマエタチヲハイジヨスルコトダ」

雨露暗州「……同じ機人兵と言つても、通じないんだね」

Heticle「なら、此方も奴を破壊するまでだ!」

では、戦闘開始。

くラウンドく

DEX順に雨露雨暗州、Heticle、Contractor、Destruct
orの順で行くよ。

雨露雨暗州「アンチマテリアルライフルを構えて撃つよ！」

雨露雨暗州 〈ライフル〉判定

成功率68% ↓ 88失敗

反動や重量の所為か上手く狙えなかった。

雨露雨暗州「やつぱり重いなあ……」

Heticle 「援護する」

Heticle 〈キック〉判定

成功率61% ↓ 41成功

Heticle 〈武道〉判定

成功率70% ↓ 59成功

Destructor 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 7成功

Heticleの蹴りは空を切った。

Heticle「……避けたか」

Contractor「Destructor! 何故お前は俺達攻撃するんだ! 答え
てくれ!」

Contractor 〈キック〉判定

成功率70% ↓ 29成功

Destructor 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 63失敗

ダメージロール6+1+1d6 ↓ 7ダメージ

ドガン! とバネ仕掛けの蹴りがDestructorに命中する。だが、彼は止ま
らない。

Destructor「……ジョウソウブノメイレイダ」

Contractor「なっ……!?!」

Destructorはライフルを構え……

Destructor〈シークレットダイス〉判定

成功率??% ↓ 22成功

対象1d3 ↓ 2 (Heticle)

……Heticleを狙った。

Destructor「スマナイガ、キエテクレ」

Heticle「……ッ!」

Heticle 〈回避〉判定

成功率50% ↓ 26成功

ではHeticleは間一発躲せた。

Heticle「容赦も無いな……」

Contractor「頼むDestructor! 攻撃をやめてくれ!」

D e s t r u c t o r 「モウ……ムリダ」

くラウンド2く

雨露雨暗州「まずは動きを……！」

雨露雨暗州 〈ライフル〉判定

成功率68% ↓ 25成功

D e s t r u c t o r 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 50失敗

ダメージロール2d10+1d6+5 ↓ 22ダメージ

弾丸はD e s t r u c t o rの足に命中し、衝撃によって転んだ。

D e s t r u c t o r 「グッ!? ナンノコレシキ……」

H e t i c l e 「ハアッ！」

H e t i c l e 〈キック〉判定

成功率61% ↓ 47成功

Destroyer 〈回避〉判定
成功率??% ↓ 27成功

倒れた隙を突いてHeticleは追い打ちをかまそうとしたが避けられた。

Destroyer「グウ……スイコウノタメナラバ、コノカラダゴト……」

Contractor「ふざけるんじゃ……ねえ！」

Contractor 〈キック〉判定

成功率70% ↓ 19成功

Destroyer 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 90失敗

ダメージロール1d6+1d6 ↓ 12ダメージ

ドガン！と今度はContractorの拳が命中した。

Contractor「お主がどうしようが、俺は知らない……だが、攻撃はやめてくれ！俺達は戦う為に作られてきているのではないだろう!!」

Destroyer「……」

Destructor 〈シークレットダイス〉判定

成功率??% ↓ 79失敗

Contractorの言葉によって銃身がブレる。

Destructor「……クツ！」

くらウンド3く

雨露雨暗州「……Contractorさん。離れて下さい」

雨露雨暗州 〈ライフル〉判定

成功率68% ↓ 18成功

Destructor 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 27成功

放ったライフル弾は躲された。

雨露雨暗州「……ううっ！」

Heticle「……！」

Heticle 〈拳銃〉判定

成功率70% ↓ 22成功、44成功、72失敗

Destructor 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 62失敗、34成功

ダメージロール4d6+4 ↓ 25ダメージ

躲した後を狙い定め、引き金を引いたHeticleの銃弾は脚部に穴を開け、Destructorは膝を付いた。

Destructor「……セントウケイゾクフカノウ……カ。Contractor、コイ」

扉は既に現れている。

Heticle「雨露雨暗州、私達は先に行くぞ」

雨露雨暗州「えっ!?!どうした」

Heticle「……偶には、友人同士にさせてやると良い」

雨露雨暗州「あ……うん……分かったよ」

では雨露雨暗州とHeticleは扉を開け進むと、Contractorは？

Contractor 「近付く。Destructor、儂は……」

Destructor 「……オйкаケナイノカ？」

Contractor 「お前を置いて行けるか！馬鹿者が！」

Destructor 「バカモノ……カ。ソウダナ、オレハ、バカモノカモシレン」

Contractor 「嗚呼……お前は馬鹿者じゃ……」

Destructor 「……サイゴノネガイダ……キイテクレルカ？」

Contractor 「儂に出来る事となら……何でも言え」

Destructor は貴方の肩に手をやる。

Destructor 「……ゼツタイ、イキテカエレヨ」

そう言う目から光が消え、動かなくなる。

Contractor 「……必ず。ここから脱出してみせよう……さらばじゃ」

Judgment・Chain #4

では残りの3チーム目、行くか。

Bitelas「なお現在深夜1時27分」

烈斗「もう日付け変わってんじゃんw」

雨露雨暗州「今日仕事なんだけどなあ」

Heticle「3チーム目終わったら、一旦ここで切りますか」

せやな。では貴方達が起きるとそこは闘技場^{コロシアム}だった。周りには黒い塊で模倣されたであろう観客が歓声を上げている。

生影「観客五月蠅えな」

殺夜「まあ、闘技場だから。昔は殺し合いとかもしているから」

Agille「取り敢えず落ち着きましょう」

生影「……」

殺夜「……」

生影&殺夜「……誰だお前!？」

Agile「唐突ですね」

生影「当たり前だろうが……驚くわ」

殺夜「と、取り敢えず自己紹介済まして情報収集……」

生影 〈目星〉判定

成功率75% ↓ 73成功

殺夜 〈目星〉判定

成功率70% ↓ 26成功

Agile 〈目星〉判定

成功率65% ↓ 4クリティカル

んじや生影と殺夜は鍵と手紙（以下同文）を見つけて、クリったAgileは足元が砂という事は気付くのは当たり前なんだけど、周囲に死体が散らばっていることに気付く。クリだからAgile以外SANチェック。成功で減少無し、失敗でld4+1だ。

生影 〈SANチェック〉

成功率60% ↓ 16成功

殺夜 〈SANチェック〉

成功率80% ↓ 79成功

生影 「殺人鬼だから慣れ」

殺夜 「暗殺者だから慣れ」

慣れんなw……んじゃ此処でアナウンスらしき声が聞こえる。

アナウンス 「観客の皆様、お待たせ致しました！これより実験体の処刑を始めたいと思います！では今回の実験体を始末する処刑人『Road roller』の入場です！」

奥の門が開く、そこに現れたのは枷を付けたオレンジ色の囚人服を模様させる大男。彼の登場により観客が一齐に湧き上がる。

生影 「……どうやら俺達は処刑されるみたいだな」

殺夜 「んなあの大男に叩き殺されるなんて聞いてないで!?!」

Agile 「でも、入ってきたあの奥に扉が有るのは確かでしょう」

生影 「て事は……やるしかねえか」

Agile 「そうみたいです。援護は任せて下さい」

サポート

生影「殺夜は後方で射撃援護だ！行くぞ！」

くらウンドル

DEX順にRoad roller、Agile、生影、殺夜の順で行くね。

殺夜「あ、意外に速いんだ」

では、Road rollerは剛腕を振り下ろす。

Road roller〈シークレットダイス〉判定

成功率??% ↓ 47成功

対象1d3 ↓ 3(殺夜)

殺夜〈回避〉判定

成功率70% ↓ 13成功

振り下ろす一撃を殺夜は間一髪躲せた。

殺夜「無理や！あの一撃を受けたらひとたまりもおまへん！」

生影「落ち着け！中の人の好きな方言が出てるぞ！」

Agile「取り敢えず小手調に……」

Agile 〈ブレード〉判定

成功率70% ↓ 12成功、17成功

Road roller 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 64失敗、13成功

ダメージロールld10+ld6 ↓ 13ダメージ

Agileの脚部からブレードが飛び出し構え、二つの刃がRoad rollerを襲うが、一つの刃が避けられるが、もう一つの刃は肩を斬りつけた。

Road roller「……」

Agile「……手応えは若干有りますが、肉体が硬いですね」

生影「マジか、なら……」

生影 〈キック〉判定

成功率75% ↓ 74成功

生影 〈マーシャルアーツ〉判定

成功率75% ↓ 13成功

Road roller 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 40失敗

ダメージロール2d6+2+1d6 ↓ 10ダメージ

生影「まずはその肉体をぶっ飛ばす！」

蹴り込んだミドルキックは命中するが、その硬い肉体ではダメージを与えにくかった。

生影「Agileの言う通り、手応えは若干だ。だがそれなりにダメージは与えてなさそうだが……」殺夜、奴の動きを止める事は出来るか？」

殺夜「ゴムスタンなら行けるが……やってみるか？」

Agile「一か八かです。試してみましよう」

殺夜〈ショットガン〉判定

成功率50% ↓ 4クリティカル

殺夜「ヒューッ！」

確かゴムスタン弾だからノックアウト判定有るよね？ならスタン判定にするか。取

り敢えず先にダメージロールして、1d3スタンするか？あ、回避はしないからダメージは2倍で良いよ。

ダメージ(スタン) ロール4d6+(1d3) ↓ 21ダメージ(1スタン)

じゃあ次のターン行動不可能で、Agileのターンだね。

くラウンド2く

Agile「これ、一気に行きますか？」

生影「まとめてやっちゃおうぜ。ダイスロールが面倒い」

殺夜「確かにねえ」

……へ？

殺夜「と」

Agile「言う事なので」

生影「Open Fire!」

殺夜「y p a a a a a a a a a a a a a a a a !」

Aggile 〈拳銃〉判定

成功率70% ↓ 80失敗、8成功、42成功、68成功、19成功、45成功

生影 〈拳銃〉判定

成功率70% ↓ 31成功、51成功、54成功

殺夜 〈ライフル〉判定ハウスルールで、ライフルやサブマシンガンとかの連射判定は命中した数を出します。クリティカルは2発命中、ファンブルは1発外す事にします。

成功率50% ↓ 16発命中（成功16発、クリティカル1発、ファンブル2発）

ダメージロール

(Aggile) 5d10+5d5 ↓ 35ダメージ

(生影) 6d6 ↓ 32ダメージ

(殺夜) 36d8 ↓ 165ダメージ

累計……232ダメージ

○が如くの『道たちの挽歌』じゃねえんだぞ？w

生影「これが『暗殺者たちの挽歌』だw」

殺夜「流行りそう」

Aggile「もうそつちの技として使えば？w」

The.killer

生影「暗殺組織へようこそ」

やらせねえよ？ w

生影「んで、Road rollerはどうなった？」

……えー、貴方達の猛烈な銃弾に飲み込まれ倒れました。

生影「まあ、あれだけ銃弾喰らったら……だろうな」

そしてアナウンスが再び入る。

アナウンス「な、なんと!?!あの処刑人Road rollerがあんな実験体によられました!?!これは嘘だ!?!たったの三人に負ける訳がない!?!」

観客からは罵声や石を投げようとする者が居る……どうしますか？

生影「……拳銃を真上に構えて引き金を引く」

ではバンツ！と銃声が鳴る。観客は罵声や石を投げるのをやめ、貴方を一点に見つめます。

生影「……良いかお前等。この闘技場処刑場はお前達が見に来る所でも、処刑しようとした人が死んで罵声を上げてても……そんなもん意味がねえ」

殺夜「……と、轟？」

生影「こんな過去に殺人を犯してまで指名手配される俺にとつちや、此処はただの庭遊び場だ」

Agile「……」

生影「例え罵声を浴びようが、例え石をぶつけられようが、俺には……ただお前達の殺意殺意が無いが八つ当たりには過ぎない」

観客は静かに凍りつく、息も出来ない様な感じだろう。

生影「罵声上げてる暇が有るなら、観客全員で俺を殺してみろ……」

『俺おの感前覚達を取がり死戻ぬす』まで殺し続けてやる』

Judgment・Chain #5

それでは各々扉を開けて進むと、そこは兵器格納庫らしき場所。一つだけガレージが閉まっているが、他は空いており中は空と分かり、奥にはこの事件の主犯が居るのであるエレベーターが有る……皆は合流出来るよー。

烈斗「……皆!」

殺夜「布露!烈斗!Sfilter!大丈夫だったか!」

Sfilter「まあ、俺達は何とかな」

Agile「貴方も無事そうですね。Contractor」

Contractor「年寄りだからと思っただんか?心配ないぞ」

Bitelas「それぞれ会えてよかったな……Haticle?」

Haticle「貴様は……!」

生影「何だ……俺に用か?」

Haticle 〈キック〉判定

成功率61% ↓ 12成功

生影 〈マーシャルアーツ（受け流し）〉判定
成功率75% ↓ 16成功

Heticleの蹴りは躲された。

生影「何だいきなり……」

Heticle「生影 轟……貴様は私が殺す！」

生影「……ほう」

雨露雨暗州「ち、ちよつと二人とも!? け、喧嘩は……!」

殺夜「落ち着き雨露! ああなつたらもう誰も止められん!」

烈斗「……」

Sfилter「行くなよ烈斗」

烈斗「……うん」

Contractor「本気で言つとるのか嬢ちゃん?」

殺夜「あんな風に殺意をある奴は気絶させるか殺すかの二つの選択肢を取るんだが、基本的に好戦的な奴は……もう私でも止められん!」

Agile「……良い機会です。私達も観戦しましょうか」

では、生影 轟とHeticleは相對する。二人の殺意と恨みを持つて……戦鬪開

始。

くラウンド1く

Heticle 「先行は私だ！」

生影 「良かろう」

Heticle 〈キック〉判定

成功率61% ↓ 27成功

Heticle 〈武道〉判定

成功率70% ↓ 5クリティカル

Heticle 「ダメージ2倍ッ！」

生影 〈回避〉判定

成功率82% ↓ 28成功

Heticleの渾身の蹴りは外された。

生影 「こんな蹴りで俺を殺せるのか？」

Heticle 「くっ……!!」

生影 『お前殺を殺人す者』を殺鬼す気で来い」

生影 〈キック〉判定

成功率75% ↓ 37成功

生影 〈マーシャルアーツ〉判定

成功率75% ↓ 14成功

Heticle 〈回避〉判定

成功率50% ↓ 95失敗

Heticle 「……しまっ!」

生影 「You can't kill me」

ダメージロール2d6+2+1d6 ↓ 11ダメージ

(Heticle残りHP1)

殺される者の蹴りは殺す者の意識を確実に奪い取った。

Heticle 「ぐ……あつ……」

生影 「お前は……誰を守り……何を持って生きるんだ？」

……戦闘終了です。

Bitelas 「Heticle!？」

生影 「安心しろ。殺しては無い……が、Sfilter、烈斗、雨露雨暗州は此処に残つて少し処置してやれ」

Sfilter 「了解だ」

烈斗 「轟は……どうするの」

生影 「……やる事を済ませる。処置が出来ない奴は俺について来い」

Contractor 「俺は此処に残るとしよう。処置は出来ないが万が一の為にゃ」

Agile 「なら、私は向かいますよう」

Bitelas 「俺も行くぜ……お前に恨みは無いが、こんな所まで連れて来た奴は許さねえ」

生影 「殺夜はどうするんだ」

殺夜 「……此処に残る」

生影「分かった。んじゃ行くぞ」

では生影、Bite las、Agileの三人が行くと。では処置組は〈応急手当〉をどうぞ。

Sfilter 〈応急手当〉判定

成功率30% ↓ 29成功

雨露雨暗州 〈応急手当〉判定

成功率60% ↓ 23成功

烈斗 〈応急手当〉判定

成功率51% ↓ 18成功

回復量3d3 ↓ 7 (Heticle残りHP8)

雨露雨暗州「あ、一応僕も」

Sfilter 〈応急手当〉判定

成功率30% ↓ 10成功

雨露雨暗州 〈応急手当〉判定

成功率60% ↓ 56成功

烈斗〈応急手当〉判定

成功率51% ↓ 11成功

回復量3d3 ↓ 8 (雨露雨暗州残りHP15)

んじゃ時間を掛けたけど、Heticleは気絶から復活して良いよ。

Heticle「……うっ」

雨露雨暗州「あ、まだ動いちや駄目だよ!？」

Heticle「でも、奴を殺さないと……いけな……」

烈斗「今、轟は戦ってる。Heticleは、ゆっくりと休む」

Heticle「だが……!」

Contractor「嬢ちゃん。何故そんなにあの男を殺したいんじや?」

Heticle「ツ……それは……恨みだ」

Contractor「何か……訳が有ったんじやろう?」

Heticle「……」

Contractor「この儂に……話してくれないかい?」

雨露雨暗州「私達も聞きたいです……」

烈斗「(コクコク)」

Heticle「……分かった。話すよ」

殺夜「……」

あれは……11年前、私が14歳の時だった。

殺夜「11年前……轟は20歳だ」

私の家族はヤクザだった。父は他の場所へ殴り込みに行ったり、母は他の極道組織と協力して取引をしていた……だが、ある日の事だった。

父親「***、お父さんとお母さんは少しヤクザの人と取引してくるから此処に居るんだぞ？」

Heticle「分かった！」

母親「終わったら呼ぶからね、ちゃんと此処に居るのよ？」

Heticle「うん！」

そして父と母は下に降りて行った……私もそつと隠れて聞いていた。

父「……と言う感じだが、やれるか？」

母「勿論……私達も手伝います」

ヤクザ「分かった。だが奴はどこから来るのか分からねえんだぞ？」

父「そうなんだが……大体の位置なら分かっている」
「どうやら話を聞いたが、取引の話じゃない。誰かを始末する話だった……その時だった。」

バリイイイイイン!

父「な、何だ!?!」

ヤクザ「お、お前は何者だ!?!」

???「俺は『殺人鬼』……お前達が始末しようとしてるご本人だ」

母「なっ……このっ!」

バアン!

母の掛け声と同時に、銃声が聞こえた。

父「お、おい……!?!」

???「まず一人」

ヤクザ「クソツ!?!まさか奴から来るなんて!?!」

???「逃がすか」

ドスツツと言う音が聞こえて、首元から血が出ている男が出てきたんだ。

Heticle「(ひっ……!?!)」

父「お、お前は何だ……何者なんだ!?!」

??? 「Thin^薄 shadow^影。そして俺の本当の名は……」

……バアン!

??? 「……『生影 轟』だ」

Heticle 「お、お父さん? お母さん?」

生影 「何だ……? 子供も居たのか?」

そして奴は……出てきた。そして私に気付いた……。

Heticle 「い、嫌……」

生影 「……お前、殺しはした事が有るか?」

Heticle 「し、してない……」

生影 「そうか。なら意味ねえな。その代わり教えてやる……」

Heticle 「……え?」

生影 「お前は俺を殺せる存在になるかもな」

そう言い終えると、奴は暗闇に消えた……。

Heticle 「ただ、最後に言った言葉は分からなかったんだ」

Contractor 「成程……そんな過去が有ったのか……」

殺夜 「……」

布露雨暗州「だからHeticleさんは轟を殺そうと……」

烈斗「……大体、分かった」

Sfilter「(元々、彼奴から聞いてるなんて言えねえ)」

瞬間、ドゴオオオン！と地響きと格納庫内が揺れる。

Contractor「嬢ちゃん。復讐は分かるが、今は協力するべきじゃ」

Sfilter「俺達は先に行くぞ！来い布露！烈斗！殺夜！」

布露雨暗州「わ、分かった！」

殺夜「……了解！」

烈斗「Heticle、待ってる」

Contractor「儂も向かう……お嬢さんは……決まったら来るんじやぞ」

ではHeticle以外は向かった。

Heticle「……私は、奴を殺さないといけないのか？」

お前は俺を殺せる存在になるかもな

Heticle「でも、奴は何と言ったのか分からない……」

お前は俺を殺せる存在になるかもな

Heticle「まさか、奴は私の事を信じていたのか？」

お前は俺を殺せる存在になるかもな

H e t i c l e 「私が行った事は……行かなくては！」

Judgment・Chain #6

場を変えて進行組。エレベーターに乗り、階層は最上階へとランプが光っており、自分で向かっている。

生影「事前に武器のリロードを行うが良いか？」

んじや全員リロードして良いよ。勿論処置組も。

生影「(……奴は、この上に居る)」

Bitelas「事前に聞いて良いか？」

生影「何だ」

Bitelas「……何故、トドメをささなかつたのだ？」

Agile「確かに、気になりますね」

生影「……ちよつとした過去の事を思い出してな」

Agile「過去の事……ですか？」

生影「嗚呼。まあ話したく無いのだが」

Bitelas「何か有ったんだな？」

生影「そう思ってくれ」

ガタン、ガタン、ガタンと音が鳴り揺れる。そして最上階へと着くだろう。空は暗く、辺りを照らすのはサーチライトやスポットライトだけだった。

生影「……着いたな」

Agile「そうみたいですな」

Bitelas「警戒しよう。何処から飛んできるともしれねえ」

貴方達は前へと進み、武器を構える。すると目の前に誰か居るのが分かる。

生影「止まれ。前方一名」

Agile「予め隠れときます」

Bitelas「〈隠す〉代用で出来る？」

良いよ、振ってみな。

Agile 〈隠れる〉判定

成功率70% ↓ 43成功

Bitelas 〈隠れる〉〈隠す〉代用〉判定

成功率70% ↓ 63成功

おけ、じゃあ二人は暗闇に溶け込めるよ。

生影 「では俺一人で近付きます」

では気付いて振り返る。その姿は女性だが顔は仮面で見えない。

Bitelas 「あの仮面外してえな（小声）」

Agile 「今は身を隠しときましよう（小声）」

??? 「どうとう来たか……実験体諸君」

生影 「お前が俺達を誘拐した犯人か？」

??? 「嗚呼……だが死なずして此処まで来るのは予想外だったな。そこは褒めてやろう」

生影 「褒めても意味がねえな。さっさと始末書書いて撤退したいんだが？」

??? 「それは無理な事だな……」

生影 「何故だ？」

??? 「それは……」

女性は懐から拳銃を取り出し、構えようとしている。

生影 「懐からファイブセブン構えて仮面と拳銃を撃ち抜く」

どうぞ。

生影 〈拳銃〉判定

成功率70% ↓ 12成功、54成功、4クリティカル

うーん、クリティカルか。

生影「なら一発必中でダメージ与えて良い？」

そうしても良いよー。

ダメージロール 2d6 ↓ 9ダメージ

生影「構えさせない様に肩狙って撃つた的で」

なら、女性が構える前に生影は懐から素早く抜いて3発、肩を狙い構えを抑え、拳銃を弾き、仮面を銃弾で取った。

??? 「くっ……!!」

生影「それ以上動くな。最初から勝負は着いている」

??? 「……フフフツ……アハハハッ！」

生影「何がおかしい？」

??? 「まさか、また撃たれるとはね」

生影「……またってどう言う事だ」

??? 「見て分からないのかしら？」

貴方は彼女の顔を見るだろう。〈アイデア〉判定だ。

生影 〈アイデア〉判定

成功率90% ↓ 17成功

では貴方は気付く。11年前、殺したHeticleの母親だと。

生影 「……貴様、生きていたのか」

??? 「確かに私は死んだわよ。でもね、生まれ変わって『Whitch^{魔女}』と言う名で生きる事にしたわ！」

生影 「ほう……殺人リストに書かれていた情報から、名を『Bit^{ふしだらな女}ch』の方が良い

んじや無いのか？」

Whitch 「な、なんですって!？」

生影 「それとも俺に殺されるなら『Body^{死体}woman^女』の方が良い方だな？」

Whitch 「この……ふざけないでエエエエ！」

瞬間。Whitchの周りから黒い塊が集まり、彼女を包み大きくなっていく。そして背中にコウモリのような翼を持ち、ゴルゴンのような女性の姿へと変貌する。

Which「キサマを……抉り殺してやる！」
て、事でマイノグーラを見た三人はSANチエックな。ちよつと待つて、減少値見てくる。

生影 〈SANチエック〉

成功率60% ↓ 20成功

Bitelas 〈SANチエック〉

成功率80% ↓ 1クリティカル

Agile 〈SANチエック〉

成功率85% ↓ 1クリティカル

取り敢えず見つかなかつたって何だこりや!?

Bitelas & Agile「やっちゃったZE☆」

生影「んで減少値は？」

成功1d10 / 失敗1d20で考えました。

生影「おう」

生影 〈SAN値減少〉

ld10 ↓ 5

残りSAN値55 (不定まで残り7)

Bitelas 〈SAN値減少〉

ld10 ↓ 9

残りSAN値71 (不定まで残り7)

Agile 〈SAN値減少〉

ld10 ↓ 8

残りSAN値77 (不定まで残り9)

全員発狂するんじゃないの？ w

生影 「おうw」

Bitelas 「かもしれないw」

Agile 「有り得そうで怖いw」

生影 〈アイデア〉判定

成功率90% ↓ 97フアンブル

Bitelas 〈アイデア〉判定

成功率90% ↓ 84成功

Agile 〈アイデア〉判定

成功率80% ↓ 47成功

生影「2名発狂入りまーす！w」

Bitelas & Agile 「ラッシャーセイ！w」

Bitelas 〈発狂内容〉ロール

1d10 ↓ 7 (幻覚あるいは妄想)

1d10+4 ↓ 9ラウンド

Agile 〈発狂内容〉ロール

1d10 ↓ 1 (気絶あるいは金切声の発作)

1d10+4 ↓ 12ラウンド

Bitelas 「幻覚……暗闇の中で一人佇む」

成程、んでAgileは？

Agile「気絶で」

あー、うんw

生影「即戦力が消えたんだけどw」

では戦闘開始w

生影「ウツソだろお前!？」

く라운드1く

Contractor達とHeticleの到着まで2d3ラウンド合わせて掛かる事にしよう。

1d3 ↓ 3+1 (Contractor達到着まで3ラウンド、Heticle到着まで4ラウンド)

生影「だけど癡狂組隠れてるからなあ」

そやね、一人で戦う事になるねw

生影「クソが!w」

ではDEX順にマイノグーラ、生影と行くか。

生影「あれ？他の二人は？」

発狂中+隠れる使ってるので解除後次のラウンドで参加しよう。

生影「おけ」

ではマイノグーラは髪の手で攻撃。

マイノグーラ 〈触手〉判定

成功率??% ↓ 49成功、4クリティカル、38成功、87失敗、26成功

ダメージ2倍宣言で。

生影「躲してみせる！」

生影 〈回避〉判定

成功率82% ↓ 24成功、11成功、74成功、7成功

生影「こりや食らったら死を悟ろう、取り敢えず蹴る！」

生影 〈キック〉判定

成功率75% ↓ 87失敗

生影「上手く近付けねえ！」

くらウンド2

マイノグーラはまた触手。

マイノグーラ 〈触手〉判定

成功率??% ↓ 41成功、20成功、90失敗、85失敗、89失敗

生影 〈回避〉判定

成功率82% ↓ 72成功、29成功

生影「蹴りイ！」

生影 〈キック〉判定

成功率75% ↓ 87失敗

生影「だああああ!?!」

くラウンド3く

殺夜「ごめん！遅れ…………え？」

雨露雨暗州「な、何…………あれ…………？」

烈斗「ば、化物…………？」

Sfilter「だろうな…………身体が動かねえ…………」
Contractor「くつ…………」

殺夜〈SANチェック〉

成功率80% ↓ 39成功

1d10 ↓ 6

残りSAN値74 (不定まで残り10)

雨露雨暗州〈SANチェック〉

成功率70% ↓ 68成功

1d10 ↓ 7

残りSAN値63 (不定まで残り7)

烈斗〈SANチェック〉

成功率70% ↓ 57成功

1d10 ↓ 3

残りSAN値67 (不定まで残り11)

Sfilter (SANチェック)

成功率70% ↓ 85失敗

1d100 ↓ 43

残りSAN値28 (不定発狂)

Contractor (SANチェック)

成功率85% ↓ 44成功

1d10 ↓ 1

残りSAN値84 (不定まで残り16)

殺夜「あ……ああ……」

雨露雨暗州「烈斗……ちよつと……いい？」

烈斗「う、うん……」

Sfilter「が、あ……」

Contractor「皆大丈夫か!？」

殺夜 〈アイデア〉判定

成功率90% ↓ 35成功

雨露雨暗州 〈アイデア〉判定

成功率90% ↓ 78成功

Sfilter 〈アイデア〉判定

成功率90% ↓ 53成功

殺夜「あ……い、嫌……」

雨露雨暗州「ごめんなさいごめんなさいごめんなさい……」

Sfilter「があ……うぐあ……」

殺夜 〈発狂内容〉ロール

1d10 ↓ 4 (早口でぶつぶついう意味不明の会話あるいは多弁症)

1d10+4 ↓ 6ラウンド

雨露雨暗州 〈発狂内容〉ロール

1d10 ↓ 9 (奇妙なもの、異様なものを食べたがる)

1d10+4 ↓ 9ラウンド

Sfiler 〈発狂、不定内容〉ロール

1d10 ↓ 6 (殺人癖、あるいは自殺癖)

1d10 ↓ 10 (脅迫理念にとりつかれた行動)

1d10+4 ↓ 12ラウンド

1d10×10 ↓ 3日18時間 (90時間)

生影「お、おい……?大丈夫か?」

殺夜「密かに暮らす少女はこう言いました「わたしは民ではない」そう言った彼女は頭部に拳銃を突きつけて死にました」

烈斗「ふ、布露……?」

布露雨暗州「ねえ、烈斗……一口食べても良い?」

Contractor「兄ちゃん?どうした?」

Sfiler「奴を斬りたくて斬りたくて……ウズウズシテルンダヨオ!」

生影「良かった。Sfilerは平常運転だ」

Contractor「そんな悠長なこと言つとる場合有るのかね!」

烈斗「轟、助けて!食べられる!」

ドカツ！バキツ！と折れる音がSfilterを襲った。

Sfilter「グッハアアアア!?」

生影「Sfilter!?と、取り敢えず戻れゴラア！」

生影〈へいぶし〉判定

成功率80% ↓ 26成功

ダメージロール1d3+1d6 ↓ 4ダメージ

雨露雨暗州〈幸運〉1/2判定

成功率35% ↓ 32成功

じゃあ、ぶん殴られた勢いで発狂解除。

雨露雨暗州「はっ!?ぼ、僕は一体!?!」

生影「危うく烈斗を性的に食べようとしていたぞ。R18したくねえんだこちら」

烈斗「助かった、でもメタい……」

Contractor「言ってる間にグレネードランチャーをマイノグーラへ」

Contractor 〈グレネードランチャー〉判定

成功率70% ↓ 42成功

マイノグラ 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 26成功

Contractorが放った榴弾は避けられた。

Contractor「ぐっ……訛ってあつたか……」

烈斗 〈応急手当〉判定

成功率51% ↓ 3クリティカル

回復量2d3 ↓ 3 (Sfilter残りHP1)

烈斗「Sfilter、意識戻ってないけど、生きてる」

生影「ナイスだ烈斗！」

くらウンド3く

はいはい……触手だ！

マイノグーラ 〈触手〉判定

成功率??% ↓ 50成功、5クリティカル、74失敗、61失敗、78失敗

あ、必中で。

対象2d5 ↓ 1、1 (布露雨暗州)

布露雨暗州「ぼ、僕!？」

布露雨暗州 〈回避〉判定

成功率70% ↓ 1クリティカル

布露雨暗州「良しっ！」

ふむ、ならクリティカル必中のも回避判定振って良いぞ。

布露雨暗州 〈回避〉判定

成功率70% ↓ 69成功

雨露雨暗州「良しっ！（2回目）」

畜生！

雨露雨暗州「かーらのFire！」

雨露雨暗州〈ライフフル〉判定

成功率68% ↓ 3クリティカル

雨露雨暗州「ダメージ2倍！」

回避だっ！

マイノグラ 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 72失敗

ダメージロール4d10+2d6+10 ↓ 32ダメージ

ズトン！と放ったアンチマテリアルライフルは肉体ごと貫いた。

生影「一気に叩くぞ！」

Contractor「兄ちゃんに合わせるかのう！」

生影〈キック〉判定

成功率75% ↓ 21成功

生影〈マーシャルアーツ〉

成功率75% ↓ 42成功

Contractor〈グレネードランチャー〉判定

成功率70% ↓ 58成功

マイノグーラ〈回避〉判定

成功率??% ↓ 36失敗、98ファンブル

ダメージロール2d6+2+1d6+8d6 ↓ 42ダメージ

ダブルの蹴りとグレランがマイノグーラを襲った。

烈斗〈応急手当〉判定

成功率51% ↓ 50成功

回復量1d3 ↓ 3 (Sfilter残りHP4)

Sfilter「……あ？」

烈斗「Sfilter、起きた？戦つて、欲しい」

Sfilter「あの化物にやられたからには返さなきゃな」

ラウンド4

Heticle「生影！まさかお前の言いたい事……つて」

Heticle 〈SANチェック〉

成功率80% ↓ 99ファンブル

1d100 ↓ 5

残りSAN値75 (不定まで残り11)

Heticle「……え？……え？……え？」

Heticle 〈アイデア〉ロール

成功率90% ↓ 53成功

Heticle 〈発狂内容〉ロール

ldl0 ↓ 6 (殺人癖、あるいは自殺癖)

Heticle「……えあ、あは、あはは、アハハハ！」

触ッ！手ッ！

マイノグーラ 〈触手〉判定

成功率??% ↓ 51成功、41成功、51成功、58失敗

対象4d6 ↓ 3、5、6、2 (Heticle、烈斗、Sfilter、生影)

烈斗 〈回避〉判定

成功率48% ↓ 58失敗

Sfilter 〈回避〉判定

成功率70% ↓ 28成功

生影 〈回避〉判定

成功率82% ↓ 49成功

ダメージロール

1d10+1d6 ↓ 3 (Heticle残りHP9)

1d10+1d6 ↓ 12 (烈斗残りHP4)

Heticle 〈幸運〉 1/2判定

成功率40% ↓ 21成功

烈斗 〈シヨックロール〉

成功率80% ↓ 52成功

生影 「大丈夫か烈斗!？」

烈斗 「う、うん……まだ……戦える……」

Heticle 「こうなったら一斉射撃を！生影、行けるか!」

生影 「まさかお前さんが言うとはな……大体の火力は雨露雨暗州に任せる！行くぞ烈斗!」

烈斗 「分かった!」

雨露雨暗州 〈ライフフル〉判定

成功率68% ↓ 7成功

生影 〈拳銃〉判定

成功率70% ↓ 3クリティカル、17成功、79失敗

Heticle 〈拳銃〉判定

成功率70% ↓ 42成功、36成功、30成功

Contractor 〈グレネードランチャー〉判定

成功率70% ↓ 20成功、19成功

烈斗 〈ナイフ〉判定

成功率75% ↓ 56成功

Sfilter 〈大銃〉判定

成功率85% ↓ 8成功

マイノグラ 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 53失敗、95失敗、63失敗、50失敗、33成功、5クリティ

カル、51失敗、29成功、99ファンブル、88失敗

ダメージロール

(雨露雨暗州) 2d10+1d6+5 ↓ 26ダメージ

(生影) 4d6+2d6 ↓ 20ダメージ

(Heticle) 2d10+6 ↓ 13ダメージ

(Contractor) 8d6 ↓ 37ダメージ

(烈斗) 1d6+3 ↓ 5ダメージ

(Sfilter) 1d8+2+1d6 ↓ 9ダメージ

累計……110ダメージ

クリティカルだからHeticleの2発目の弾丸は躲されてカウンター。

マイノグーラ (触手(カウンター)＜判定

成功率??% ↓ 98ファンプル

ええ……では誤って自身に飛んできます。

ダメージロール1d10+1d6 ↓ 14ダメージ

Sfilter「もうちよいか？」

Contractor「一押しかのう？」

布露雨暗州「やる事をやるだけだよ！」

烈斗「うん、やる事、やる」

くらウンド5く

マイノグラ (Which) 「ナゼ……シナナイイイイ!」

生影「悪いな、俺達殺人組は殺人鬼を「止める」事を生業としてるからよ!」

Heticle 「私も依頼で動くが、こんな排除依頼は疼くんのだ!」

Contractor 「儂も生きながら得たこの知識と仲間、失いたくは無いからの
!」

マイノグラ (Which) 「そんな……貴方まで!」

生影「テメエには何を言っても無駄だ!彼女は彼女なりに……復讐の為に頑張ってる
だからな!」

マイノグラ (Which) 「キサマ……ギ”ザ”マ”ラ”ア”ア”ア”ア”!」

マイノグラ 〈触手〉判定

成功率??% ↓ 6成功、66失敗、94失敗、49成功、82失敗

対象2d6 ↓ 3、3 (Heticle)

Heticle 〈回避〉判定

成功率50% ↓ 24成功、2クリティカル

Heticle 「お前は何なのか、私には……」

Heticle 〈拳銃（カウンター）〉判定

成功率70% ↓ 18成功

ダメージロール4d6+4 ↓ 22ダメージ

Pfeifer Zeliskaで弾丸はマイノグーラの左目を撃ち抜いた。

マイノグーラ（Which）「ア”ア”ア”ア”ア”ア”」

雨露雨暗州 〈ライフフル〉判定

成功率68% ↓ 67成功

Contractor 〈グレネードランチャー〉判定

成功率70% ↓ 46成功、91失敗

烈斗 〈ナイフ〉判定

成功率75% ↓ 72成功

S f i l t e r 〈大鉈〉判定

成功率85% ↓ 66成功

マイノグラ 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 43失敗、66失敗、94失敗、10成功

ダメージロール

(雨露雨暗州) 2d10+1d6+5 ↓ 21ダメージ

(Contractor) 4d6 ↓ 7ダメージ

(烈斗) 1d6+3 ↓ 7ダメージ

累計……35ダメージ

マイノグラは蹠跟めいた。

雨露雨暗州「今だよ二人とも！」

Contractor「農達の作った隙を！」

S f i l t e r「あの化物に！」

烈斗「終止符を！」

生影「お前達……」

H e t i c l e「……行こう、生影。終わりにしてあげよう」

生影「……嗚呼」

マイノグラ (Which) 「アア……コンナトコロデ……」
生影 & Heticle 「これで……」

生影 〈キック〉判定

成功率75% ↓ 52成功

生影 〈マーシャルアーツ〉

成功率75% ↓ 3クリティカル

Heticle 〈キック〉判定

成功率61% ↓ 61成功

Heticle 〈武道〉

成功率70% ↓ 2クリティカル

生影 & Heticle 「ダメージ2倍だ！」

か、回避……！

マイノグラ 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 69失敗、100フアンブル

あ、不味いこれHeticleのダメージ3倍だ。

生影「これが……!」

Heticle「私達の……!」

ダメージロール

(生影) $4d6 + 4 + 1d6$ ↓ 25ダメージ

(Heticle) $5d6 + 1d4$ ↓ 23ダメージ

累計……48ダメージ

生影&Heticle「……殺り方だああああ!」

殺人鬼と復讐者の鋭い蹴りはマイノグラの腹部を貫いた。そして黒い塊に変化しドロドロに溶ける。そしてHeticle、君の母親が現れる。

Which「……どうして……どうしてなのよ!」

Heticle「……」

Which「貴方は……どうして私に逆らうの！」

Heticle「……」

生影「下がつてろHeticle。此奴は俺が」

Heticle「……いや、私がやる」

生影「もし不味かったら此方でも撃つからな」

Heticle「……分かつてる」

^{Heticle}母親
復讐者は魔女に近付いて行く。

Heticle「……母さん」

Which「なんで……何で貴方がそつちに居るのよ……お母さんの所へ戻っておい

で……」

Heticle「……母さん」ガバツ

Which「ああ私の娘……苦しかったよね……」

Heticle「……お願い……しても良い？」

Which「母さんが出来るなら……何でも言いなさい……」

Heticle「……じゃあ」

Heticle 〈拳銃〉判定

成功率70% ↓ 45成功
 ダメージロール 4d6+4 ↓ 24ダメージ

パンツ！

Heticle 「こんな私を……許してくれる？」

Which 「あ……は……は……てい……くる……」

Heticle 「さよなら、母さん」

戦闘終了です。お疲れ様でした。

生影 「……もう良いのか、Heticle？」

Heticle 「嗚呼、やる事は終えた」

生影 「そうかい」

暗闇から朝日が昇る。探索者達はこの悪夢見たいな混沌を断ち切ったのだ。そして背後から扉が現れる。扉の前には張り紙が貼られており「この扉、進めば現実へ」と書かれている。

雨露暗州 「轟——！殺夜連れて僕達先に行ってるよ！」

烈斗 「Sfiler……肩、貸して……」

S f i l t e r 「俺達ボロボロだな……つたく」

C o n t r a c t o r 「嬢ちゃんど兄ちゃんも連れて儂も先に行ってるぞ」
では、取り残された二人。

生影「……さて、俺も帰るか」

H e t i c l e 「生影、最後に言ってた言葉を返して良い？」

生影「……何だ？」

「お前は俺を殺せる存在になるかもな」

H e t i c l e 「必ず、お前を殺せる存在になってみせる」
生影 「……首を長くして待つてるぜ」

残りの二人も扉を開け進む。白い光に包まれながら徐々に意識を失うだろう。再び目が覚めるとそこは自分達が来た場所だった。戻って来れたと思う人やまた会えたらと待ち遠しくしてる人。各々色々な感情を持って、今日を生きるのだった。

シナリオ「Judgment^判のChain^鎖」トゥルーエンドです。お疲れ様でした。

稲荷の村 #1

これは俺がリバス、ベターと永と始め会う時の話。

「リバス卓」

狼「ここがリバスの家か、結構古いな？」

リバス「田舎者だったからね。昔は」

狼「マ？w」

リバス「冗談に決まってるだろ」

ベター「あ、リバス来たか」

永「おつかえりー！その方がクトゥルフ仲間の？」

狼「あ、狼です。宜しくお願ひします」

永「私は永！宜しく狼！」

ベター「ベターだ。此奴^{リバス}の友人だと思ってくれ」

狼「宜しく。ベター、永」

リバス「さて！揃った所だし推奨技能提出だ！」

推奨技能

戦闘技能（日本刀おすすめ）、地質学、目星

狼「三大技能目星、聞き耳、図書館の探索基本技能。まともに持つて来ない奴は程々居ない。は要らないのか？一応持つてくるか」

ベター「取り敢えず探索o r 戦闘探索o r 戦闘で行くか？」

永「でも難しいですよね……推奨技能がこれだけ考えると……」

ベター「取り敢えず作ってみるに限るな」

狼「そうだね。やってみようか」

永「麦茶取ってくるよー！」

数分後……

リバス「キャラシ出来た？」

永「出来たと言うより……」

ベター「永がまだと言った方が良いな……」

リバス「成程……先に紹介しようか。キャラ紹介頼みマツカーサー」

狼「んじや俺から……名は「白刃^{ハクジン} 刃久土^{バククト}」悪霊を斬る「霊斬士」として働いている

彼は亡き母の形見としての刀と盾を持ち、仕事を受け継いで居る。そもそも靈斬士とは昔、靈の魂を天へと返す習わしで有り、刃久土の母も靈斬士として働いていたが、突如の病で息子を残りし他界した。以降、母の靈斬士の仕事を刃久土が受け継いだ……つてのが経緯だな」

リバス「へ日本刀へは有るのにへ居合へマーシャルアーツへ武道へなどのダメージアツブ技能。成功すればダメージが2倍になる。は無いんだな？」

狼「なお靈斬士として精神などを犠牲にして戦っているので病弱となっています」

リバス「戦闘有るのに体力犠牲にしてどうすんだ！」

ベター「落ち着けよりリバス。さて、次は俺だ」

リバス「頼むぜベター」

ベター「俺は継続を使うぜ。名は「上白カミシラ 希音ケネ」「絃楽大学ゲンロク」にて歴史について教える大学教授。希音の授業は難解だが、とても楽しいと生徒には評判らしく。また、宿題を忘れたりするとお仕置きとして頭突きがすごく痛いらしいが、DMな生徒がやられにくる程ご本人は苦勞している。オリシナ「幻楼賢狼」以降は半人半白沢ワーハクタクとして夜間帯を生活するが、尻尾と角が邪魔すぎて寝るのに時間が掛かると言う不便さを持っている」

リバス「前のシナリオで回した大学教授か、へ地質学へも有るから何とかかなると思うが……永は出来たか？」

永「な、何とか……」「ドーベル・レリ・フリーユ」ドイツ人だよ

狼「あれ？確か俺達日本人だg」

永「だ、大丈夫ですから！へ日本語」振ってますから！」

ベター「永、続けてくれ」

永「あ、はい。ドイツに住む軍人教官で階級は軍曹。必要とあらば捕虜への尋問も担当する男勝りな女性で軍刀を使って戦う模擬実戦や鞭による拘束訓練を主に担当しています。現在はドイツや日本で警察官兼教官を歩き来しており、立て籠もり事件や武力などの鎮圧に参戦していますけどね」

リバス「軍刀の技能何で振ってる？」

永「……え？へサーベル」ですけど？」

リバス「軍刀ならへ日本刀」でも……」「（ベター）調べたらへサーベル」だ」あ、そうですか」

狼「取り敢えず全員揃ったのかな？」

リバス「多分ね。んじゃ、マリコロさん制作「稲荷の村」始まつぞー！」

三人（リバス除く）「おおー！」

舞台はちよつとした田舎の「伊那鳴村」イナナリムラです。希音は伊那鳴村の祖父にあたる人物から連絡がきます。

上白「出ますよ……はい？」

祖父『えと……上白か？』

上白「はい、そうですが」

祖父『少し頼みが有つてねえ。ここ数年の間、村の田畑の収穫がどんどん不作になつておつて、土壌や環境に原因がないか調べて欲しい、と云う所だな？ 分かりました。直ぐに向かいます』

上白「つまりは地質関係で調べて欲しい、と云う所だな？ 分かりました。直ぐに向かいます」

祖父『頼んだのお……あ、詳しい事なら母が家に居るから聞いてみるとええ。んじや、じいちゃんも忙しいからのお』

そう言ふと切れる。あ、上白は数度遊びに行つたことがある程度で詳しくは知らないからね？

上白「おけ」

では場面変わつて刃久土。貴方は仕事が無いので図書館で本を探している所です。

白刃「こういう除霊依頼が無いのは持つて不満だ……何か無いのか……？」

では此処で〈図書館〉ロール

白刃「ロール早過ぎんだろw」

白刃 〈図書館〉判定

成功率55% ↓ 21成功

では、此処に有ってはならない様な「伊那鳴村・最近の情報」と言う本を見つければいい。ろ。

白刃「何で最近なんだよ……しかも何故図書館に……まあ読むが」

では以下の情報を知らう。

・伊那鳴村は農業が盛んな村で米や野菜、果物などブランドがついているものも数多くあるほど実り豊かな村である。

・村の名前も稲成からきているが、ここ十数年は不作が続く、年々収穫が落ちてきているようらしい。

・また人口も村の規模にしては、過疎化が進まず安定しているということがわかりますが、最近も人口も下降気味。

白刃「成程……次の行き先は決まったな」

最後にフリーユ。貴方は日本に滞在しており、上司の命によって次の指示を待つてい
る。

ドーベル「……」

やがて、受話器から音が鳴る。

ドーベル「無言で取ります」

上司『……ドーベル・レリ・フリーユ軍曹だな？』

ドーベル「嗚呼、そうだが」

上司『日本での住まいには慣れたか？』

ドーベル「……未だに」

上司『だろうな……簡潔に言う。伊那鳴村に向かえ。繰り返す、伊那鳴村に向かえ。』

オーパー』

ドーベル「……了解。ドーベル、アウト」

と言う事でドーベルも向かうと。

では一向はバスやら車やらで向かうだろうね。伊那鳴村は、駅から離れると田んぼや畑がたくさんあるし、駅の付近はそれなりに商店街やスーパーなどもある、そこそこの

田舎といった様子です。ただ、商店街は閑散としていて、閉店している店もちらほらと見かける。やがてアナウンスが聞こえてきた。

アナウンス『まもなく、伊那鳴村へ。お降りの方は忘れ物をしないでください』
貴方達三人は降りる事だろう。

上白「久々に来たな……」

ドーベル「……お前達は何だ？と言うかそこの少年は銃刀法違反だな？」

白刃「いえいえ、ただの除霊者ですよ。あと外見で判断しないで頂きたい、これでも成人です」

上白「私もしがない大学教授だ。地質調査をしに来ただけだ。害はない」

ドーベル「そうか」

白刃「此処で会ったのも何かの縁です。地質調査は出来ませんが、一緒に行きませんか？」

上白「……そうだな。そちらの方は？」

ドーベル「私も同行しよう。名はドーベル・レリ・フリーユ、長いからドーベルで良い」

白刃「白刃 刃久土です。霊斬士と言う悪霊を斬る仕事してます」

上白「上白 希音だ。先程言ったが大学教授だ。先に用件としてとある所に向かい

いのだが……良いか？」

ドーベル「構わない」

白刃「大丈夫です」

では一向は上白が向かう祖母の家へと向かいます。

迎り着いた祖母の家は手入れが行き届いた古い日本家屋です。

上白「戸を2回程叩く」

バンバン！

上白「御免下さい」

しばらくすると「はい」と返ってくる。

???「どちら様ですk……って……」

上白「……久しいな、おばあちゃん」

白刃「おばあちゃん……って、上白さんの祖母ですか!？」

ドーベル「行きたいと言った所は……」

上白「……私の祖父母が住む家だ」

祖母「ごめんなあ、急に来てもらって。しかもお客さんをお連れとは……お茶しか出

せんけど、すまないねえ」

白刃「いえ、僕は大丈夫です」

ドーベル「私もだ」

上白「それでおばあちゃん。祖父から聞いた不作の件なだけ……」

祖母「ああ……その事なだけねえ……」

上白のおばあちゃんは、久しぶりに会える可愛い孫が遊びに来たことにとても喜びますが、不作の件を切り出すとかなり気落ちしてしまいます。

祖母「この村は農業だけが頼りでやとつたんよ。一時は、駅の方に色々お店も出来たが、結局人がおらんからねえ……潰れてしもた店もたくさんあるんよ」

白刃「確かに……所々閉まっている所とか有った……」

祖母「それでも、商店やとつた人らも農業と兼業やったから、美味しいもんが収穫出来とつた頃は、それを糧にやっていけた。でも、ここ数年は不作でどんどんひどなるばかりじゃ」

ドーベル「成程……」

祖母「このままじゃ村のもんは飢えて、この村を出て行かなあかんくなる。土が痩せ細っているのは分かるんじゃが原因が分からんのじゃ……」

そう言うため息を吐きます。

上白「おばあちゃん、その田圃って何処にあるんだ？」
祖母「着いてきてみい」

田圃の土壌調査ですが〈地質学〉判定でどうぞ。

上白 〈地質学〉判定

成功率72% ↓ 22成功

成功した上白、土はかなり痩せ細っていること、原因は肥料不足であるとわかります。

上白「おばあちゃん、肥料って使ってるのか？」

祖母「肥料なんか使ったことないよお。ここの村のもんはそんなもん使う人見たことないからのお」

まあ、肥料なしで農業を行うことは不可能に近く、慎重にやらなければ土が痩せ細るのは当然の結果であることを地質学持ちの上白は知っています。当然のように肥料も使わずにずっと豊作が続いたのは上白からみて奇跡に近いです……が、しかし土はもうすでに回復の見込みがないほど痩せ細っており、それは村のどの田んぼや畑も同じ状態です。

ドーベル「で、結果はどうなんだ？」

上白「残念だが……これじゃ無理だ」

祖母「そんな……ああ……」ガクッ

上白の祖母は倒れそうになります。

白刃「抑えます！（ガシッ）危ない!？」

ドーベル「……容体が悪化したら危険だ。一旦戻ろう。上白」

上白「あ、ああ……!」

探索者一行は上白の祖母の家に戻りますね。

稲荷の村 #2

さて、家屋に戻ってきた探索者一行。上白の祖母はシヨツクのあまり寝込んでしまつた。

コンコン……ガチャ……。

白刃「取り敢えずお粥作つたよ……食べれる？」

祖母「……すまないねえ。そこに置いといてくれないかい？」

白刃「分かった……ここに置いとくね」

ドーベル「……」

上白「……おばあちゃん、大丈夫？」

祖母「……もうお稲荷様に頼むしかねえ。歳を取ってから階段が辛くて随分と行つたらんかったが、拜みに行く……っ!?!」

と言つて立ち上がりますが、すぐによろけてこけてしまいます。

上白「おばあちゃん！」

ドーベル「今は安静にしとけ、下手に動いたら返つて危険だ」

祖母「うう……すまんが上白、そしてお二方……代わりに稲荷神社のお稲荷様にいな

り寿司をお供えに行つてくれんか？」

上白「……私は大丈夫だが、良いのか二人共？」

ドーベル「何を言う。ご老体で行かせる訳にもいかん」

白刃「そうですね。代わりに行かなきゃ誰が行くんですか」

上白「毎度……すまない、それじゃあおばあちゃん。行つてくるね。」

祖母「うう……行つてらっしゃい」

上白「さて、いなり寿司を用意する訳だが……」

白刃「K P、いなり寿司の材料ってある？」

うーん、上白の祖母の家だからなあ……上白が〈幸運〉の半分で振つて成功すれば有るで良いよ。

上白 〈幸運〉 1 / 2 判定

成功率 40% ↓ 39 成功

なら有ることで良いよ。

白刃「取り敢えず材料は有る……後は作れるかどうか……」

そうだな……誰が3人で1回〈DEX×3〉で判定して、成功したら作れたで良いよ。

ドーベル 〈DEX×3〉判定

成功率51% ↓ 76失敗

上白 〈DEX×3〉判定

成功率45% ↓ 38成功

白刃 〈DEX×3〉判定

成功率48% ↓ 1クリティカル

クツソwではドーベルは上手く作れなかったが、上白は普通に作れた。そして白刃は神々しく光っているいなり寿司を作るだろう。

上白「……刃久土!?何だその光るいなり寿司は!?!」

白刃「普通に作ったただけだけど!?!」

ドーベル「……ふむ」

あ、上白が1d6、白刃は2d6振って。

上白 1d6 ↓ 2

白刃 2 d 6 ↓ 4 + 3 || 7

では上白は2個、白刃は7個作れたね。

白刃「何か作りすぎた……お二方、1個食べてみます?」

上白「いい、良いのか?」

白刃「5個有れば十分の量でしょうし」

ドーベル「では、お言葉に甘えて……」

では白刃が作つたいなり寿司を食べた二人。とても美味しく、今まで食べたいなり寿司より遥かに美味いと言う事が分かる。

上白「……これは!?!」

ドーベル「うむ、とても美味しいな」

白刃「やった!じゃあ早速向かいますよ!」

上白&ドーベル「(やはり喜ぶ姿は子供っぽいな……)」

一行向かった場所。稲荷神社は近くの山にあります。車では入れず、長く細い階段を上つていかなければなりません。お年寄りにはかなりきついだらうな、ということがわかります。

ドーベル「ご婦人と来なくて良かったな」

上白「ああ……結構難しいよ」

また長い間、人が入ってなかったせいとか細かい階段の脇からは草が伸びほうだいになっており、ほぼ廃墟のようです。

白刃「上りますか」

20分ほど階段をのぼり、やっと神社の鳥居が見えたと思ったさきにあつたのは全く手入れされていない神社で、まさしく廃神社と呼ぶのが相応しいさびれた神社でした。宝珠をくわえた稲荷像にも伸びた雑草が絡み付いています。

上白「〈歴史〉振れる？」

良いよ。振ってみて？

上白 〈歴史〉判定

成功率72% ↓ 3クリティカル

上白 「えw」

白刃 「ちよw」

ドーベル 「待てw」

では稲荷がくわえている宝珠とは神の霊力の象徴であると言う事が分かる。クリティカル是件はチケツトクリティカルやファンブルが出た時に何も起きなかった用の補助。クリティカルチケツトを使えば、ファンブルを失敗に、失敗を成功に変えたり。ファンブルチケツトならKPの判断でファンブルの出来事を起こしたり、ダメージを2倍にすることが出来るハウスルールの一つ。で。

上白「分かった」

で、社の方を見ると小さな人影があることがわかります。

ドーベル「姿は見えるのか？」

近付かないと……分らないかも。

上白「なら近付くが」

人影は探索者が近づいても全く気付かない様子で頭を抱えて座っています。年齢は10〜12歳くらいで巫女のような姿をしており、何よりおかしいのは頭から薄い金色のピンと立った獣のような耳が二つ、後ろからはふさふさの大きな尻尾のようなものが見えています。

そしてなにやらぶつぶつと「どうすればいいんじや……あれがないと……取り返さないと……」と言っています。

白刃「KP、一気に近付く事は出来るか？」

まあ出来るけど、何する気？

白刃「敵が味方かどうか分からんから首元に霊刀を押し付ける」
やめなさい。

白刃「……冗談だ。普通に声をかけるよ」

白刃が声をかけると彼女はびくつと肩を震わせ、ゆつくりと顔をあげます。そして驚いた様子で聞いてきます。

???「私の姿が見えるのか……？」

白刃「逆に声をかけなかったらどうすると？」

???「もう姿を消す力もないのか……」

とがつくりしたあと、言葉が続けます。

???「まあ、ちようどよい。そちらよ、我は稲荷大明神である。偉大な我に力添えをすることを許そう。昨夜、ふとどきものがやってきて、神器である十束剣を盗んで行きおつた。我は外のことはよく知らぬ。一緒にそやつから取り返すがよい」

上白「神様ねえ……ドーベルはどう思うか？」

ドーベル「全く持って怪しき存在。これは無視した方が良さそうだな」

では断ると目に涙をいっぱい浮かべ「えらそうにして済まぬ！手伝ってくれ！」と頼んできます。

白刃「ちよいちよい、泣かしてどうする!？」

ドーベル「いや、怪しいだろ」

上白「コスプレかもしれないしな……」

白刃「ええ……でも根は？」

ドーベル&上白「助けたい気を有る」

白刃「つて事だ……手伝うよ」

稲荷大明神「よいのか!?そなたたち、良いやつじゃの〜!」

白刃「んで、誰が盗んだんだ?……その、あれ」

ドーベル「十束剣」

白刃「そう、それ!」

稲荷大明神「若い男じゃった!顔はすっかり覚えておる!あやつ、始めは賽銭箱を漁つとたんじゃが、少ないとわかると本殿の中に入ってきおった!止めようとしたんじゃが、足が早くての…追いつけなかった。バイク?とかいうやつに乗っていつてもうた。大きい音じゃった」

上白「流石の神様でもバイクには勝てなかったのか……」

ドーベル「所で十束剣って何だ?」

稲荷大明神「とある女が置いていった剣じゃ。元々霊力が宿っていたが、さらに私の力を何十年もかけて宿らせた特別な剣じゃ。いざという時のためにここに奉納されておった」

白刃「そんな大事な物を盗まれたのかよ……許されないなそりゃ」

上白「と言うか神様何だからやつつければ良いんじゃないのか？」

稲荷大明神「我ができることは、赤子を授かりやすくすることと豊作にすることだけじゃ！しかしその力も、なぜか近頃はめつきり弱くなつてしもうた。幼い姿なのもそのせいじゃ。本当はもつと豊満な体をしておる！」

ドーベル「身体の話は聞いておらん。十束剣は『いざという時のため』とか言っていたが……？」

稲荷大明神「実はな、我の中には邪神が封印されておる。もし封印が解けてしまった時、その剣でやつつけるのじゃ！」

白刃「……邪神が封印？」

稲荷大明神「数百年前か……大飢饉が起こつてな、我も力を尽くしたんじゃが及ばず何人も民たちが飢え死んだ。それで、餓えた民たちは邪教に手を出してしもうたんじゃ。民たちは、生け贄を何人も差し出し儀式をして、豊穡と多産の神を呼びだした。だがな、それは恐ろしい邪神じゃった。見たもののほとんどが狂い、その上にその邪神

は目につくものすべてを破壊し殺した。もう、何もかも終わりじやと思つた時、ひとりの女が現れたんじや。確かどこかの神社の娘と言つておつたな…、その娘は自分はこのように詳しい、かなり強い邪神だが我が協力すれば封印できると言つたんじや。我はもう民が死ぬのは見たくなかつた。二つ返事で我の中に封印することを聞き入れて、無事その邪神は封印されたというわけじや」

上白「私の歴史の中でもそれは知らなかつたな……」

白刃「え？祖母が此処に住んでいるのに？」

稲荷大明神「なぬ？お主、叔母が居るのか？」

上白「居るは居るけど微妙にしか此処に住んでいなかったんだ。だから稲荷大明神の歴史などは簡単な事しか知らない」

稲荷大明神「そ、そうか……」

ドーベル「……苦しい事は考えない方が良いぞ、上白」

上白「分かつてる……」

白刃「所で稲荷大明神って長くないかな？個人の名前って有るのか？」

稲荷大明神「我に名前は無い！堅苦しいのは嫌いなので稲荷でよいぞ」

白刃「分かつた。稲荷」

上白「……あ、そう言えはいなり寿司を持ってきていたんだ。食べるか？」

稲荷「我はこれが好物じやー！感謝するぞー！」

といつて美味しそうに食べるだろう。

稲荷「んぐんぐ……うまい！特にこの綺麗に光っているいなり寿司は特に！」

白刃「その光っているいなり寿司は二人が丹精込めて作ったらしいからな」

上白「え？」

ドーベル「何を言う。それはお前が作つて」

白刃「今はこう喜んでるんだ。良いだろ（小声）」

ドーベル「……全部食べ終えたら再出発するぞ」

稲荷「分かったぞ！」

ドーベル「そう言えば稲荷。その姿は不味くないか？」

稲荷「なぜじゃ？みんな我が稲荷大明神と知ったら驚くかもしれないが、喜ぶぞ？隠す必要などない！」

上白「取り返すにも見た目は幼き姿なんだ。しかも耳や尻尾、現代^今ならそれを見て攫う人も居るんだ。説得とか出来るか？」

良いよ、やってみ。

上白 〈説得〉判定

成功率80% ↓ 6成功

稲荷「むう……分かった。しかしどうやって隠すのじゃ？」

上白「……不味い。そこまでは考えてなかった」

ドーベル「上白、叔母に聞いてみてはどうだ？何か羽織る物は有るだろうに」

白刃「確かに、それなら上手く隠せそう」

上白「では早速取ってくる。二人はどうする？」

ドーベル「私は稲荷の警ホテイガード護をしよう。白刃、聞き込みを頼めるか？」

白刃「俺一人じゃ難しいかな……」

ドーベル「なら上白との合流地点は此処稲荷神社で良いな？」

上白「分かった」

んじや10分で取りに行けるね。羽織れる物は有る事で良いよ。

では探索者は『大きい音のバイク』というヒントから男を探すことになるね。

ドーベル「恐らく。大きい音の出るバイクは大方暴走族だろう」

稲荷「ぼうそうぞく……？とは何じゃ？」

白刃「オートバイとか主に二輪系の車両に乗って騒音や無謀な走行で迷惑をかける人の集団だ」

ドーベル「(て事は数も……用心しよう)」

では場面変えて白刃とドーベル、稲荷の3人が聞き込みをした結果はこうだ。

・夜中に、とても大きな音でバイクが20台ぐらい暴走している。

・おそらく若者の集団。

・駅の方でたむろしているらしい、商店の店主が迷惑していた。

ドーベル「そうか……ご協力感謝する」

村人「いやいや！助けてくれるのが何よりうれしいよ！しかしその嬢ちゃんは変わった格好だな！」

稲荷「我は稲荷大明神である！」

村人「あはははは、神様なんて信じてるのかい？可愛いお嬢ちゃんだねえ」

と言ひ、馬鹿に去っていきます。そう言われると稲荷は明らかにショックな顔をし、下を向いてふるふると震えます。瞬間、稲荷の体の周りに突然黒い煙のようなものが現れ、稲荷の腕の色がまだらに黒い色に変色していきます。

白刃「稲荷?!腕が……!?!」

ドーベル「……」

SANチェックです。

ドーベル 〈SANチェック〉

成功率70% ↓ 84失敗

白刃 〈SANチェック〉

成功率85% ↓ 57成功

失敗したドーベルは1減少。

ドーベル「……っ」

残りSAN値69（不定まで残り13）

稲荷「不味いの……私の力が弱まって邪神の力が抑えきれなくなっている。急がなければ」

白刃「……分かった。急ごう」

駅の方に行くと、稲荷はきよろきよろと周りを見渡し、物珍しそうにしています。商店は田舎の小さな商店といった感じで50代のおっさんが1人で店を切り盛りしているようです。

ドーベル「失礼する」

店主「らっしやい！」

店に入るとすぐに稲荷が大きな声をあげます。

稲荷「こ、これはなんじゃ……！なんと愛らしい！！」

白刃「……んー？」

稲荷が手にしているのは、狐のキーホルダーでとても気に入っている様です。

白刃「それが欲しいのか？」

稲荷「あ、ああ！だが……我はお金は持ってないのじゃ」

白刃「……ふっ……ふふっ」

稲荷「な、何がおかしいんじゃ！」

白刃「……いや、神様も好きな物が有るなんてな。欲しかったんなら遠慮なく言って

くれよ。おじさん、このキーホルダー一つ買うよ」

店主「お、毎度あり！」

稲荷「よ、良いのか!? 大事にする！そうじゃー！これが感謝の印になるかわからんが

……」

そう言つて、首と服の胸のあたりをごそごそするとネックレスを取り出します。そのネックレスの先には、丸い透き通った直径2cmほどのガラス玉のようなものがついて

います。

白刃「これは……？」

稲荷「これはな、私の宝珠じゃ。この中に私の力が入っておる。我とこの宝珠は一心同体といえる大切なものじゃ。しばらくの間じゃが、霊力を授けてやろう。何か授けて欲しいものはあるか？」

白刃「そうだな……この刀に付与出来るか？」

稲荷「刀にか？」

白刃「……この刀は亡き母の形見として使つてる霊刀なんだ。打ち込まれたこの刀と盾は自身の力を犠牲にして悪霊を斬る力を持つんだ。だから頼む」

稲荷「其方がそう言うなら……」

では稲荷は霊刀を差し出すと、宝珠をそつと近づけ、宝珠とその武器が一瞬だけ光ります。そのあと稲荷は嬉しそうに狐のキーホルダーをネックレスにつけます。

ドーベル「……所で暴走族の件について何か知らないか？」

店主「ああ、暴走族ね。いるよ。以前は毎晩、店の前にたむろしていて迷惑だったけど、最近はいなくなってくれて清々してたんだよ。今は、昔ボーリング場があったところでたむろしてるみたいだよ」

ドーベル「成程……ボーリング場か。ご協力感謝する」

話を聞き終わると、稲荷が嬉しそうに店主に問いかけます。

稲荷「あれは神棚じゃな？そちは神を信じておるのじゃな？」

稲荷が指差す先には、確かに神棚が飾ってあります。

店主「変な格好して変なこと聞くお嬢さんだな。いや、あれは俺の親父が残したものだよ。俺は神なんて信じてないよ」

そう言われるとまた稲荷はショックを受けた顔をします。そして、また稲荷の周りに黒い煙が現れ、手足が伸び、胸やお尻が膨らみ、耳や尻尾の毛並みもよりふわふわの大人の女性に成長します。肌の色は暗いもののその姿はとても美しく妖艶な雰囲気が漂っています。SANチェック。

ドーベル「またー？」

白刃「振る、当てる、回避する」

ドーベル 〈SANチェック〉

成功率69% ↓ 37成功

白刃 〈SANチェック〉

成功率85% ↓ 98ファンブル

白刃「(??) ?? ?(??) ??」

まあファンブルは無いから普通に1減らして。

白刃「アーヨカッタ」

残りSAN値84(不定まで残り16)

ドーベル「おい稲荷、その姿は……」

稲荷「力が戻ったのか……!」

ではここでドーベルは〈目星〉を。

ドーベル「……ん?」

ドーベル 〈目星〉判定

成功率85% ↓ 71成功

では成功したドーベル。稲荷の爪がするどく真つ黒に伸びていることがわかります。

ドーベル「その黒い爪もか?」

それを稲荷に指摘すると、稲荷は愕然とします。

稲荷「違う…:我の力が強まったのではなく、弱まったのだ。我の力が弱まり、封印が解けかけ邪神の力が我にも影響を与えてるんじや。急がなければなるまい」

店主「手品かい？」

白刃「馬鹿か！この子の命が危ねえんだよ！」

ドーベル「白刃、急ごう。神社へ」

白刃「……ああ！」

稲荷の村 #3

では稲荷神社に再集合する前、上白がもう既に居る状況だけど。

上白「あれ？私の場面は無いのか？」

取りに行くだけであつて戻るシーンに対してのシナリオ載つてないんだよ。

上白「そ、そうか……」

で、そこにドーベルと白刃、稲荷が息を上げて来るね。

白刃「はあっ……はあっ……上白さん！大変だ！」

上白「ど、どうした急に!？」

稲荷「我の力が弱まっついて、邪神を封印する力も弱まっているんじや！」

ドーベル「このままだと時間の問題だ！場所は割れた、すぐに向かうぞ！」

上白「何が何だが分からないが……稲荷、私の御下がりだが着てくれ！」

稲荷「わ、分かつたぞ！」

ボーリング場に向う途中、〈アイデア〉をどうぞ。

ドーベル 〈アイデア〉判定

成功率80% ↓ 39成功

成功したドーベル。何処からか視線を感じる。だが誰が視線を向けているかは分からない。

ドーベル「……誰かに見られている」

上白「場所は？」

ドーベル「不明だ」

白刃「……やるか？」

ドーベル「時間の問題だ。無視しておけ」

白刃「……分かった」

その後視線は無くなり、ボーリング場は1階建て古いです。かなり昔に閉鎖されたようで、窓も入り口も裏口もシャッターが下ろされ頑丈な鍵がかけられています。しかし、外には20台ほど改造されたバイクが駐車されています。

上白「〈聞き耳〉立てれる？」

確認しようとするが、防音になっており何も聞こえない。しかも中に入るためには鍵が必要だね。

ドーベル「二応〈鍵開け〉有るが」

上白「どうする？特攻するか？」

白刃「……やめときましよう。万が一解錠音で気付かれたらたまったものじゃないです」

稲荷「ではどうするんじや？」

上白「何も案が無いとなると……やはり解錠か？」

……上白、〈アイデア〉。

上白 〈アイデア〉判定

成功率85% ↓ 100フアンブル

上白 「フツw」

……クリティカルチケット使う？

上白 「そうさせてもらおうよ」

ではクリティカルチケットで失敗となった。

白刃 「そしてKPからの命綱も途切れた」

ドーベル 「詰んでる？詰んだ？鍵開けする？」

白刃「待て待て待て。KP、代役で俺が」
良かろう、振れ。

白刃 〈アイデア〉判定

成功率75% ↓ 64成功

ふむ、なら鍵を入手するために土地所有者を調べる必要がある。

白刃「上白さん、この土地の所有者って分かりますか？」

村役場の土地台帳で調べることが出来るぞー。

ダブル「では確認しに行くが」

土地台帳には、現在は何んと上白の祖母が所有者だということが分かります。

上白「おばあちゃんが……聞きに行こう」

ダブル「ああ。2人共行くぞ」

白刃「稲荷と一緒に行っててくれない？少し調べたい物が……」

ダブル「……了解した」

で、何を調べるの？

白刃「稲荷の事も知りたいけど……俺が調べたいのが……」

では場面を変えて上白、稲荷、ドール側。おばあちゃんにボーリング場のことを聞くと、仲良くしていた知人が所有していたものだったが、知人が亡くなり自分が相続することになったらしい。しかし相続しただけで管理は管理会社に任せつきりだということが分かり、鍵も管理会社に預けているということ。そして管理会社は桜井管理会社と言う事を教えてくれる。

上白「桜井管理会社……」

祖母「駅の近くに有るから行ってみるとええ……ん？そこの子、どこかで会ったことがあるかね……？」

稲荷はすこし考えたあと、口を開く。

稲荷「……千代ちゃんか？昔よく神社で遊んでおった！」

祖母「まさか……あなたは稲荷大明神様か？」

稲荷「そうじゃ！」

稲荷はその言葉に嬉しそうに肯定する。

祖母「ああ、小さいころあの神社で鞠を探しているとあなた様が見つけてくださった。もう一度会えるとは……」

そう言って拝みます。すると、稲荷の体が光に包まれ、どす黒い色から普通の肌色に

少しだけ戻っていく。

ドーベル「色が元に……」

稲荷「私の姿は普通は見えない。だが、子供や動物がたまに見える場合があるんじゃない。だが、子供や動物がたまに見える場合があるんじゃない。だが、子供や動物がたまに見える場合があるんじゃない。では2人は〈アイデア〉どうぞ。」

上白 〈アイデア〉判定

成功率85% ↓ 43成功

ドーベル 〈アイデア〉判定

成功率80% ↓ 59成功

稲荷の力は信仰心によって強まったり弱まったりするということに分かる。

上白「信仰心……村人から信仰心を集めれば！」

ドーベル「いや、無理だ。さっき聞き込みついでに稲荷の存在について誰も信じなかった。信仰なんて程遠いだろう」

稲荷「……」

上白「取り敢えず携帯電話で白刃に連絡するけど」

事前に交換したって事で良いよ。白刃が出るね。」

白刃『はい。どうかしましたか？』

上白「駅付近の桜井管理会社に向かって、鍵を貰える様に頼めるか？」

白刃『皆さんは？』

上白「私達もそっちに向かう。だが今向かっているなら駅から近い筈だからな」

白刃『……成程……分かりました』

通話が切れるね。

上白「白刃が向かっている。私達も向かおう」

ドーベル「了解だ」

稲荷「そうじゃの」

駅の付近に戻ってきた白刃。へアイデアどうぞ。

白刃 へアイデア 判定

成功率 75% ↓ 30 成功

またどこからか視線を感じる。場所は分からないが。

白刃「(新車のストーカーか?) 取り敢えず管理会社へ」

桜井管理会社はひよろひよろの気の弱そうな50代の男性が1人います。

白刃「あの、すみません霊斬士の白刃と申しますが」

???「あ、これは失礼しました。私、こう言う者です」

彼は「桜井健吾」と書かれた名刺を差し出してきます。

白刃「(当たり前か……) あの、ボーリング場の鍵を貸して欲しいのですが……」

桜井「ボーリング場の……」

白刃「暴走族たむろしていると言う噂を聞いて……」

ボーリング場に暴走族がたむろしている噂がある、という顔を真っ青にして答えません。

桜井「おそらく、それは私の息子です……」

白刃「息子?」

桜井「はい。ここから鍵を持ち出し、合鍵でも作って出入りしているんですよ。」

息子は暴走族の親玉のようなんです。なんども息子に人の迷惑になることはやめろと言っているんですが、もう私のいうことは全く聞きません。一度、警察にも相談しましたが、警察にも息子の知り合いがいるようで、警察が駆けつけるころにはその場から逃げているんです。私にはもう手をつけられません……」

そう言つて嗚咽を漏らしながら泣き出します。

白刃「では、稲荷神社の賽銭を盗んだのは……」

桜井「おそらく金目当てです……あ、ボーリング場の鍵ですよね」

白刃はボーリング場の鍵を手に入れた。

白刃「ボーリング場へ行く」

合流し、鍵を開けようとしていると、後ろから20人ほどの暴走族が現れ囲まれます。

暴走族「俺らを探ってるのはお前らだな？何の用だ？」

ドーベル「警察だ。大人しくご同行願おうか」

暴走族「……ボスのところに連れて行け」

と言つて探索者を拘束しようとします。

ドーベル「不意をついて軍刀の鞘で叩くことは出来るか？」

やってみ、成功したらダメージロール振つて。

ドーベル 〈サーベル〉判定

成功率60% ↓ 17成功

ダメージロール1d8+1+1d6 ↓ 11ダメージ

暴走族 〈シークレットダイス〉

では当てる前背後に居た仲間に気付かずに頭部を殴られ、気絶した。

白刃「ドーバー（ゴッ！）さ……」

上白「このっ！巫山戯るのh（ゴッ！）ぐっ……」

稲荷「白刃……上白……！」

暴走族「よし、連れて行け」

気がつくと探索者と稲荷は縄で後ろ手に拘束されており、ボーリング場の中と言う事が分かる。中は広いが薄暗く、簡易的なスタンドライトがいくつか置いてあるだけ。奥に進むとボロボロのソファに、頭をオールバックにした若いながらも威圧感のある男が座っている。どうやらボスの様だ。

稲荷「奴じゃ……十束剣を盗んだのは奴じゃ（小声）」

ドーベル「（ギチギチ）くっ……解こうにも時間が掛かるぞ（小声）」

白刃「……貴様が……桜井さんの息子か！」

ボス「だと言ったら……どうなんだあ!?!」

ドカッ！と白刃の腹部に蹴りが入る。ダメージロールは無いよ。

白刃「っ！……ぐうっ……」

稲荷「白刃！大丈夫かの！」

白刃「だ、大丈夫だ。この位……」

上白「今の内に辺りを確認するけど、〈目星〉？」

当たり。振ってみ？

上白 〈目星〉判定

成功率65% ↓ 52成功

ではボスの後ろに十束剣が置いてある。

ボス「ちようど暇だったんだよ。いいおもちゃが見つかってよお！」

ゴッ！つと頭部を殴られる白刃。

白刃「があっ！……くっ……」

ボス「俺はな、ただただ人を痛ぶるのが好きなんだ。誰でもいい、1人連れてこい」

仲間に命令すると、すぐに稲荷が叫んだ。

稲荷「我を連れて行け！こやつらを傷つけるのは許さん！民を守るのは神の役目じゃ

！」

上白「なっ!？」

ドーベル「っ!？」

白刃「ばっ……稲荷……!？」

そう言うのと、そこにいる暴走族たちが大声で笑い始める。

手下達「神ってなんだ? / こいつ頭おかしいんだろ、変な格好してるしよ / この耳はなんだよ」

そう言つて耳を思いつきりひっぱる。本物の耳なので、稲荷は痛がる。だが、

手下「よくできたおもちゃだな」

と言い、信じない。

すると、稲荷の周りにまた黒い煙が渦巻き、稲荷の身体がまだらに黒く変色していきます。

白刃「やめろっ……稲荷には……手を……出s (ゴッ!) がっ!」

手下「お前もう黙れよ、正義気取ってんじやねえっての!」

ドカツ! ドカツ! ドカツ! と何度も蹴られる白刃、それを目に上白とドーベルはどうする?

上白「……動かない」

ドーベル「……今の私でも、流石に無理だ」

稲荷は、ボスの前に連れて行かれると、まずお腹に一発蹴りを入られます。

稲荷「ひうっ！」

痛さのあまり小さな呻き声をあげてうずくまっていると、さらに十束剣を取り出した。

ボス「こいつの切れ味、試したかったんだ。動くなよ？血だらけでやりたくねえからな」

と言って稲荷の服を剣で切り裂く。服が切り裂かれると、ボスが宝珠のついたネックレスを見つめます。そしてそのチェーンを無理やり引きちぎる。

稲荷「やめるんじゃ!!それを返せ!!」

ボス「金目のモンかと思ったが、ただのガラス玉みてーだな。こんなもん返してやるよ」

と言って地面に叩きつける。バリイン！と言う高い音を出して宝珠が割れたその瞬間、あたり一面に黒い煙が渦巻く。動揺する族たちを尻目に、おぞましい声が響く。それは稲荷の声にどこか似ていた。

???'「馬鹿な人間共よ、まさか自分たちの手で私の封印を解くとは」

白刃「稲……荷……?」

煙がはれた時、そこにいたのは稲荷ではなかった。天井に届くかと言うほどの大き

さ、黒い触手、先端が黒いひずめになっていてねじれた足、おぞましいその姿とは裏腹に美しい稲荷の顔が全てを見下すように笑っていた。その怪物は今まで自分をいたぶっていた男をひずめで踏みつけると、男は蟾蜍のような声をあげ内臓が飛び散らせながら死んだ。

上白「何だ……この化物は……」

ドーベル「尋常じゃない……想定外だ……」

と言う事で邪神シユブⅡニグラスを見た探索者はSANチェック。

上白 〈SANチェック〉

成功率85% ↓ 38成功

減少値1d6 ↓ 6一度に5以上減った場合はアイデアを振る。もし成功してしまつた場合、発狂する。

残りSAN値79 (不定まで残り11)

ドーベル 〈SANチェック〉

成功率69% ↓ 22成功

減少値1d6 ↓ 3

残りSAN値66 (不定まで残り10)

白刃〈SANチェック〉

成功率84% ↓ 53成功

減少値1d6 ↓ 4

残りSAN値80（不定まで残り12）

上白〈アイデア〉判定

成功率85% ↓ 33成功

1d10 ↓ 3（肉体的なヒステリーあるいは感情の噴出）

1d10+4 ↓ 14ラウンド

上白「あ、ああ……う、ううっ……」

ドーベル 〈頭突き〉判定

成功率50% ↓ 100フアンブル

ドーベル「あ……」

勢い余って床に頭突きしたね。気絶だ。

ドーベル「理不尽だ！」

白刃「俺しか動けないやん！ああもうやるしかねえ！」

白刃 〈DEX×5〉判定

成功率80% ↓ 4クリティカル

えっ!?!では上手く解けたと同時に何か1つ行動して良いよ。

白刃「神霊断を抜き構える!」
では戦闘開始。

DEX順にシユブⅡニグラス、白刃の行動。と言う事でシユブⅡニグラスの攻撃。

シユブⅡニグラス 〈シークレットダイス〉判定

成功率??% ↓ 98ファンブル

嘘だろお前!?!wこのターン回避不可能だよ!w

白刃「僕のターンか、十束剣って何m離れてる?」

〈シークレットダイス〉約10m。DEX×3で取りに行ける。

白刃「賭ける!」

白刃 〈DEX×3〉判定

成功率48% ↓ 2クリティカル

白刃 「ヒューッ！」

十束剣を取れてさらに攻撃も可能だよクソが！w

白刃 「KP！俺のMPを16消費して神霊断の能力を放つ！」

分かった。消費MP分だけダメージボーナス。さらに二刀流なら半分だ。

白刃 「上等ッ！」

白刃 〈日本刀〉1/2判定

成功率37% ↓ 1クリティカル

白刃 「……稲荷」

稲荷 「(´・`、´これなんじゃ……なんと愛らしい!!)」

白刃「(……んー?それが欲しいのか?)」

稲荷「(あ、ああ!だが……我はお金は持ってないのじゃ)」

白刃「(……ふっ……ふふっ)」

稲荷「(な、何がおかしいんじゃ!)」

白刃「(……いや、神様も好きな物が有るなんてな。欲しかったんなら遠慮なく言ってくれよ。おじさん、このキーホルダー1つ買うよ)」

稲荷「(よ、良いのか!?!大事にする!)」

白刃「今、その苦^邪しみ^神から助^解けて^放やる」

ダメージロール3d10+1+1d16 ↓ 42ダメージ

白刃「…… 十束神靈斬『稲荷大明神』ツ!」

ザツシヤアアアアアアア!

稲荷十束劍神靈斬の劍と白刃の劍がシユブニグラスを捉え、斬り裂くき叫び声をあげる。

白刃「……天に帰せ、忌まわしき邪神よ」

あたりは光に包まれたかと思うと、稲荷が元の姿になって現れます。

白刃「稲荷」

しかし、姿は透けており悲しそうな顔をしています。

稲荷「感謝する。邪神は退散した。そなたたちのお陰じや。我は、たくさんの命を奪ってしまった。もう神でいることは許されん。いや、神などもう必要ないのかもしれない」

白刃「きつと、お前を信じる人が居るさ」

稲荷「民たちは、自分たちの力で十分に困難に立ち向かえる力を手に入れたんじや。最後に神として、一つだけ奇跡を起こそう。さよならじや。最後まで信じてくれてありがとう」

そういうと消えていきます。

白刃「……………っ……………っ」

ドーベル「……………私は何を」

上白「一体何が何だが……………白刃？泣いているのか？」

白刃「……………いやっ……………なんでもっ……………ないっ」

光が消えるところには暴走族の遺体、救急車やパトカーなども駆け付けています。この件についてはドーベルが暴走族同士の内乱ということで片付くでしょう。

数日後、おばあちゃんがとても喜んで上白とドーベルに声をかけています。

祖母「土がもとに戻った、これで作物がまた立派に育つ！稲荷大明神様のお陰じゃ」

！

ドーベル「……………上白、一応調べては」

上白「そのつもりだ」

調べると、土に栄養分が戻っていることが分かります。

上白「うん、ちゃんと戻ってる」

ドーベル「……………そういえば白刃は？」

上白「彼なら……………」

村はお祝いに、稲荷神社で祭りが行われることになりました。稲荷神社はきれいに掃除され、村人たちはとても楽しそうにしています。白刃、貴方は一人でその光景を見えます。

白刃「……稲荷、見てるか？村の人達が信じてくれたぞ」
ではここで〈目星〉。

白刃 〈目星〉判定

成功60% ↓ 1クリティカル

神社の茂みがユサユサ揺れていることが分かります。

白刃「……動物でも迷い込んだか？」

茂みをのぞくと、1匹の狐が楽しそうに村人の様子を見つめています。白刃に気付くと、足にすりすり絡みついたあとに

???「我也見ていたぞ。また此処へ来てくれ」

そう聞こえたと思うと、タタツと茂みの方へと逃げていきます。首にはあの狐のキーホルダーがついていました。

白刃「……だから、居るなら遠慮なく言ってくれよ」

村人「おーいその人！手伝ってくれねえか？」
白刃「……あ、はーい！今行きます！」

シナリオ『稲荷の村』エンドです。お疲れ様でした。

Code・Cross #1

（Discord・通話にて）

シエト「キャンペーンシナリオ出来ただけどやる？」

狼「ん、やるか」

羅刹「なら今回はこのキャラシでw」

狼「お、おう（何だこれ……ぶっ壊れキャラシやんけ）ん？と言うかこのキャラシ羅刹のだよな？」

羅刹「え？違う違う！狼用に弄ったキャラシだよ！」

狼「ほ……？」

シエト「まあ簡単に言えば、その推奨技能とかはもう用意されているシナリオ専用のキャラシって事」

狼「あつ成程」

羅刹「で、今回私サブKPだから、主に裏側のサポートだけどね。喋らないよ」

シエト「て事で始めよう。キャンペーンオリジナルシナリオ「The Ghost

of slaughter』行くよー」

羅刹「おー！」
狼「お、おーう？」

貴方は各国から最も危険とされ命を狙われている。そして君の名前は人呼んで『Ghost』と呼ばれており、今は森の中で潜んでいる。

??? 「チツ、8ヶ国が排除令に加わったか。面倒になったな」
そこにノートパソコンからメールの通知が届くだろう。

Ghost 「差出人は？」

『Rats』君の友人であり、情報提供者だ。

Rats 『やあ、信頼の有る暗殺者君。そっちの方はどうだい？』

Ghost 「どうだいも無えよ呑気な鼠が。各国が俺を排除しようとしてるのは分かるだろ？」

Rats 『確かにそうだね……このまま君が死ぬのは私にとって最悪だ』

Ghost 「だから森の中で生活してるんだ」

Rats 『そこは変わらないんだね』

Ghost 「当たり前だ。俺は『暗殺者』だ」

Rats 『確かにそうだね』

Ghost 「仕事が無ければ暗殺者やつてる場合でもない」

Rats 『ふむ……なら現状を踏まえてこういうのはどうだい?』

Ghost 「何だよ」

Rats 『今、君は各国から排除対象として狙われている。それを逆手にとつて、各国の有力な暗殺者や殺人鬼を排除する。そうすれば国は君を良い人材と評価すると言うのは?』

Ghost 「……流石にリスクが伴い過ぎだ。此方が死ぬ可能性が高い」

Rats 『だが此方が行動にしなければ君はただ死ぬのだぞ!』

Ghost 「分かつてる。だから今は姿を現すのが最優先だ」

Rats 『姿を……どう言う事だ?』

Ghost 「確かに有力なる暗殺者やら殺人鬼の排除は賛成する……が、今は排除対象として街中も嚴重警備だろうな。無理に突っ込めば死ぬ可能性も高い。勿論、Ratsの指示でもな」

Rats 『……』

Ghost 「まずは勢力の排除だ。情報手配は此方に有るが勢力相手なら排除する方が早い」

Rats 『分かつた……一度、私の所に来てもらえないかな?』

Ghost 「了解……と言う事でRatsの所へ行く」
はい、では〈変装〉〈隠れる〉のどちらかを振って下さい。

Ghost 〈変装〉判定

成功率70% ↓ 32成功

Ghost 「て事でサラリーマンに変装する」

はい。まあ、バレずにRatsが経営している人気の無い、裏路地の喫茶店へ向かえます。

Ghost 「入るが」

カランカランとベルの音がなる。そこに居たのは茶色のフードローブを纏った女性が拳銃を構えていた。

Ghost 「Rats, it's me. It's a ghost.」

I, m glad you came to the basement. 「……」

Ghost 「Roger that」

Ratsに連れられ地下へ向かうGhost。向かうとそこは普段の物以外に多く

のモニターとキーボード、監視室と普通の部屋を組み合わせた様な作りになっていた。

R a t s 「まあ、そのソファアーにでも座ってよ」

G h o s t 「促されるまま座る。……で、一体何の用だ？」

R a t s 「これを聞いてくれないかな。一応私が調べた情報だ」

渡されたのは音声レコーダー。聞いてみますか？

G h o s t 「いや、聞くしかないだろ普通」

では、以下の情報を提出するね。

（音声ログ）

「おい、最近の話聞いたか？」

「ん？何のことだよ」

「ほら、世間を騒がせている暗殺者……えっと、G l a s s だっけ？」

「……ああ、G h o s t か？」

「そうそれ、何か彼奴に200万の懸賞金をかけたらしいんだってよ」

「マジかよ」

「俺らのボスがやる気満々だったんだけどよ、奴の場所が分からんからって総当たりで探してるんだってな」

「へえ〜」

「んで、確か奴は日常に潜んでるらしくて。見つけるのが困難とか」

「ふむ」

「だから何かしらの場所で待ち構えて一網打尽にしてやろうかって」

「そうかい」

「……もしかして興味ない感じ？」

「いや、相手は暗殺者だからよ。そんなもんで勝てるのかなって」

「大丈夫だろ。あのボスの事だぜ？」

「……なら良いが」

音声ログは此処で終わっている。

Ghost 「ふむ……んでボスの名前は？」

Rats 「それが……聞けなかった」

Ghost 「Ratsの額にRSH-12を押し付ける」

ならRatsは慌てるね。

Rats 「待つて待つて待つて落ち着いてよGhost!？」

Ghost 「何故聞けなかったのか5秒以内で答えろ」

Rats「耳を立てたんだけどバレちゃったんだよしかも聞いた場所も本拠地じゃなかったし！（早口）」

Ghost「成程……〈心理学〉」

Ghost 〈心理学〉判定

成功率66% ↓ ??

Ratsは嘘はついてないと分かる。

Ghost「……そうか。RSH-12をホルスターに仕舞う」

Rats「分かってくれて良かったよ……死ぬかと思った」

Ghost「俺は外で情報収集を行う。Ratsは此処で奴らの居場所を探れ」

Rats「はいはい……全く自由奔放なんだから……（小声）」

Ghost 〈聞き耳〉判定

成功率70% ↓ 49成功

Ghost「なんだって？」

R a t s 「ナンデモゴザイマセンッ！」

G h o s t 「そうかい。て事でもう一度〈変装〉だ」
構わないよ。振ってみて。

G h o s t 〈変装〉判定

成功率70% ↓ 4クリティカル

G h o s t 「女性に変装するよ」

ではどう見ても女性に見えるでしょう。APPは〈シークレットダイス〉……17だ
!

G h o s t 「やったぜ」

街中を歩くG h o s t。人混みが多く、テレビに映る天気予報やら事故による重体、
株価の話が流れている。

G h o s t 「(街の人には言っていないのか。あくまで警察やら特殊部隊やらヤクザや
らが俺を殺す気だな)」

では此処でG h o s tは〈聞き耳〉判定を。

Ghost 〈聞き耳〉判定
成功率70% ↓ 43成功

後方から足音が聞こえる。どうやら此方に接近している様な感じだ。

Ghost 「近くに路地裏つてある？」

まあ有るんじゃないかな？

Ghost 「なら隙ついて隠れる」

では〈隠れる〉判定。

Ghost 〈隠れる〉判定

成功率60% ↓ 95失敗

Ghost 「危」

なら隠れようと人気のない路地裏に身を隠すが振り切れない。

Ghost 「一度止まって、懐から直ぐ抜ける様にして振り返る」

了解。では振り返ると黒いフードを深く被った2人組だった。

Ghost「……誰なの？貴方達は？」

黒フードA「……（チラツ）」

黒フード「……（コク）」

2人組はそれぞれ武器を構えると襲い掛かって来た！て事で戦闘ですw
Ghost「あくまで徹底抗戦……やるしかない！」

（ラウンド1）

DEX順で黒フードA、黒フードB、Ghostの順で行くよ。

Ghost「結構早いんだ」

では黒フードAはナイフ、黒フードは体術攻撃を仕掛ける。

黒フードA 〈ナイフ〉判定

成功率??% ↓ 57失敗

黒フードB 〈キック〉判定

成功率??% ↓ 74失敗

攻撃は空を切った。

Ghost 「隙あり！トンファアアアア！」

Ghost 〈こぶし〉判定

成功率75% ↓ 97ファンブル、80失敗

Ghost 「(((;。D。)))))」

隙あり過ぎて自身に命中したなwld3のダメージだw

ダメージロールld3 ↓ 1ダメージ

Ghost 「(ゴンッ!) うぐっ!?!」

黒フードA 「……」

く라운드2く

2人組は再度攻撃してくる。

黒フードA 〈ナイフ〉判定

成功率??% ↓ 23成功

黒フードB 〈キック〉判定

成功率??% ↓ 25成功

黒フードB 〈マーシャルアーツ〉判定

成功率??% ↓ 11成功

成功したぞーw

Ghost 「回避！」

Ghost 〈回避〉判定

成功率70% ↓ 53成功、53成功

Ghost 「おつゾロ目だ。運が良いのか悪いのか」
ファンブラーなのに(ボソツ)

Ghost 〈こぶし〉判定

成功率75% ↓ 14成功、16成功

Ghost 「取り敢えず片方ずつ！」

黒フードA 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 22成功

黒フードB 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 69失敗

黒フードB 「……!?!」

Ghost 「逃がさん！」

ダメージロール1d4+1+1d6 ↓ 8ダメージ

ゴスツと音を鳴らし黒フードの一人の腹部を捉える。

黒フードB 「……ッ！」

だがよろめきもせず、立ち続けた。

Ghost 「(手応えは……無しか)」

くらウンド3く

黒フードAはサプレッサー付きの拳銃を構える。黒フードBは体術攻撃そのままだ。

黒フードA 〈拳銃〉判定

成功率??% ↓ 55成功、81失敗、23成功

黒フードB 〈キック〉判定

成功率??% ↓ 23成功

黒フードB 〈マーシャルアーツ〉判定

成功率??% ↓ 64失敗

Ghost 〈回避〉判定

成功率70% ↓ 20成功、58成功、82失敗

ダメージロール1d6+1d4 ↓ 6ダメージ

銃弾を躲すのに必死になり黒フードBの蹴りの対応に遅れた。

Ghost 「ぐっ……やるしかないっ！」（残りHP11）

Ghost 〈拳銃〉判定

成功率75% ↓ 64成功

対象h「黒フードB！」不味いぞ！w

黒フードB 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 78失敗

ダメージロール5d8+6 ↓ 30ダメージ

Ghost 〈STR×5〉判定

成功率90% ↓ 22成功

Ghost「チャンスは……その攻撃の後だ！」

黒フードB「?!?!」

ズドン！と言ふ轟音が路地裏に響く。黒フードBの頭はその場所に有ったかのように

血溜まりや血飛沫で染まっていた。

くラウンド4く

黒フードAは逃げ出そうとする。

黒フードA 〈敏捷抵抗〉判定

成功率??% ↓ 40成功

……逃げられました。戦闘終了です。

Ghost「……チツ。武器を仕舞ってRatsに通信を入れる」

ではRatsは出るね。

Ghost「Rats, This is Ghost, radio check

how do you read? Over. Rats, こちらGhost. 無線

チエツク、送れ。」

Rats『無線用語を使わないで……どうかしたー?』

Ghost「街捜索中に黒フードの2人組に追跡された。路地裏にて情報を聞こうと

したが襲つて来たのでやむを得なく発砲。1名死亡の1名逃走、Over」

Rats『警察が来る前にその死体から情報を集める事って出来る?』

Ghost「了解。情報集め次第撤退する」

Rats『うん。頼んだよ』

Ratsとの通話を切って死体を調べますか?

Ghost「勿論」

では〈目星〉〈医学〉の両方振ってみて。

Ghost 〈目星〉判定

成功率70% ↓ 51成功

Ghost 〈医学〉判定

成功率70% ↓ 94失敗

死体を調べると黄色い花を見つかる。ここで〈アイデア〉どうぞ。

Ghost 〈アイデア〉判定

成功率75% ↓ 34成功

……この花はおそらく『タンジー』と分かる。

Ghost 「タンジーか。残念ながら花の知識は持つてねえ……と言う事で帰宅」
では帰る際に〈幸運〉どうぞ。

Ghost 〈幸運〉判定

成功率70% ↓ 21成功

では何事も無く帰れる。と言う事で一旦休憩入る？

Ghost「そうする？」

そうするか、んじや15分休憩〜！

Code・Cross #2

シエト「休憩終了！続き始めるぞー！」

狼「麦茶飲んでるからちよつと待って（通話落ち）（テイロン）」

羅刹「落wちwたw」

シエト「ファンブラー狼の愛称。ファンブルの確率が高い所から命名された。他にもモフモフ、チワワ、KP殺しと呼ばれる事もがw」

狼「（通話入り）（テイロン）良っし続き始めるか！w」

羅刹「大丈夫？wリアルへコンピューター〜ファンブルしてない？w」

狼「うんw大丈夫w」

シエト「続けるぞw」

では戻った所から始めよう。帰って来た早々Ratsが救急キットを用意して待っている。

Rats「傷、見せてくれるかい？」

Ghost「別に大きな傷じゃない」

R a t s 「そう言わないの！ほら、座って！」

本気で心配しており、腕を引っ張っている。S T R 対抗は必要なく、振り解くのは簡単だろう。

G h o s t 「……分かった。だから引っ張るな」

R a t s 「分かれば宜しい！」

R a t s 〈応急手当〉判定

成功率70% ↓ 88失敗

G h o s t 「……おい。ただの強打でこんなに包帯巻くか？前が見えんぞ？」

R a t s 「念には念を……」

G h o s t 「……貸せ。俺がやる」

R a t s 「あつ……」

G h o s t 〈医学〉判定ハウスルールで〈応急手当〉を〈医学〉で代用して回復する事が出来ず。

成功率70% ↓ 48成功

回復量1d3 ↓ 1 (残りHP12)

Ghost「……こんなもんだろ。Rats、後は任せた」

Rats「今度こそ……！」

Rats 〈医学〉判定

成功率73% ↓ 99フアンブル

では、Ratsも手当をするが思いっきり決るだろう。1ダメージで。

Ghost「……ッ！」 (残りHP1)

Rats「ご、ごめん！」

Ghost「もういい、取り敢えず情報提供だ。この花について何か知らんか？」

Rats「これはタンジーだね……確か……」

Rats 〈知識〉判定

成功率85% ↓ 53成功

Rats「キク科の多年生草本でヨーロッパからアジアにかけて分布する花だね。和名はヨモギギクだった筈。そして花言葉が……『美德』『抵抗』そして何より当てはまるのが……『挑戦』『敵意』だと思う」

Ghost「成程。宣戦布告って事か、腕が鳴るな」

Rats「でもおかしいんだよね。この付近にはタンジーは無いから……」

Ghost「無いだと？」

ここでGhost「アイデア」判定。

Ghost「アイデア」判定

成功率75% ↓ 67成功

日本では変種とされる『エゾヨモギギク』と言うのが有るのを思い出すよ。

Ghost「なあRats、エゾヨモギギクとかは？」

Rats「……それなら有り得そう。探してみようか？」

Ghost「頼む」

Rats「検索に1時間掛かると思うから……」

渡して来たのは1枚の写真。写っているのは廃工場だ。

Ghost 「何だよこれ」

Rats 「この廃工場に黒いロープを纏っている髑髏の者が彷徨っているって聞いているからさ、調査しに行ってくれないかな？」

Ghost 「扱き使うのか俺を」

Rats 「頼むよ！私だって検索してるのから！」

Ghost 「ハイハイ、んじや廃工場に行くか。一応変装セットからコートと狐の仮面をつけて向かうぞ」

では、廃工場に到着したGhost。写真に記載されている場所を考えると恐らく最上階という事だろうと分かる。

Ghost 「Ratsに報告。こちらGhost、聞こえるか？」

Rats 『……こちらRats。到着した？』

Ghost 「到着したが、どう向かえば良いんだ？」

Rats 『近くにエレベーターとか無い？古いけどちゃんと動く筈だから』

Ghost 「と言うか何処にエレベーターが有るっつ」

辺りを見渡すとボロボロの業務用貨物エレベーターが見える。

Ghost 「……ボロボロの業務用貨物エレベーターが見えるんだが、まさか」

Rats 『それに乗って、保証はしないけどw』

Ghost 「保証しねえのかよ！」

Rats 『もし壊れて叩きつけられても私が回収するから』

Ghost 「死亡報告で（俺が）終わるとか嫌なんだが」

Rats 『その時は私が代役としてGhostを担当するよ』

Ghost 「無理だ諦めろクソ鼠」

クワソウネズミw

Rats 『そ、それは酷くないかい？』

Ghost 「鼠は鼠だ。俺より身長小さいのに直ぐにバレるぞ」Ghost (SIZ

15) Rats (SIZ14)

Rats 『ぐっ……女性に対して言う台詞かい？』

Ghost 「言ってる場合か。さっさと情報収集しろハツカネズミ」

Rats 『もうネズミって確定してるんじゃないか！』

Ghost 「煽てりや何とかなるもんじゃねえしな。エレベーターの基盤確認して安

全かどうかへ目星」良い？」

んー、この場合ならへ機械修理」の方が詳しいかも。

Ghost 「なら振るか」

Ghost 〈機械修理〉

成功率70% ↓ 22成功

なら一部配線が千切れおり、他にも各パーツが無くなっている痕跡が確認出来る。

Ghost「動く前に紛失したパーツと配線トラブルだ」

Rats『嘘?!私が見た時はちゃんと有ったのに……』

Ghost「……応急処置として修理してみるが」

—30%でどうぞ。

Ghost 〈機械修理〉—30%判定

成功率40% ↓ 14成功

では応急処置として多少は動くだろう。行きは大丈夫だが帰りは別の何かで降りる事になる。

Ghost「え、何。落ちても大丈夫とか言いつつ4階から落下して何故か足の骨折だけで生きてましたってのやれば良いんか？」因みにシエトの実話

やめてください（切実）

Ghost 「冗談はさておき、持ち物確認してみるか（確認中）……よし、行くぞ」

では片道切符の業務用エレベーターで上がり、写真を頼りに目的地へと向かう。ここで〈聞き耳〉どうぞ。

Ghost 「

Ghost 〈聞き耳〉判定

成功率70% ↓ 76失敗

特には何もない様だと思った瞬間だった。左足に違和感を感じる。見ると切り傷が出来ていたのだ。確認と同時に何処からか声が聞こえる。

??? 「来れない様に切断してたんだが……まさか来るとはね」

Ghost 「……姿を現せ」

??? 「それは無理な事……君は姿を知らずに消えるのだから」

突然、ヒタ……ヒタ……と後ろから足音が聞こえる。振り返りますか？

Ghost 「振り返るけど事前にトンファー構えてて良い？」

良いよ。では振り返ると多くの人影。肉は抉れ、内臓は見えており、頭が無い者も居た。俗に言う『ゾンビ』有る。SANチェックです。

Ghost 〈SANチェック〉

成功率75% ↓ 47成功

減少値は1d3の3回だw

Ghost 「数の分だけ？ならまとめて振って良い？」

良いよw

3d3 ↓ 7 残りSAN値68 (不定まで残り8)

Ghost 「うつつつわ一気に削れたな」

ハイ。アイデアアロールどうぞw

Ghost 〈アイデア〉判定

成功率75% ↓ 32成功

発狂したね。狂気内容振ってみて。

Ghost 〈発狂内容〉ロール

1d10 ↓ 5 (探索者をその場に釘づけにしてしまうかもしれないような極度の恐怖症)

Ghost 「……ッ」

動かない探索者を見ているのか、何者かは嘲笑していた。

??? 「ハツハツハ！動けないのかい？そりやそうか、屍が動いているんだからねえ？
まあ、良いさ。どうせ君はこの子達に美味しく食べられるんだからね？」

Ghost 「動け……動け！」

??? 「さあ！ご飯の時間だよ！存分にお食べ！」

ゾンビの大群は一気に襲って来る。戦闘開始だ。

さて、今シナリオ限定のバトルルール『フェイズバトル』について説明しよう。

Ghost 「の前に何ラウンド動けないか振ってて良い？」

そうだね。振って貰うか。

1d10+4 ↓ 11ラウンド

Ghost「あ、終わったわ」

待て待て、取り敢えず話の続きを。フェイズバトルはその名の通り、分割してバトルを行うんだ。今回のゾンビ軍団は3フェイズに分かれて戦うよ。1フェイズ目の敵を全滅したら次のフェイズに進むんだ。全フェイズ全滅完了すると勝利だよ。他にも2人以降の処理も有るけど、今回は1人だから説明は以上にさせて貰うね。

Ghost「おう。で、1フェイズ目の敵の数は？」

ノーマルゾンビ2体。基本攻撃は引つ掻き攻撃と噛み付き攻撃の2つ。

Ghost「ふむ。終わった」

まあ、一応御慈悲はあげるよ。

くラウンド1く

ゾンビ2体は噛み付いて来るね。

ゾンビA 〈噛み付き〉判定

成功率??% ↓ 12成功

ゾンビB 〈噛み付き〉判定

成功率??% ↓ 7成功

Ghost 「その場で〈マーシャルアーツ〉マーシャルアーツって出来る？」

恐怖症で—20%なら良いよ。

Ghost 〈マーシャルアーツ〉—20%判定

成功率41% ↓ 42失敗、48失敗

Ghost 「くっ！」

ゾンビA 「ア”ア”ア”」

ゾンビB 「ヴァ”ア”ア”！」

ダメージロール1d6+3+1d6 ↓ 9ダメージ（残りHP4）

グシャツ!

Ghost「があっ!？」

Ghost 〈ショックロール〉

成功率70% ↓ 18成功

深い一撃を2体から喰らったが、何とか耐えた。

Ghost「くっ……そ！」

???「結構いったと思っただけど、やるねえ！」

Ghost「死ぬ気はない! KP、医療キットを使って回復を行う！」
成功したら2d3回復で良いよ。

Ghost 〈医学〉判定

成功率70% ↓ 2クリティカル

ふむ、3d3回復かな。

3d3 ↓ 7 (残りHP11)

Ghost 「(これ10ラウンド持つか?)」

↳ラウンド2↳

ゾンビAは噛み付き、ゾンビBは引っ掻いてくる。

ゾンビA 〈噛み付き〉判定

成功率??% ↓ 76失敗

ゾンビB 〈引っ掻き〉判定

成功率??% ↓ 77失敗、36成功

Ghost 〈マーシャルアーツ〉判定

成功率41% ↓ 74失敗

ダメージロール1d6+4 ↓ 7ダメージ (残りHP6)

ハウスルールでバトル中のシヨックロールは1回のみとなってるよ。以降半分になっても気絶はしないから安心して。

Ghost 〈医学〉判定

成功率70% ↓ 32成功

1d3 ↓ 3 (残りHP9)

Ghost 「長期戦説」

長いから4ラウンド経過と考えよう。後3ラウンドだw

3ラウンド

ゾンビA 〈噛み付き〉判定

成功率??% ↓ 72失敗

ゾンビB 〈引っ掻き〉判定

成功率??% ↓ 92失敗、82失敗

Ghost 〈医学〉判定

成功率70% ↓ 17成功

1d3 ↓ 1 (残りHP10)

Ghost 「後2ラウンド……」

くラウンド4く

ゾンビA 〈噛み付き〉判定

成功率??% ↓ 72失敗

ゾンビB 〈引っ掻き〉判定

成功率??% ↓ 84失敗、42成功

Ghost 〈マーシャルアーツ〉判定

成功率41% ↓ 56失敗

ダメージロール1d6+4 ↓ 9ダメージ(残りHP3)

Ghost 「ギリイイイ！」

Ghost 〈医学〉判定

成功率70% ↓ 49成功

1d3 ↓ 3(残りHP6)

後1ラウンド、耐え切れるかな？

くラウンド5く

ゾンビA 〈噛み付き〉判定

成功率??% ↓ 19成功

ゾンビB 〈噛み付き〉判定

成功率??% ↓ 8成功

決まったな。

Ghost 「うおおお唸れ！俺のギャンブルダイス！」

Ghost 〈マーシャルアーツ〉判定

成功率41% ↓ 83失敗、1クリティカル

何っ!?

Ghost 「やったぜ……!」

全回避で良いぞ……畜生!

G h o s t 〈医学〉判定

成功率70% ↓ 34成功

1d3 ↓ 3 (残りHP9)

くラウンド6く

G h o s t 「良し……動ける。借りは返すぞ！」

G h o s t 〈ライフル〉判定

成功率70% ↓ 31成功、74失敗、4クリティカル

G h o s t 「必中選択だ。対象はゾンビB。喰らいな」

ゾンビA 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 100フアンブル

あ……フアンブルった。

G h o s t 「一撃かもしれない反撃ダメージロール」

ダメージロール

ゾンビA 3d8 ↓ 12ダメージ

ゾンビB 2d8 ↓ 8ダメージ

では銃弾を受けたゾンビ2体は倒れました。しかし直ぐに3体のゾンビが立ちはだかる。フェイズ2に入ります。

Ghost「敵は？」

ノーマルゾンビ1体と貴方が知らないゾンビが1体。知りたかったら〈知識〉—50%で。

Ghost 〈知識〉—50%判定

成功率40% ↓ 14成功

では首筋が見え、ゴツゴツとしており硬そうな気がする。普通のパンチじゃ効かないだろうかと思う。

Ghost「成」

ではラウンドは継続で始めます。

くラウンド7く

先行はGhost。どうする？

Ghost「試しにノーマルゾンビにライフル」

Ghost 〈ライフル〉判定

成功率70% ↓ 32成功、23成功、51成功

ゾンビA 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 9成功、50失敗、41失敗

ダメージロール4d8 ↓ 21ダメージ

見事に無数の穴を開けられて倒れたね。ではゾンビBは拳で。

ゾンビB 〈くぶし〉判定

成功率??% ↓ 47成功

ゾンビ「ウ”ア”ア”ア”ア”ア”!

Ghost「舐めてるのか?」

Ghost 〈回避〉判定

成功率70% ↓ 82失敗

Ghost 〈マーシャルアーツ〉判定

成功率61% ↓ 62失敗

Ghost「クソw惜しいw」

ダメージロール入りまーすw

Ghost「ハーイ」

ダメージロール1d3+1d6 ↓ 8ダメージ

あ、終わったw

Ghost「終わったwww」

上手く逸らそうと試みるが遅く、腹部に入る。

G h o s t 「あぐっ!?”」

そのまま、貴方の意識は途絶えるだろう。復讐の暗殺者は倒れ、誰も知られずに。狂者の宴が世に響き、肉体は喰われるだろう。シナリオエンドですwお疲れ様でした。

G h o s t 「死んだー!w」

金縛り殺人鬼 # 1

〔Discord・通話枠〕

狼「クトウルフ神話trpgしてえ」

リバス「お前、前回神話生物に対して対話してたもんな」脅威のクトウルフ神話67

狼「確かにな」

和多「何かやるんですかえ？」

狼「ほら、俺PCばっかだからKPもしたいなって」

和多「あー、キャラシ用意してきます？」

リバス「やる気だなお前w」

狼「取り敢えず何かやれるシナリオ……お？これとか良いかもな」

和多「取り敢えず推奨技能見せてよ」

狼「おけおけ」

推奨技能

戦闘技能、目星、医学

リバス「これだけ？」

狼「そうなんだよねえ」

和多「とりま作って来るねー」

狼「俺はゆつくりシナリオの内容見てるわ」

リバス「じゃあ俺黙想してるわ」

狼「お前は真面目にキャラシ作れやw」

リバス「www」

キャラシ作成中……。

狼「はい。では紹介どうぞ」

リバス「ナタノ鈍野 マサト理人。本来の仕事は薬剤師だが、偶に大学や他の学校に行つては先生として生徒達に授業を教える。腕の縫い糸は事故による傷。そこからの渾名は「フランケン先生」との事。因みに相談役としても活躍しており、お悩み相談教室が後を絶たないつてのがプロフ」

狼「ちゃんと〈医学〉は振ってるね。偉い偉い」

リバス「攻撃技能は全初期値です」

狼「前言撤回。んで和多は？」

和多「桜華^{オウカ} 椿^{ツバキ}見た目が女性に見えるが『元』男性。ダンサーを担当しているが男の

娘の方が人気らしく、手作りの衣装を着て今日も舞う……筈だった。ある日、彼は神様らしき人にプレゼントを貰い受け、開けてみるとただの空箱。悪戯かと思いきや更衣室で衣装に着替えようとすると……身体が女性になっていた。もうこれは何と言えればいいのか彼にも分からずじまい。結局、彼は諦め『女』として生きていく事としたって所」

狼「こつちは〈医学〉は振って無いけど〈戦闘技能〉は有るね」

和多「足りない技能補う為に……」

狼「ふむ、んじややるか。にこいちさん制作「金縛り殺人鬼」始めます」

探索者は、学生時代の友人である斎藤字から久し振りに連絡が来た。相談したいことがあるから会えないだろうか、といった内容であるよ。

椿「どうかしたのか？ ってメッセで送る」

『探索者達と斎藤の恩師である石田真知子と先週、偶然に再会し同窓会でも開こうかという話になった。その幹事の役を一緒にやってもらえないか？』という依頼内容。

鉈野「僕はお休みだから行けるけど、椿はどうなんですか？」

椿「いやーどうだろ？空いてるから行けるかどうか、まあ行く前提で」

引き受ける場合なら翌日の夜に実際に会って食事をしながら打ち合わせをすることになる。また、その場に恩師の石田も同席する予定だと告げられる。

椿「うんうん」

何か行動することある？

鈍野「特には」

椿「ないね」

そう？なら2日目に入るよ？

待ち合わせに指定された店を訪れると、齋藤と石田は既に到着して探索者を待つている。探索者も席に座り、同窓会について開催する場所や日時の打ち合わせを進めていく。しかし、話している齋藤は、どことなく疲れた様子であり顔色が優れない。

鈍野「齋藤、顔色が悪いけどどうかしたかい？」

齋藤「金縛りに……な」

椿「金縛り？」

齋藤「疲れているせいかな、夜になると時折、金縛りのような状態になるらしくて。また、誰かに見られているような奇妙な感覚を覚えるため常に緊張状態になってしまい精

神的に休まらない日が続いているんだよ」

鉦野「薬でも出すかい？僕は薬剤師だから色々では無いけど基本的なのなら……」

石田「本当に大丈夫か？」

石田も心配そうに、斎藤の様子を見て気遣うような言葉をかけているよ。突然だが2人は〈聞き耳〉判定だ。

椿 〈聞き耳〉判定

成功率65% ↓ 50成功

鉦野 〈聞き耳〉判定

成功率60% ↓ 27成功

成功した2人組は店のテレビでニュースが流れており、その内容が耳に入る。

『住宅街の公園で、女性の変死体が発見された。女性はバラバラの状態であり、死後数週間は過ぎてている。警察は周辺への聞き込みを行い、遺体の身元の確認を急いでいるという』

椿「物騒だな……バラバラ死体とは」

鉦野「僕達も気を付けないといけませんね」

石田「ああ、そうだな」

斎藤「……」

椿「……斎藤、本当に大丈夫か？」

斎藤「……大丈夫だ。話、続けよう」

ある程度、話をするのと解散となる。帰り際、斎藤がフラつく。斎藤は心配ないと言うが顔色が真つ青である。貧血のような状態に見える。

鈍野「〈医学〉で状態確認出来る？」
良いよ。

鈍野 〈医学〉判定

成功率70% ↓ 61成功

成功した鈍野は、症状自体は貧血に近いが、貧血ではないと感じる。

鈍野「(んんー?)」

斎藤は、探索者の方を振り向いて

斎藤「明日の朝、また連絡する」

という約束をして別れる。

椿「おう、気をつけてー」

鉦野「椿、この後の事で泊まっても良い？」

椿「どした？薬作りならお前の家でやれよ？」

鉦野「そうじゃなくてさ……金縛りについて調べたいから一緒に検索しようよ」

椿「そう言う事か、良いよ。泊まっても」

鉦野「貸しにしとくね」

では椿の家に到着し調べる所から。振れるのは〈医学〉、〈精神分析〉、〈知識の半分〉と〈コンピュータ〉または〈図書館〉、〈オカルト〉の2倍の2つ。

椿「2つ？技能は6つなのにか？」

前半3つと後半3つの内で成功したら各情報提示って訳。

鉦野「ほーん。なら〈医学〉と〈知識の半分〉行くか」

椿「ならウチは図書館で」

了解。振ってみー。

鉦野 〈医学〉判定

成功率70% ↓ 48成功

椿 〈図書館〉判定

成功率60% ↓ 36成功

お、良い出目だね。では鈍野の方から、金縛りは睡眠時、全身の脱力と脳の覚醒が同時に起こった状態。脳がすっかり覚醒していないため、夢の一種として幻覚を伴う場合があり心霊現象と結び付けられることも少なくない。覚醒時の金縛りについては、科学的には解明されておらず精神的なものだとされている。

鈍野「……主に脱力状態で脳の覚醒によるのか」

椿「おそらく斎藤もそうだろうか？」

鈍野「多分……帰ったら対応した薬を作るかな」

椿「そうしとけ」

次に椿。バラバラ死体についてオカルト系掲示板で「金縛り殺人鬼」という噂話を発見する。創作だというレスが多く付いているが、似たような話を他で聞いたと言う人物も数名存在している。

椿「多くは無いんだな……こりや情報なんかある訳ないk」

その中で1つだけ気になる記事が目に入る。

友人のA子の話。A子は、B美という古い知人に久し振りに会った。連絡先を交換し、やり取りをするようになる。その時にB美から『金縛りにあう』という話を聞いたそうだ。

しかし、数日後からA子も金縛りにあうようになったらしい。誰かに見られているような奇妙な感じがして、精神的な疲労を感じるといふ。

それから更に数日後、A子は亡くなった。無残なバラバラ死体として発見されたのである。なお、B美はA子と会った翌日に殺されていたらしい。

なら、A子と数日間やり取りしていたB美はいったい誰なのだろうか？

〈アイデア〉どうぞ。

椿「」

椿 〈アイデア〉判定

成功率75% ↓ 30成功

実際に起きている事件を元にした創作話ではないか？と思ひ至るだろう。

椿「記述された日って分かる？」

あー、載ってないから分からないかな。

椿「ほーん。KP、冷蔵庫にスピリタスってある？」

何する気なんか？w

椿「一口飲んで寝る」

そうか。なら3日目に入るぞ。

では3日目。斎藤から連絡を待つが、全く連絡が入って来ない。こちらから連絡を入れても、音信不通である。因みに椿は昨日スピリタス飲んだからまだ寝てる。

鈍野「叩き起こすけど、家とかがって分かるのか？」

探索者は、斎藤とは久々に再会をした関係のため現在の正確な住所は知らないので家を訪ねる事は出来ないかな。そう言ってる間に鈍野はボカボカ叩きますねw

鈍野「そう？（バシバシ）おい、起きてー」

椿「んう……朝？」

鈍野「朝」

何も無いなら夜まで飛ばすけど、何かする？

椿「○ン・キホーテでヘアピン買いたいかな」

おけ、ではオン・キホーテに向かってヘアピンを買いました。鉦野は？

鉦野「薬を作るかな、酔い止めの」

では〈薬学〉どうぞ。

鉦野 〈薬学〉判定

成功率70% ↓ 16成功

粉薬かな？まあ簡易酔い止め薬が出来ました。

鉦野「帰って来た椿に飲ませる」

椿「(ガチャ) たいだいmんっ!」

鉦野「はい水」

椿「んぐっ……んぐっ……何するんだよ!」

鉦野「ほら、酔い止めの薬」

椿「嗚呼……成程な」

て事で夜に入ります。夜になり、椿の携帯に漸く斎藤から連絡がくる。

椿「あ、漸く斎藤から来た」

鉦野「何て書いてある？」

渡したい物があるから、少しだけ会おうと誘われる。ただし、椿一人で来て欲しいと言ふ事だ。

椿「うーわ怪しい匂いがする」

鈍野「でも行かなきゃ無理だろうしな、何か有ったら蹴れば良いしw」

椿「それもそうなんだけどさ……行くよ」

はい、では斎藤に会いに行く

公園にて斎藤と会うだろう。疲れていたせいか、一日熟睡をしていたという。

椿「大丈夫か？とか言いつつ〈心理学〉振りたくない」

お前振つてねえだろうがw

椿「忘れてたwww」

で、斎藤が手渡したのは、紙袋であり中には学生時代の文集が入っている。同窓会の参加者に声掛けする為の住所録である。

斎藤「これなんだよな、頼めるか？」

椿「いや、頼めるか？って言われても何するんだよ？」

斎藤「声掛け」

椿「代役としてか？」

斎藤「そうそう。万が一の事を考えて椿、お前に託したいんだ」

椿「そうか……まあ、分かった。体調、直せよ？」

斎藤「善処するよ。じゃあな」

椿「おう、またなー」

で、自宅に帰宅するかな。

鉦野「……どうだった？」

椿「ただの声掛け代役の紙だよ。危ねえもんは入ってないな」

鉦野「ホツとしたよ……何渡したのかと」

椿「そらそうだろうな。と言うか、今日も止まるのか？」

鉦野「いや、家に帰るよ。流石に泊まりすぎるとね」

椿「そうか、夜道気をつけてな」

鉦野「うん、またね」

椿「またな」

で、椿はどうするのかな？

椿「貰った書類暗記かなー。て事で一枚一枚確認
文集をパラパラと捲っていると紙が挟まっているのに気付く。

椿「ん？」

斎藤は『金縛り』について調べていたら面白い事が分かる。赤ペンで、住所が記載されている。場所は閑静な住宅街である。

椿「忘れ物か？まあ明日届けるから良いけど」

ここで〈幸運〉どうぞ。

椿 〈幸運〉判定

成功率70% ↓ 23成功

【金縛り殺人鬼】についてのスレッドのコピーがあり、《B美↓石田先生/A子↓自分：？》と書かれていた。

椿「なあにこれえ〈目星〉」

椿 〈目星〉判定

成功率65% ↓ 11成功

メールアドレスが書かれている。石田、斎藤、探索者の誰のものでもない。

椿「へ？」

さらに紙袋に、赤黒い小さな染みが付いていることが分かる。

椿「??」

さらにさらに「へアイデア」どうぞ

椿 〈へアイデア〉判定

成功率75% ↓ 39成功

血痕ではないか、ということに気付く。

椿「……うん、疲れてるんだな。寝るか」

では椿、寝ているはずが、瞼が開いてしまう。自分の慣れ親しんだ部屋だが、身動きが一切取れない状況が逆に不安を煽られる。全身がずしりと重く、何かにじつと凝視されているように感じた。辛うじて動かした視線の先に、無表情の斎藤が立っていた。S ANチエック。

椿 〈SANチエック〉

成功率70% ↓ 45成功

場所には斎藤も人影も何もない。減少無しで。身体の戒めが解けたように、一気に動けるようになる。改めて見直した

金縛り殺人鬼 # 2

4日目。昨日起こった事が現実的だと思い、寝れたは寝れたが眠気が残っている状態で起床した椿と何も知らない鉤野。さあお二人さんどうする？

椿「現状の把握の為にも鉤野に電話で」

はい。では鉤野の携帯が鳴ります。差出人は椿だ。

鉤野「出るよそれはwはいもしもしこちら鉤野クリニックですが？w」

椿「馬鹿なこと言ってる暇有るのか、少し調べたい物が有るから、もう一度来てくれないか？」

鉤野「タクシー捕まえて行く、待ってて」

椿「あいよ」

では鉤野はタクシーを捕まえる事だろう。

この時間余るから、何か調べたいなら1回だけ調べて良いよ。

椿「ならまた『金縛り殺人鬼』について調べるかな」

では金縛り殺人鬼について調べると以下の情報が出てくるね。

オカルト系掲示板に投稿された創作話。投稿されたのは2ヶ月前頃である。久々に会った友人は金縛りに悩んでいた。その話を聞いた後に、自分も金縛りに合うようになる。そして、最後はバラバラにされて殺される。しかし、久々に会ったはずの友人は再会した翌日には殺されているのである。

ここで〈アイデア〉と〈図書館〉もしくは〈コンピューター〉の2倍で振れるよ。

椿「無難に図書館」

椿 〈アイデア〉判定

成功率75% ↓ 32成功

椿 「次は図書館か。よし」

椿 〈図書館〉判定

成功率60% ↓ 1クリティカル

素晴らしい。では椿は話の始まり方が斎藤、そして探索者自身の現状と似ている、と

感じる。さらにスレッドを遡れば《興味がある方は連絡ください》と書き込みがされておりメールアドレスが添えられている。クリティカルだから斎藤の資料に乗っていたメールアドレスと同じものだと分かる。

椿「何の為に……」

では鉦野も椿の家に到着した事で良いよ。

鉦野「お邪（以下略）」

椿「略すなw」

鉦野「で、どうかしたのか？」

椿「実はな……と言ひ斎藤が渡してきた書類を含めて話す」

鉦野「……じゃあこの赤ペンの住所は？」

椿「それを調べる為に向かう所だ」

鉦野「ふーん。行こうよ？」

椿「随分と承諾早いなw」

では赤ペんに記載された住所の場所に向かう途中に、ブルーシートが張られ侵入を規制するテープで封鎖されている公園がある。見張りの警官が入口には立っている。

椿「一体何が……？ 近付いて見るけどどうなってる？」

では見張りの警官が立ち塞がりますね。

警官「こちらから、ここは関係者以外立ち入り禁止ですよ！」

椿「そこを何とか……！」

鈍野「〈信用〉振ります。私はただの薬剤師で警察関係の協力でお世話だった事が有るんです。どうか話を聞かせて貰えませんか？」

鈍野 〈信用〉判定

成功率65% ↓ 62成功

警官「そこまで言うなら……実は女性の変死体が発見されまして、服装から近所に住んでいた人物でそれなりに親しい間柄の人物と会っていたのではないかと思います」

椿「……いやまさかな」

鈍野「何か引つかかったのかい？」

椿「昨日の件で呼び出された所も……いや、違うか」

警官「また、被害者は生きてままだけり裂かれて死亡したようだが人間を生きたままバラバラにするという非現実的な殺害方法から、具体的な凶器等は特定が出来ていません」

鉦野「切り口からの特定とかは出来ないのかい？」

警官「既に終わっているんですが……一致する物が無くて」

樁「一致する物が無い？じゃあどうやって……」

この話を聞いた探索者は、何か得体の知れない存在を想像してしまいゾツとする。S
ANチエックと行こうか。

樁 〈SANチエック〉

成功率70% ↓ 76失敗

鉦野 〈SANチエック〉

成功率85% ↓ 51成功

失敗した樁は1減らしとして。

鉦野「……ここで考えても難しいさ。行こう、樁」

樁「嗚呼……」(残りSAN69)

警官「どうかお気をつけて下さい」

赤ペンで記された所はどうやら1つの小さなアパートである。表札には【石田】と書

かれており、ドアがほんの僅かに開いている。

椿「石田の家かよ。と言うか不用心だな」

鉦野「にしてはおかしくないか？ 何で開いてるんだ？」

椿「そうだよな」

鉦野「空き巣でも入っていたら……」

椿「俺が先に入るよ。何か有ったら言え」

鉦野「任せた。戦闘技能取ってねえから」

〈回避〉は振ってるんだよなあ。

椿「と言う事でKP、俺だけ入る」

はい。では中に入りドアを開くと、まず目に入ったのは玄関に放り出された靴である。だがその靴は足が入れられたまま放り出されていた。足だけである。室内を見れば、足が、腕が、胴体が、頭が。あらゆる方向にバラバラに散らかり、部屋中に血液を四散させ真っ赤に汚しているのだった。

椿「うつ……ここもか……」

バラバラ死体を目撃した椿はSANチェック。

椿 〈SANチェック〉

成功率69% ↓ 86失敗

では1d4+1だ。発狂の可能性が出てきたぞw
椿「発狂フラグはへし折るもの」

SAN減少1d4+1 ↓ 3(残りSAN66)

チツ、外したか。

鉈野「露骨に舌打ちしやがったぞw」

椿「技能無しで調べたら出る情報は？」

バラバラの死体は男性物の靴を履いており、髪も短めであり男性だと辛うじて判断出来る。顔面の損傷も激しいため、人物を特定することは不可能である。

椿「……チツ」

鉈野「そつちどう？と言い中に入るけど」

椿「死体だ。誰かは分からん」

では鉈野もSANチエツク。

鈍野 〈SANチェック〉

成功率85% ↓ 63成功

では1減少で。

鈍野 「……そう、か」(残りSAN84)

椿 「死体の様子って〈目星〉？」

いや、ここでは先にアイデアかな。

椿 「察したくない」

鈍野 「察しよう」

椿 〈アイデア〉判定

成功率75% ↓ 25成功

鈍野 〈アイデア〉判定

成功率80% ↓ 14成功

体格などは分かる。SIZは10だな。

椿 「体格だけ分かってもなあ。あ、先にアイデアだから目星は振れるのか」

そう言う事。

鉦野 「医学で」

話聞いてた？まあ良いけどさ？

鉦野 〈医学〉判定

成功率70% ↓ 90失敗

現状では分からないだろう。さらに情報を集めてみれば分かるかもしれない。

鉦野 「危ない危ない」

椿 〈目星〉判定

成功率65% ↓ 76失敗

椿も辺りを見渡すが、錆びた鉄の匂いで集中出来ない。

椿 「クツソ……先に行くぞ」

鉦野 「ついて行くよ」

室内にて確認すると、机の上には、開いたままのノートと本が置いてある。

椿「中を見るけど」

中を見れば、それが石田の日記と卒業文集であるということが分かる。

鈍野「石田の日記と卒業文集だね」

椿「何でこんなところに置いてあるのやら……一応読んでみるが」

では読むと、他愛のない日常が記されている。

・少し前に長く連絡を取っていなかった妹に久し振りに会った。

・それ以後、金縛りにあうようになった。

・夢で妹が立ってこちらをじっと見ていた。

・気味の悪い夢を見たせいか寝不足のせいか貧血気味である。

・金縛り殺人鬼という噂話を聞いて、怖くなった。気になるから調べてみようかと悩

む。

と、以上の内容が読み取れるね。日記の内容はそれを最後に数週間前から更新されて
いない。

椿「恐らく最後の部分から考えて俺達と久々に会う前か？」

鈍野「どうだろうか……決定的な証拠が分からないから……」

椿「とにかく鈍野は警察を。俺はこの卒業文集を読んでみる」

鉦野「分かった。何かあったら教えて」

椿「当たり前だろ」

えーでは卒業文集。斎藤や探索者の学生時代の文集。住所を見た限りだと、一番石田の家から近い場所に当時住んでいたのは斎藤だと分かるね。

椿「現状を纏めて振り直して良い？」

鉦野「同じく振り直したいかな」

おけ、振り直してみ。

椿 〈目星〉判定

成功率65% ↓ 78失敗

椿「オオオオオ」

鉦野 〈医学〉判定

成功率70% ↓ 5クリティカル

鉦野「やったぜ！」

ふむ。なら鈍野はこの遺体は男性であると確信する。また、部屋に飛び散る血液等から被害者は生きたまま殺害された可能性を感じ取ることが出来るね。さらに、室内に写真立てがあり、そこには探索者の恩師の石田と、彼女に似た雰囲気を持つ女性が写っている写真が飾られている。〈アイデア〉ロールどうぞ。

鈍野 〈アイデア〉判定

成功率80% ↓ 35成功

写真の雰囲気から彼女本人と、その妹だということが分かるだろうね。

椿 「彼奴女かよお!？」

ごめん。ここ読んで気付いた。

鈍野 「まあ、男勝りなこと考えよう」

ありがとう。警察に通報すると、事情を聞かれる。〈信用〉に成功すれば3時間、失敗した場合は6時間で解放される事としよう。

椿 「各個人？」

載ってないから1人で良いよ。

鉦野 〈信用〉判定

成功率65% ↓ 17成功

おけ、なら3時間位事情聴取されて解放される。現状は午後1時だ。

鉦野 「タクシー捕まえて椿の家に向かうよ」

椿 「代金は俺が払うよ」

鉦野 「ありがとう椿。助かるよ」

では30分掛けて帰った来た2人組。どうする？

椿 「4日目序盤で調べようとしたメールアドレスに連絡をする」

メールアドレスに連絡すると、投稿主の実際の住所等は一切分からない。質問した場合もはぐらかされてしまう。下記に記した情報のみであり真偽の判断も不可能である。探索者がメールを送って2時間くらいで返事が返ってくるだろう。

鉦野 「待つ？」

椿 「急かしたら不味いから」

はい。では以下の情報を。

く1通目く

メールアドレスの送り先の人物が、オカルト掲示板に「金縛り殺人鬼」の話を投稿した本人であると分かる。投稿した話は、自分の実体験を元にした話であることが聞ける。『もし、探索者が同じような体験をしているのなら命が危ないかもしれない』と警告してくれる。

椿「命が……」

く2通目く

『A子ともB美とも知り合いである。また、A子と会った後から投稿主も同じく金縛りを体験したこと。A子が部屋の中に立っている夢を見たこと。不思議に思つてA子に会つてみると金縛りは気の所為だったと言われるようになったこと。それから、A子在不審に思つて調べるとB美が既に死亡していることが分かった。A子はA子ではないように感じて更に詳しく調査を開始した。その結果、信じ難い話だけ人間以外の存在に辿り着いた。そんな奇想天外な話しか出来ないけどどうする?』

鉦野「詳しく聞かせて貰うかな」

く3通目く

『調査の結果、ある怪物の存在を突き止めた。その怪物は、狙った人物の心を読み信頼する人物に成りすますことが出来る。その怪物の正体を突き止め、退けることが出来たお陰で命が助かった。もし、希望するなら詳細を話すが到底普通の人には信じられない創作話のようにも聞こえるかもしれない。それなりに覚悟を決める必要もある。それでも聞きたいか?』

椿「……しつげえ!聞くての!」

鉈野「落ち着こうよ椿」

く4通目く

P D Fが添付ファイルとして送られてくる。

『信じるか信じないかはあなた次第だが、知る気があるなら見ると良い』

と、言うメッセージが添えられている。添付P D Fは、古文書のようなものをスキヤニングして取り込んだ物のようである。字体や言い回しも古く癖のある字の為、読み解くにはへ日本語〜ロールに成功する必要がある。成功すれば、1時間をかけて読むこと

が出来る。

椿 〈母国語『日本語』〉判定

成功率80% ↓ 19成功

鉦野 〈母国語『日本語』〉判定

成功率90% ↓ 36成功

【腐敗した怪物】

それは、人間の死体が腐敗したような生き物である。巨大な鉤爪を持つこの亡霊は、犠牲者の心を読み、信頼する姿に化けて普通の人間として姿を現す。

この亡霊は、普段は実体を持たない為に物理的な刺激は受け付けない。犠牲者と心霊的な結合に成功した場合にのみ真実の姿を現す。

真実の姿を得た怪物は、血の欲望を満たそうと動き始める。巨大な鉤爪で犠牲者を殺しに現れるのだ。腐敗した怪物が倒された場合、後には爪の醜く割れた酷く胸の悪くなる悪臭を放つ死体のみが残され本体は何処かへと消え去り、また新たな場所で復活する。

この怪物を、我々は歩く妖蛆と呼び、いつか殲滅する日を渴望する。

非日常の知識に触れた探索者。SANチエックだ。

椿 〈SANチエック〉

成功率66% ↓ 26成功

鉈野 〈SANチエック〉

成功率84% ↓ 20成功

では減少なしだ。

く5通目く

『この古文書を所有している組織に現在は所属しており《探索者》という名称で呼ばれる人間である。この怪物を退けるには、真の姿を現した時に勇気を持って迎え撃つしかない。炎は無効であり、物理的な攻撃は有効である。鉤爪により重傷を負ったが力技で撃退した』

椿 「力技……体術でも行けるのか」

く6通目く

『伝えられる情報は以上である。時間的に猶予があるならば、可能な限りの頭を捻り知恵を絞って事前に準備を整えて相對することをオススメする』

以上を3時間半掛けて午後5時。さあ、どうする？

椿「えーと現状を考えよう。石田の家にて倒れていたのは石田本人か？」

鉦野「で、公園現場の死体は女性だから、アルバムから察して妹か」

椿「さらに『犠牲者の心を読み、信賴する姿に化けて普通の人間として姿を現す』って事から、誰かに化けて俺を狙っているんだよね」

鉦野「現状、死亡者と死体で組み合わせて。残っているのは……」

椿「斎藤……彼奴が本体か。『夜11時に事故現場の公園にて会えるか？』ってメール送る」

では『どうかしたか？』と返信してくる。

椿『話したい事がある。理由は聞くな』って送って待ちます」

『何が何だか分からないが……まあ、分かったよ』と返ってくる。

鉦野「どう？」

椿「来るってよ。さて、どう聞く……か」

斎藤に連絡を入れ呼び出し、公園で会うだろう。

斎藤「よつ、どうかしたのか？」

椿「石田から連絡が来なくてよ。なんか知らないか？」

斎藤「いや、俺にも分かんねえ。俺も石田と連絡が付かなくなってしまったからよ」

椿「そうか……所で腐敗した怪物の話って知ってるか？」

斎藤「腐敗した怪物？信じられない創作の笑い話だろ？」

あくまで、探索者の知る斎藤ではない。斎藤の死を知っていたり、予感している探索者はこの『斎藤の姿をした誰か』を不気味に思い恐怖を抱くかもしれない。SAN チェックだ。

椿 〈SANチェック〉

成功率66% ↓ 19成功

椿「そ、そうだよな」

斎藤「おい。まさかこれだけの事で呼んだのか？」

椿「悪い、それだけだ」

斎藤「つたく、気を付けてな？」

椿「あ、嗚呼。と言つて別れるけど」

では別れ際に〈精神対抗〉だ。

椿「自動失敗つて出来る？」

良いだろう。ではMP6消費しろ。

椿「……っ。あ、そうそう」(残りMP8)

斎藤「んー？どした？」

椿「明日の夜。廃工場に来てくれ」

斎藤「……？ああ？」

斎藤は首を傾げながらその場を離れるね。

椿「……鈍野に連絡を入れて、廃工場に向かわせる。んで、次の夜まで待つわ」

鈍野は大丈夫？

鈍野「うん。大丈夫」

では5日目の夜。斎藤は椿の言った廃工場へと来るだろう。だが斎藤の姿をしたそ

れは、徐々にドロドロと皮膚を溶解させて真の姿を現す。緑や黒、青色に変色した皮膚、腐敗して所々剥がれた肉片。指先から長く巨大な鉤爪が伸びて、アナタの命を今にも狩り盗ろうとしている死神の鎌にも見えた。腐り落ちた眼球がぶら下がり、それが収まっていたはずの眼窩には深く暗い死の色をした闇があるだけだった。腐敗した怪物、歩く妖蛆の真の姿を目撃した探索者はS A Nチエックだ。

椿 〈S A Nチエック〉

成功率66% ↓ 4クリティカル

鉈野 〈S A Nチエック〉

成功率84% ↓ 37成功

では、最後の戦いとなるだろう。生か、死か。戦闘開始だ。

くらウンドー

順番は椿↓歩く妖蛆↓鉈野の順だ。

椿「先行は俺だ！ 鬼人・武蓮流舞の力見せてやる！」

椿 〈キック〉〈マーシャルアーツ〉判定

成功率80%・71% ↓ 43成功、27成功

歩く妖蛆 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 62失敗

ダメージロール1d6+1d4+4 || 8ダメージ

剥がれた皮膚に蹴りを放つ。重い一撃だったのか跣跟めいている。

椿「スウー……フツ！」

歩く妖蛆 〈シークレットダイス〉

成功率??% ↓ 37成功

対象1d2 ↓ 1 (桜華 椿)

歩く妖蛆は椿に鉤爪を振り下ろしてくる。

椿「……！」

椿 〈回避〉判定

成功率62% ↓ 12成功

振り下ろした鉤爪は避けられた。

椿「甘い甘い！鈍野！」

鈍野「ハアッ！」

鈍野 〈ハッぶっ〉判定

成功率50% ↓ 70失敗

スカツと空を切った。

鈍野「殴るのには慣れていないからなあ……」

椿「ただこんな化物とやった事ないって言いたいんだろ？」

くラウンド2く

椿「これで終わりダアアア！トンファアアアア！」

椿 〈ハッぶっ〉判定

成功率50% ↓ 4クリティカル

歩く妖蛆 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 80失敗

ダメージロール 1d4+1+2 ↓ 4ダメージ

椿「螺旋……打ち！」

バコツ！と腹部に一撃を喰らわせたが、まだ立っている。

椿「まだだ！2回攻撃宣言！」

良かろう！

椿 〈こぶし〉判定

成功率50% ↓ 24成功

歩く妖蛆 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 73失敗

ダメージロール 1d4+1+2 ↓ 7ダメージ

椿「砕けろ！顛顛打ち！」

バギツ！と言う音を鳴らして怪物は倒れた。長くぶら下がる爪は割れて裂け、腐敗した動かない死体が転がっている。この死体が動くことは、もう無いのだ。

椿「……フウウウ」

鈍野「椿……」

呆然としている探索者の元に、1人の人物が訪れる。この死体を処理しに来たとその人物は探索者に告げる。

椿「……」

鈍野「……」

???「日常に戻る方が良い。それとも、君達はこれからも、正気をすり減らしながらこの非現実と向き合うのかい？」

椿「こんな場所まで踏んじまったんだ……やるしかねえだろ」

鈍野「同感だよ。現実ではない様だけど、やらなくちゃ」

???「そう……でも信じるか信じないかはあなた次第。あなたが望めば、これからもこの世界を生きることになるだろう」

そんな言葉を残し、歩く妖蛆が残した腐乱死体をビニール袋に包んで抱え夜の闇に消えた。これから、探索者達にはどんな未来が待ち受けているのだろうか。それは、神の

みぞ知る。シナリオオエンドです。お疲れ様でした。

七刻キザミ #1

（通話枠）

ベター「はい、今此処にいる人全員集合」

幡幡「はい！」

狼「……」

ベター「狼、無言で退出しようとするんじゃない」

狼「何故バレた」

ベター「何故バレないと思った」

狼「やりたくねえよおおお！色々と疲れてるからやりたくねえよおおお！」

幡幡「諦めて下さいw」

ベター「そもそも狂人はお前やろwとある卓で狼は戦闘狂と認定されている。」

狼「カエスコトバモゴサイマセン」

ベター「取り敢えず推奨技能ね」

推奨技能

三大技能、戦闘技能、心理学

ベター「あとは……兄弟関係兼継続とかかな？」

幡幡「兄妹関係のキャラシは持つてないです……」

狼「俺はある。貸すよ」

幡幡「申し訳ないです……つてこれ不味くないですか？」

狼「ん？どこが？」

幡幡「イヤイヤイヤイヤ」

ベター「……取り敢えず狼から」

狼「へーい。名は『七咲シチサキ 白朝ハクチヨウ』事務所『白朝シラアサノキノ記』を経営している私立探偵で長男。

普段は温厚で優しい性格だが、依頼や状況が悪化すると思いつきり変わる。幼い頃に父母、そして姉妹の家族5人で過こしてしたが、21歳の時、突如謎の放火により父母2人が焼死。絶望と対面しながらも父の元の仕事、探偵を受け継いでいる」

ベター「……〈追跡〉が高いねえ。使う予定は無いと思いたいけど」

狼「仕方ねえだろ。継続キャラなんだから」

幡幡「……」

ベター「で、幡幡のキャラシは……」

幡幡「えーと『七咲^{シチサキ}深夜^{シンヨ}』って名前かな？」

狼「アッテルヨ」

幡幡「で、「亜都場^{アトバ}大学」に通う教授で白朝の姉。幼い頃に家族5人で過ごししていたが、22歳の時、突如謎の放火により父母2人が焼死し、悲しみに暮れた深夜に座散乱木ササクレのPC。薬学が脅威の92振り。に励まされ、人を助ける為。社会に貢献する為に大学教授に就任し、家は白朝の事務所で過ごす事になった。って書いてある……」

ベター「1つ聞いていいかな狼？」

狼「はい」

ベター「何故……クトウルフ神話技能が67も有るん？」

狼「あく……魔道書4冊読んだり、クトウルフと戦ったり、ミゴに頼み込んでシアエガを帰らせてもらったり色々……」

幡幡「だからSAN値がピンチ³しかないんですね……」

狼「ソウナンダヨ。始めは『何コレ？』で始まって興味本位で読んだらゴリツと減った()」

ベター「何か……苦だな」

狼「ソウ」

幡幡「ま、まあ気を取り直していきましょよ！」

ベター「……えー、オリジナルシナリオ『七刻キザミ』始めます」

季節は夏。商店街の路地裏にある『白朝ノ記』にて探索者達は最近依頼が来ない事なのか事務所でまったりしています。

深夜「んんっ……くあああ……」

白朝「ん、おはようさん」

深夜「おはよう白朝……今何時……？」

白朝「午前9時。休みだからって寝過ぎじゃねえか？」

深夜「今日休みでしょ……長く寝ても良いじゃん……」

白朝「そうだな……目覚めの珈琲は如何？」

深夜「貰う……くあああ……」

では、そこにカランカランと音が鳴り扉が開く。どうやら君達の妹『七咲^{シチサクキ} 正葉^{シヨウハ}』だ。

正葉「ただいま。あ、姉さん、おはようございます」

白朝「おかえり、正葉」

深夜「おかえりい……」

正葉「今起きたんですか……？」

白朝「休日だから寝かせて良いさ、休日だから」

正葉「え？どういう事ですか？」

白朝「後で仕事を手伝って貰えれば良い話」

深夜「ヒエツ」

正葉はクスクス笑いながら荷物を置いて、2人に言う。

正葉「取り敢えず私は仕事があるので、午後10時位には戻ります」

白朝「分かった。気をつけなよ」

正葉「はい」

カランカランと音が鳴り、正葉は出て行った。

深夜「さて……と、珈琲飲んで頑張りますか」

白朝「燃やすなよ？」

深夜「燃やさないよ!？」

30分後。カランカランと音が鳴る。

深夜「……お客さんかな？」

白朝「俺が出る。深夜も来い」

深夜「わ、分かった……」

では白朝は事務所の扉を開けると、そこに立っていたのは女子高生だった。

??? 「す、すみません……さ、白朝ノ記探偵事務所は……こ、此処でしょうか……？」
身体は若干震えており、怯えた声で小さく言う。

白朝 「そうだが……」

??? 「し、七咲……白朝さんは……い、いらっしやいますか……？」

白朝 「私ですけど？」

??? 「あ、あの……実は……依頼の件で……ここに……」

すると急に貴方の方へ倒れ込む。

白朝 「抱えますよそりや。おい、大丈夫か!？」

どうやら気を失ってる様だ。

深夜 「白朝……? どうかしたの……?」

白朝 「分からね……急に気を失って……取り敢えず中に運ぶぞ。手伝ってくれ」

深夜 「う、うん……」

では2人で運ぶんだけど、ここでへアイデアの半分を振って貰おうかな。

白朝 〈へアイデア〉 1 / 2 判定

成功率 40% ↓ 67 失敗

深夜 〈へアイデア〉 1 / 2 判定

成功率40% ↓ 77失敗

分からなかったかな。

深夜「当たれば良かった……」

白朝「当たれば……?」

ダイスの運だから仕方ないよwでは、気付かずに事務所内に運んでソファに寝かせ
る。このまま時間飛ばすけど何か調べることある?

白朝「あく……近々の事件とか怪奇現象について調べたい」
では〈図書館〉ロール。

白朝 〈図書館〉判定

成功率65% ↓ 87失敗

白朝「全く分かんない」

深夜「手伝いますよ?」

深夜 〈図書館〉判定

成功率75% ↓ 15成功

成功した深夜。そう言えば最近、正葉の病院で夢遊病を訴える人が多いと分かる。さらに〈医学〉判定どうぞ。

深夜 〈医学〉判定

成功率65% ↓ 41成功

患者の大半は成人以下。例えば子供やら学生やらが多い。

深夜 「子供や学生……」

白朝 「ロリとかシヨタとか？」

おいやめろw

白朝 「wwwwww」

深夜 「唐突にwネタかまさないでよw」

白朝 「知るかア！w」

そんな事もあつて時間が経ち、気絶した女子高生は目を覚ます。

深夜「……あ、目が覚めましたか？」

???「あれ……私……ここは……？」

白朝「事務所中だ。体調は大丈夫か？」

???「はい……確か……事務所前で白朝さんに聞いて……急に眠気が来て……はっ!? す、すみません!はしたない姿を！」

白朝「大丈夫だ。深夜で慣れてる」

深夜「寝癖とか寝衣が開ける時とか有るから……つて何言わせんの!？」

白朝「とまあさして置いて、依頼とは何か聞こうじゃないか」

深夜「無視!?え、無視!？」

???「あの……触れてあげた方が良いんじゃないですか？」

白朝「分かった。よし来い深y」

深夜〈キック〉判定

成功率69% ↓ 66成功

ダメージロール1d6 ↓ 6

深夜「うりやあああああ！」

白朝「ノオオオオオ！」（残りHP5）

白朝〈シヨックロール〉判定

成功率50% ↓ 67失敗

白朝「わ、我が生涯に……一片の……悔い……無し……」バタツ

深夜「や、やり過ぎた!? 白朝、しっかりして!?!」

??? 「だ、大丈夫ですか!? 白朝さん!?!」

幸先から悪い事しか起きねえじやねえか! w

七刻キザミ # 2

深夜「と、取り敢えず〈応急手当〉！
はどうぞ。

深夜 〈応急手当〉判定

成功率38% ↓ 81失敗

一応、女子高生も〈応急手当〉振るか。初期値だけど。

白朝「出た初期値チャレンジ」

??? 〈応急手当〉判定

成功率30% ↓ 46失敗

あ、ダメみたいですね。復帰しません。

白朝「チーン」

深夜「お亡くなりになってるw」

なんでやwwwまだHP0じゃないやろwww

白朝「俺は一生蟬の抜け殻と化す」

分かりにくい例えやめろwでは時間経過で気絶から復帰しますw

白朝「……くっ……うあ？」

??? 「白朝さん!」

深夜「白朝ごめん!力入れ過ぎた!」

白朝「あー、いや大丈夫だ。まだ視界がぼやけているが安心しろ。あ、一応〈応急手当〉振るわ」

白朝 〈応急手当〉判定

成功率30% ↓ 14成功

回復1d3 ↓ 3(残りHP8)

では、止血出来ますね。何とか。

白朝「ハアアア何とかなった……」

深夜「内心震えてる?w」

白朝「フアンブル出すかと思ってビビったw」

深夜「草w」

取り敢えずまだ導入だから処理良い？ w

白朝&深夜「ア、ドウゾドウゾ」

では、女子高生は改めて探索者に顔を向けて話し始める。

???「私……志^{ココロウトリ} 羽鳥^{ウトリ}つて言います……亜都場大学の学生です」

深夜「狼。深夜つて亜都場大学の……」

白朝「大学教授。だけどKP、この人知ってる？」

そうだねえ……プロフ見たら深夜は医学や電子工学担当の教授だから、知らないかな。

深夜「知らないのかあ……」

白朝「で、依頼の内容とは……？」

羽鳥「あつ……はい！最近……夢遊病事件つてのを知ってますか？」

白朝&深夜「「夢遊病事件？」」

ハモんなw

羽鳥「はい……昨日電車に乗り遅れて仕方なく歩いていたんですが……寝巻きの人達

が目を閉じて歩いていて……まるで操られているみたいな感じで……」

深夜「〈クトウルフ神話〉で夢に関する神話生物って居る？」

振って見たら？

深夜「〈クトウルフ神話〉判定

成功率67% ↓ 98ファンブル

白朝「ツw」

深夜「えっw」

では思いつくのはヒュプノス、コス、クトウルフ、グラキ、イオドの5体。だがそれは夢と言うよりドリームランド関係なので分からない。さらに深く考えようとする
と持っていた医学本を落とし足に命中するだろう。1ダメージな。

深夜「痛っ！」（残りHP9）

白朝「深く考えようとするからだアホ。とにかく分かった。それについては此方で調べよう。今日は帰って安静にきなさい」

羽鳥「すみません……失礼します」

一礼して羽鳥は事務所を後にするね。さあどうする？

白朝「一応時刻確認」

時刻は午後1時を指している。

深夜「行動出来る場所とかは？」

図書館、警察署、亜都場大学、病院の4つかな。

深夜「少なっ!？」

白朝「これでも多いだろ。片っ端から調べるぞ、まずは図書館だ」

では図書館。人数は少なく、探せばそれなりの関連した本なら見つかりそう。

白朝「さあーて〈図書館〉振るか」

深夜「何か出れば良いんですけどね」

白朝 〈図書館〉判定

成功率65% ↓ 77失敗

深夜 〈図書館〉判定

成功率75% ↓ 88失敗

何も出ませんなあ！

深夜「うーん……夢遊病について振って良いですか？」
 ならもう一度〈図書館〉判定で、

深夜 〈図書館〉判定

成功率75% ↓ 44成功

では夢遊病について書かれている本を手に取り調べると、以下の事が分かる。

夢遊病とは眠っているときに体の動き、発声、歯軋りなどの異常行動。ノンレム睡眠と呼ばれる深い眠りのときに生じる睡眠障害であり、脳が部分的に覚醒している為、ベッドから起き上がって歩き回る症状が多く問題となるもの。

深夜『『ベッドから起き上がって歩き回る症状』……でも依頼内容は『寝巻きの人達が目を見て歩いており、まるで操られているみたいな感じ』だよね？』

白朝「家なら夢遊病と分かるが、これは全く違う感じがするな」

深夜「でも『操られている』と言う説は有りそうですね」

白朝「問題は『何処に向かっていた』のか……」

深夜「場所さえ分かれば良いんですけど、情報収集でも行きます?」

白朝「それしかないな。ならばさっさとチャグ探しに行くか。俺は病院に行く」

深夜「では私は亜都場大学に向かいます」

噛んだな狼w

白朝「D A ☆ M A ☆ R E」

では先に亜都場大学に行った深夜から処理しよう。現在の所はまだ休み時間だろう。生徒達がちらほら歩いている。

深夜「自身の研究室に向かつても良いですか?」

それなら有ると思うよ。あ、そうだ。あれ使うか……

白朝「……?」

では、研究室前に到着しました。中に入りますか?

深夜「ノックして入ります……自分の研究室だと思っけど保険で」

では何か悩んでいる女性の声が聞こえる。

白朝「……ああ、アイツか」

深夜「失礼します」

研究室に入る深夜……と同時にどさりどさりと本が崩れ落ちる。それと同時に声が

聞こえるだろう。

??? 「た、助けとくれ深夜教授……」

深夜 「何を……今助けます！」

では深夜は山となった本を片付けると、そこにいたのは和服に近い服を着たを女性が居た。深夜教授には分かるだろう。貴方の助手『化^{バケ}北^{キタ}狸^{ヌキ}』だ。

北狸 「いやー助かった！礼を言うぞ深夜！」

深夜 「何してるんですか……あんな状態にまで……」

北狸 「実を言うとな、とある書類を探しててのお……何処に置いたのか忘れた」

深夜 「は、はあ……」

北狸 「頼む深夜！儂と共にその書類を探してくれんか!？」

そう言つて両肩を掴んで揺らします。

深夜 「分かった！分かったから！と、止めて！」

北狸 「おお……すまぬ」

深夜 「と言う事で探します」

では、2人で数ある書類を片付け、北狸の探している書類を見つけようとする。ここので〈目星〉どうぞ。

深夜 「〈目星〉ッ!？」

深夜 〈目星〉判定

成功率70% ↓ 65成功

では北狸が探しているのとは違う、とある新聞の記事が目に入る。名前は『放棄された廃病院』と書かれている。

深夜「読んでみます」
では情報公開。

8年前に某町の森近くに建てられた病院。地震により窓ガラスは砕け、柱は倒壊しており、数箇所の階段は瓦礫により通行が不可能とされており再建設は不可能とされていた。現在では深夜に叫び声や悲鳴、窓には血液らしき赤い液体が付着しており、さらには誰かの足音も聞こえろと言う。

深夜「(……頭には入れようかな)」

更に探すと北狸が探していた書類が見つかる。

深夜「あつ、もしかしてこれですか？」

北狸「それじゃそれじゃ！儂が探していたのはそれじゃ！」

深夜「この書類つて一体なんですか……？」

北狸「まあ、簡潔的に言えば……これは廃病院と化したあとに調べた儂の報告書じゃ」

深夜「……報告……書？」

では、ここで一旦場面を切ろう。

一方、病院に向かった白朝。この病院は正葉が何時も仕事している病院だ。救急車や担架に運ばれている人が何時もより多いと思うだろう。

白朝「……夢遊病事件の影響か？取り敢えず話せる人を探すけど」

なら、何時も正葉と話している看護師を見つける。

白朝「失礼。七咲正葉の兄ですが、少しお聞きしても良いですか？」

看護師「はい？何でしょうか？」

白朝「最近、夢遊病事件とかで搬送される人って多いんですかね？」

看護師「そうですね……本来なら隔離なんですけど、日に日に多くなつていく一方で、遂には私達の中でも起きてしまつてまして……」

白朝「ふむ……貴方はその夢遊病に罹っているんですか？」

看護師「いえ、私は……」

白朝 「〈心理学〉」
振るのはKPが。

白朝 〈心理学〉判定
成功率60% ↓ ??

どうやら嘘をついていると感じる。

白朝 「(おそらく夢遊病に罹っている。こりや不味そうだな)」
ではここで〈アイデア〉ロール。

白朝 〈アイデア〉判定
成功率85% ↓ 73成功

成功した白朝。もしかしたら正葉もまでが夢遊病に罹っているのではないか？不安と共に心配となった白朝はSANチェック。

白朝 〈SANチェック〉

成功率70% ↓ 17成功

なら減少はないよ。

白朝「正葉が……いや、考えたら駄目だ。まだそう言ったと言えない。警察署に向かうぞ」

では、亜都場大学にて北狸と話している深夜に移そう。確か廃病院の報告書を見つけた所だね。

深夜「そうですね……で、何故その報告書を……?」

北狸「以前、超常現象が起きたと確認の為に向かった事があってな。結果は何の成果も出なかったんじゃない。それで今日のニュースでもしかしてと思うてな」

そう言いつつ書類を深夜に見せる。では情報公開。

ここの廃病院を探索して、色々医療器具や電源は通っておりブレーカーは落ちていないと分かる。瓦礫を退かせれば使えるはずなのに何故使わないのだろうか。

後から調べ確信出来た事がある。地下だ。地下に拷問施設らしきものがあつた。そう言えば以前ここで院長がボロボロの状態で見つかり、その後病人を殺していたからお

そらく院長が使っていた所だろう。

夜になって調べた所も確認した。どうやら幽霊やポルターガイストの一種が起きているらしく、徘徊音と悲鳴も聞こえた。怨霊か地縛霊でも居るのだろうか。だが徘徊音は幽霊でもないとするれば……？

まだ何かあるだろう。明日また探索し、書き留めた書類は取っておくことにした。

深夜「……」

北狸「どうした深夜……？」

深夜「拷問施設って……」

SANチエック行く？

深夜「お願いしようかな」

白朝「断れよw」

深夜〈SANチエック〉

成功率32% ↓ 12成功

減少なし。

深夜「ただ、徘徊音は気になりますかね……幽霊でもないとすれば？」

北狸「昨日も調べたんじゃが、やはり何も分からないのじゃ」

深夜「徘徊音の正体すらも……？」

北狸「嗚呼」

深夜「正体分からず……因みに現象つて朝にも起きる感じですか？」

北狸「朝には何も起きんな……主に深夜とかじゃ」

深夜「深夜……」

北狸「お主と掛けていないぞ？」

深夜「分かっていますよ……夢遊病との関連性が繋がりそうですね。教えてくれてあり

がとうございます」

北狸「同じ教授仲間で助手じゃからの。これ位のお礼は返さなくてはな」

深夜「では、私も警察署に行きますか」

はい。では白朝に変更しましょうか。

では白朝、警察署に向かったけど何やら話している様子。

白朝「何だろうか……話を聞きに行くが」

では話に行くと、では警官の一人が反応しますね。

警官A 「おや？君は一体……？」

白朝 「探偵の七咲白朝です。何か話していたので伺いに……」

警官A 「ああ……最近の事件の話だよ」

白朝 「最近の……と言うと夢遊病事件の事ですか？」

警官A 「そうそう。それで俺達3人総動員で動いてんだけど全然で……そうだよな？」

警官B 「セヤナー」

警官C 「ワイもそうでガンス」

白朝 「キャラ保てやw」

警官B 「でも、5人が行方不明となってるってのは聞いた事が」

警官C 「んなこと言ってるどうすんだよ」

白朝 「え、えと……」

警官A 「取り敢えず廃病院で5人も行方不明になってるのが現状だな」

白朝 「は、はあ……あ、その廃病院の場所って分かりますか？」

警官A 「あー、その事なら……おい、この探偵に地図を」

警官B 「だから！○子かもしんねえだろ！俺好みだぞ！」

警官C 「いやいやそこは伽○子やろ！」

警官A「お前ら何話してんだよ！さつさと地図貸せつて……つたく、えーとここだな。ただ行くなら気をつけてくれよ？何が起こるか分からん」

では、廃病院へと行けるようになりました。そのタイミングで深夜も合流で良いよ。

深夜「あつ白朝！此処に居たんだ！」

白朝「深夜か。大方情報は集まったぞ」

深夜「私も大方は集まりました」

白朝「でかした……あ、ありがとうございます。では失礼します」

警官A「おう、嬢ちゃんも頑張れよ。健闘を祈る」

深夜「すみません。ありがとうございます」

では事務所に帰って来た2人組。時刻は午後6時を指している。

白朝「KP、正葉が帰ってくるのって大体何時くらい？」

えーと……（ログ確認中）午後10時。

深夜「以外に長いですね。後4時間ですか……」

白朝「一応、ホームセンターとかで道具買うか？」

深夜「賛成」

えー、では事務所帰る前にホームセン寄る事で、買えるものなら買った事でいいよ。

白朝「グラップリングブックと縄、ナイフとドライアイス」

ほ、ほう？ドライアイス？まあ良いよ？

深夜「カメラと……ライトと買って買えますか？」

君達キャンプに行くわけじゃないよね？

白朝「しないしない。後はペットボトル」

ペットボトル？事務所の空ペットボトルとかないの？

白朝「あるかもな」

で、では以上でよろしいでしょうか？

深夜「私は大丈夫ですけど」

白朝「俺も大丈夫」

えーでは改めて、一通り買えて事務所に戻ると時刻は8時を指している。

白朝「さてと、後は2時間スキップで」

深夜は？

深夜「私も何もしないのでスキップをお願いします」

はい。では休憩入りますか？

七刻キザミ #3

では再会して午後10時。正葉が帰って来るのを待つと、カランカランと音がなり扉が開く。

正葉「ただいま……」

深夜「おかえりなさい、正葉」

白朝「おかえり正葉。今からご飯作るからしばらく待っててくれないか？」

正葉「うん……でも先に水飲ませて……喉乾いた」

白朝「おう、コップに水を入れて正葉に渡すぞ」

では……

正葉〈ヘシークレットダイス〉

成功率??% ↓ ??

ザシュー!……と懐からメスを出したが、空を切った。

白朝「お、おい!」

深夜「正葉!？」

正葉「ねえ……兄さん、姉さん。私の為なら何でもしてくれるかな……?？」

深夜「どうしたの正葉? 仕事先で何かあったの……?？」

白朝「相談には乗るが……」

正葉「じゃあさ……私の為に……死んでくれないかな?？」

白朝「……は?？」

では……戦闘開始!

くラウンド1く

ではDEX順に白朝↓深夜↓正葉の順で処理します。先行の白朝、どうしますか?

白朝「キックマーシャルで事務所荒らしたくないので正拳突き」

深夜「それ寧ろ荒らさない?？」

白朝「……正拳突き(ガタガタ)」

白朝〈へいぶし〉判定

成功率50% ↓ 57失敗

放った拳は空を切った。

白朝「荒らしたくない……あ、でも2回くらいは事務所荒らすか」白朝の導入で他P
しが事務所を荒らすことが多い。主に火炎瓶とかフイリピン爆竹とか
手遅れじゃねえかw

深夜「白朝！事務所荒らしても良いかな……」

白朝「大体どつかの馬鹿依頼者が荒らして来るからもう良いよ……修理費は依頼の報
酬金とかで何とかするから……」

深夜「私も出すから……取り敢えずキック」

深夜 〈キック〉判定

成功率69% ↓ 73失敗

しかし姉も空を切る。では正葉の攻撃、こぶしかnいやキックだな。

白朝「キッ……!!?」

正葉 〈キック〉判定

成功率??% ↓ 26成功

対象1d2 ↓ 1 (白朝)

白朝「……」

どうした？w

白朝「ヨツシヤコイヤオラアア！」

深夜「吹っ切れましたw」

白朝〈回避〉判定

成功率60% ↓ 28成功

振り上げた蹴りを上手く躲した。

白朝「いくら兄だからと言っても、この蹴りなら手加減は要らなさそうだな……」

く라운드2く

白朝「修理費は銀行から下ろすか……」

白朝〈キック〉判定

成功率65% ↓ 100フアンブル

白朝「(?? ?? ?)??」

では壁に穴開けて1ラウンド行動不能でw

バキッ!

白朝「あ……(ギチギチ)ぬ、抜けない!」

深夜「ち、ちよつと白朝!」

白朝「あーちよつと待ってね今抜こうとするから」

深夜「KP、壁に対してキックで足抜かせるのつて出来ます?」

良いだろう。振れw

深夜 〈キック〉判定

成功率69% ↓ 22成功

深夜「らあつ!」ブンッ……バキッ!

白朝「うわっ!」ドタッ!

蹴り込んだ一撃で白朝の足は抜けるだろうね。そこに正葉の一撃が飛んでくる。

正葉 〈キック〉判定

成功率??% ↓ 41成功

対象1d2 ↓ 2 (深夜)

深夜 〈回避〉判定

成功率74% ↓ 89失敗

ダメージロール1d6 ↓ 5ダメージ

深夜 〈シヨックロール〉

成功率45% ↓ 49失敗

あ、やったな。

深夜 「(ドガッ!) あぐっ……!?!」 (残りHP5&気絶)

白朝 「深夜!?!」

正葉 「大丈夫……後で解体してあげる……」

白朝 「やるか……やるしかないのか……?」

くらウンド3く

白朝「……やるつきやねえ！」

白朝〈キック〉判定

成功率65% ↓ 66失敗

スカッ！

白朝「くっ……相手が妹だからか……」

正葉〈キック〉判定

成功率??% ↓ 40成功

対象1d2 ↓ 2(深夜)

正葉「なら先に……姉さんを……」

白朝「KP! 庇う事は出来るか!？」

良いだろう!DEX×3を振りたまえ!

白朝「間に合えっ……!」

白朝 〈DEX×3〉判定

成功率51% ↓ 85失敗

ダメージロール1d6 ↓ 2ダメージ

正葉 「はあっ！」

深夜 「ぐうつ!」（残りHP3）

白朝 「深夜!?!もう……許さん……正葉、兄だからと言って容赦は捨てたぞ。殺す気で行くからな……」

正葉 「アハハッ……来てよ……」

くらウンド4く

白朝 「キックマーシャル……ファイナルベント」

龍騎か!w

白朝 〈キック〉判定

成功率65% ↓ 62成功

白朝 〈マーシャルアーツ〉判定

成功率46% ↓ 13成功

正葉 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 69失敗

正葉 「なっ……!!?」

白朝 「ハアアアアア……」

ダメージロール2d6+2+1d4 ↓ 10ダメージ

白朝 「オルアアアアアア!」

正葉 「ぐうううううっ!」

安全靴の蹴り込みが深く入ったのか吹っ飛び、窓ガラスに叩きつけられ割れる。そのまま正葉は外へ放り出されるだろう。

正葉 「がほっ……ごほっごほっ……」

白朝 「外に出て構えます……覚悟しろ。少し……喧嘩と言う喧嘩を教えてやる」

深夜 「安全靴で攻撃とか喧嘩の域を超えてるでしょw」

白朝 「ソコニハフレンナ」

意識がうつらうつらですが正葉のキック。

正葉 〈キック〉判定

成功率??% ↓ 90失敗

意識がまだハッキリしていないのか、蹴れませんね。

白朝 「どうした？足すら出せないのか？」

正葉 「う……五月蠅い！」

深夜 「もう喧嘩超えちやってるでしょw拳じゃなくて蹴りだしw」

くらウンド5く

では白朝、どうs

白朝 「キックマーシャル」

白朝 〈マーシャルアーツ〉判定

成功率46% ↓ 40成功

白朝 〈キック〉判定

成功率65% ↓ 57成功

白朝「正葉……歯アア食いしばれええええええ！」

ダメージロール2d6+2+1d4 ↓ 11ダメージ

正葉「ぐあああああ!?!」

一撃を受け、膝から崩れ落ちる正葉。その姿は黒く変色し霧となって消えた。この現象を見た白朝はSANチェック。

白朝〈SANチェック〉判定

成功率70% ↓ 96ファンブル

SANチェックでのファンブルクリティカルは無しだよ。取り敢えず1減少で。

白朝「あい……つて深夜だ！深夜あ！」

残りSAN値69（不定まで残り13）

では事務所に戻ると深夜はまだ意識を失っている。

白朝「おい大丈夫か!？」

白朝〈応急手当〉判定

成功率30% ↓ 20成功

回復量1d3 ↓ 2(残りHP5)

深夜「んう……白……朝？」

白朝「起きたか!？」

深夜「し……正葉は……？」

白朝「……」

深夜「ね、ねえ!?! 正葉は!？」

白朝「……」

深夜「答えてよ白朝!!」

白朝「彼奴は……正葉じゃなかった」

深夜「正葉じゃ……ない……？」

白朝「ああ……霧となって消えた」

深夜「じゃあ、本当の正葉は？」

白朝「……アイデア振るわええよ。」

白朝〈アイデア〉判定

成功率85% ↓ 16成功

白朝「(ふむ……貴方はその夢遊病に罹っているんですか?)」
看護師「(いえ、私は……)」

白朝「(おそらく夢遊病に罹っている。こりや不味そうだな)」

(成功した白朝。もしかしたら正葉もまだが夢遊病に罹っているのではないか?)

警官A「(取り敢えず廃病院で5人も行方不明になっているのが現状だな)」

白朝「……すぐに行くぞ。廃病院へ」

深夜「えっ!? どう言う事!？」

白朝「おそらく……正葉はそこに居る」

深夜「確証も無いのに行つてどうするの!？」

白朝「正葉が死ぬかもしれないんだぞ!？」

深夜「……でも!」

白朝「勿論、他の人の事も考えているさ。だからあの状況がまた起こるとは限らない。一刻にも早くこの事件に終止符を付けなくてはならん」

深夜「……でも廃病院に行つたとしても、答えが無かつたら一体どうするの?」

白朝「一から探し始めるさ……寝ずにな」

深夜「……ああもう、分かつたよ!白朝だけじゃ心配だから私も行くよ!」

白朝「そう来ると思つたよ。さて、行くか」

深夜「ええ……」

では、警官に渡した地図の記憶を頼りに廃病院へ辿り着き、中へ入つた深夜と白朝。深夜は北狸から聞いた情報通り、窓ガラスは砕け柱は倒壊しており、数箇所階段は瓦礫により通行が不可能となっている。電気は点灯していないので辺りは暗い。

深夜「むむ……位置的には入り口前ですかね?」

そうだね。一度確認して戻つた感じ。

白朝「入り口前で目星するか」

白朝 〈目星〉判定

成功率65% ↓ 48成功

深夜 〈目星〉判定

成功率70% ↓ 19成功

先に白朝、掲示板から廃病院の構造を確認出来る。どうやら2階層でエレベーターが有るらしい。

白朝 「電力さえ有れば起動出来るか」

深夜 「ブレーカーは？」

白朝 「……載ってる？」

乗ってない。

白朝 「探すしかないか……」

次に深夜だけど、各病室に居る患者名が書かれている。情報公開。

101病室	咲絵	102病室	魔廊	104病室	霊熱
201病室	早蜜	204病室	妖来		

深夜 「患者数は5人……ですか」

白朝 「……ん？ちよつと待てよ？深夜、左下何か書かれてないか？」

深夜 「左下……？え……これ……？？」

看護師
七咲
正葉
(処)

七刻キザミ #4

深夜「ど……………どうして……………正葉が……………」

白朝「分からん……………」

ではSANチェックと行きますか。

深夜〈SANチェック〉

成功率32% ↓ 77失敗

白朝〈SANチェック〉

成功率69% ↓ 75失敗

どっちも失敗したか、では1d6だw

深夜「……………」

白朝「……………」

深夜〈SAN値減少〉

1d6 ↓ 3

残りSAN値29（不定まで残り4）

白朝〈SAN値減少〉

1d6 ↓ 2

残りSAN値67（不定まで残り11）

発狂しないのかよ！

白朝「意地でも発狂するのは堪えた」

深夜「これでも結構減りにくいんですね」

白朝「幡幡の運だろ」

深夜「……そっか」

で、二人はどうしますか？

白朝「行動できる所ってどこだ？」

探せる場所と言ったら……以下の場所かな。

101～104病室、201～204病室、事務室、集中治療室、資料室

深夜「これまた多い……」

白朝「何時も通りに調べるだけだ。101号室行くぞ」

深夜「同じく」

では101号室。病室なのにパレットやイーゼル、椅子が置いてある。絵も置いてあるが黒い布に覆われており取っ払えば見ることも可能だ。

白朝「病室にパレットとイーゼルで」

深夜「目星振りますか」

深夜〈目星〉判定

成功率70% ↓ 69成功

ではイスの位置が怪しいと思う。足を見れば引き摺り痕がある。

深夜「近くに誰か居た形跡とかがあってあります？パレットとか……」

お、ではパレットには絵の具が付いている。固まっては無く、新しいと思うだろうね。白朝「誰かがこの絵を描いていたのか？布取っ払ってみるが」

では、白朝は布を取り絵を見る。それは医療ではない別の器具や血の表現。まるで拷

問部屋を連想させる様な絵だった。残酷な表現を作った絵を見て探索者は震えが止まらなくなるだろう。SANチェック。

深夜〈SANチェック〉

成功率29% ↓ 30失敗

白朝〈SANチェック〉

成功率67% ↓ 40成功

では1d6w

白朝「あつ（絶望）」

深夜〈SAN値減少〉

1d6 ↓ 6

残りSAN値23（不定確定）

深夜「あつ（察し）」

一応、アイデア振ろうか。

深夜 〈アイデア〉判定

成功率80% ↓ 84失敗

深夜 「危ないけど……」

白朝 「不定の狂気は確定だな」
取り敢えず1d10振ってみ。

深夜 〈発狂内容〉ロール

1d10 ↓ 3 (幻覚)

1d10×10 ↓ 2日22時間 (70時間)

深夜 「幻覚……」

白朝 「何見る？」

深夜 「……ティンダロス？」

じゃあティンダロスの幻影が見えるね。SANチエックは無しにしてやる。

深夜 「すみませんKP」

白朝「俺が馬鹿で」

本当だよ！極端なキャラシしか持って来るからよ！

深夜「あ、ああ……」

白朝「……どうした深夜？」

深夜「何でもない……」

白朝「……？」

ではここで深夜はオカルト。

深夜〈オカルト〉判定

成功率54% ↓ 100ファンブル

発狂してから碌な事がねえ！w

深夜「私に聞かないで下さいよお！w」

白朝「駄目だ……腹痛てえw」

えーwでは深夜は周囲の空気が澱んでいくのを感じる。息が出来ない……身体が動かない……どんどんと蝕んでくるこの空気に吞まれそうになる。SANチエックだw

深夜 〈SANチェック〉

成功率23% ↓ 32失敗

なら1d3だw

深夜 〈SAN値減少〉

1d3 ↓ 3

残りSAN値20 (不定発狂済)

深夜「ううっ……」

白朝「お、おい!? 本当に大丈夫か!？」

ではここで白朝、アイデア。

白朝 〈アイデア〉判定

成功率85% ↓ 69成功

ではあの絵から嫌な気配を感じる。

白朝「ぶっ壊す」

白朝〈キック〉判定

成功率65% ↓ 29成功

では絵は壊れる。深夜も激んだ空気が消えた様に感じる。

深夜「っ……し、死ぬかと思った……」

白朝「絵画が原因か」

すると「ち、ちよつと……!?な、何をするんですか!?!」と何処からか声が聞こえる。

白朝「誰だ。出て来い」

まあ、脅すなら出てくるね。ベッドの下から。

深夜「何処から出て来るんですか……」

???「あ、あの……何で壊すんですか!」

白朝「名を言えや」

???「私は『レイネツ靈熱』です……元画家……でした」

深夜「でした……?」

霊熱「殺されたんです……看護師に……」

白朝「看護師……それって金髪と灰色の髪を持つ子か？」

霊熱「ど、どうして知っているんですか!？」

深夜「その看護師……私の妹なんです!」

霊熱「妹さん!？」

白朝「信じられないが……カクカクシカジカで……」

霊熱「そんな事が……別に恨みはしません、その代わりにお願いが有るんです!」

深夜「お願い?」

白朝「お願いってなんだ?」

すると霊熱はベッドの下から何かを取り出す。どうやらビデオカメラみたいだ。

霊熱「こ、これを見て欲しいんです……」

白朝「見ます」

……どうやら霊熱が殺される前に撮っていた映像だ。

霊熱「い、嫌っ!?!助け……!?!」

ザシュツ……ゴトツ。

???'「まだここに居るとは予想外だが……まあ良い」

正葉「……」

??? 「来い。お前にはまだやってもらおう事が有るからな」

正葉「……はい」

??? 「あの事件の再来を……この手に……ククク」

白朝「……正葉を連れ去った犯人はこいつか」

深夜「で、でも操られてる様に見えますけど……」

白朝「……」ガツ

深夜「白朝!？」

靈熱「な、なんですか!？」

白朝「奴の場所を教えろ……今すぐにだ!」

深夜「お、落ち着いてよ白朝!？」

白朝「落ち着けるか!」

深夜「確かに、正葉を連れ去った犯人を殴りたいのは分かるけど……!」

靈熱「私だつて何処に居るかなんて知らないですよ!？」

白朝「……ッ、別れて探すぞ。靈熱、来るか?」

靈熱「は、はい……」

感情込めすぎだろw

白朝「ノリでこうなるから諦めろw」

何でやwww

白朝「知らないよwと言う事で移動じゃ！
はいよ。」

白朝「取り敢えず2階の病室から探す」

深夜「じゃあ私達は1階の病室だね」

おけおけ、じゃ梓的に長いからダイジエストで

白朝&深夜「はーい」

103号室。ここは書類が散乱している。図書館とか有れば探せるだろう。

深夜「じゃあ図書館」

深夜〈図書館〉判定

成功率75% ↓ 85失敗

出ませんねえ！

201号室。何故かベッドの上にPCが置いてある。

白朝「検索履歴とかが出て出る？」

そうだなあ……被検体のデータがありますね。

白朝「目に入る情報ないか目星」

白朝 〈目星〉判定

成功率65% ↓ 97フアンブル

ではブルスクになるなw調べる事は不可能だろうw

白朝「探偵事務所のエゴサ以降やってないからか……」

何故エゴサ。

では事務室。同じく書類と患者のカルテなどが有る。

白朝「各患者のカルテも有るな……」

深夜「……正葉のカルテはなさそうだね」

はい。では目星をどうぞ。

白朝 〈目星〉判定

成功率65% ↓ 10成功

深夜 〈目星〉判定

成功率70% ↓ 56成功

では先に深夜。引き出しからとある書物を発見する。

深夜「……あれ？これ、何でしょうか？」

白朝「ん……？」

異様な文字が連なっている。読むことは出来……

深夜「……？」

居たわ、ここに居たわ。

深夜「え？」

白朝「出番だぞ深夜」

深夜「……あつ、神話技能ですね！」

白朝「やったれ」

深夜 〈クトゥルフ神話〉判定

成功率67% ↓ 4クリティカル

白朝 「フアw」

深夜は分かりますねえ！これが『操り人形の術式』だと分かりますねえ！しかもクリティカルだから『操り人形の術式』を覚えた！

深夜 「操り人形の術式……」

白朝 「正葉が操られたのも……これが原因で……あれ、と言うか霊熱は？」

深夜 「あれ？さっきまで居たのに……あれく？」

白朝 「きつと何処かで散歩してんだろ」

深夜 「廃病院ですが……」

で、白朝なんだけど。誰かの日記を見つけるね。

白朝 「日記……読むけど」

では以下略。

○月??日

ここを訪れてから3日が経過した。他のメンバー曰く各病室には患者がおり、対話が

可能だった。さらには色々な情報が得られる為に、ここでの提供はありがたい。

▲月○日

夜な夜な看護師が徘徊している。だが様子がおかしい。他のメンバーが応答しない。断末魔が聞こえた為、おそらくあの看護師に殺されたんだ。警戒をしつつ、他のメンバーに注意喚起しなければ。

??月▲日

不味い。非常に不味い。他のメンバーが全滅した……残りは私だけだ。頼む、この日記を見ているなら、あの看護師に気をつ……た けて しぬ

ク。日記はここで途切れ、血が付いている。筆記者の最後を読んだ白朝はSANチェック。

白朝 〈SANチェック〉

成功率66% ↓ 39成功

じゃ減少なしで。

白朝「……ここにも犠牲者が居たのか」

ではここで聞き耳をどうぞ。

白朝「ハ？」

深夜「え？」

白朝〈聞き耳〉判定

成功率65% ↓ 13成功

深夜〈聞き耳〉判定

成功率75% ↓ 11成功

では……背後から寒気を感じる。

白朝&深夜「回避！」

白朝〈回避〉判定

成功率60% ↓ 76失敗

深夜〈回避〉判定

成功率74% ↓ 27成功

では難なく回避出来た深夜だったが、白朝は背後の殺気に遅れを取ってしまい、ザシュツと背後から斬られる。ダメージは……1d6+3だ。

ダメージロール 1d6+3 ↓ 6ダメージ

白朝「ぐあつ……!？」(残りHP5)

白朝〈ショックロール〉判定

成功率50% ↓ 9成功

何とか抑えたかな。

???「……おかしいですね。急所は狙ったのですが」

白朝「今度こそ本物だな……『七咲 正葉』!」

正葉「……何で死なないんですか……兄さん」

深夜「正葉……」

白朝「何で死なない……か。まあ色々な事件に遭遇するこの不運だろうな」

正葉「へえ……凄いんですね……でも、それもここまでです」

白朝「嗚呼。俺もこんな逃げ追われの決着をつけようと思うんだ」

深夜「白朝……」

白朝「大丈夫だ、殺しはしない。解除……任せたぞ」

深夜「……うん」

では……戦闘開始！

くラウンド1く

では白朝、どうしますk

白朝「マーシャルキック」

深夜「殺しはしないとは……」

白朝〈キック〉判定

成功率65% ↓ 86失敗

白朝「(スカッ)っ……」

正葉「どうしたんですか……まさか妹だから蹴れないとか言うんじゃないですよね

……?」

白朝「畜生……」

正葉〈キツク〉判定

成功率60% ↓ 93失敗

だが正葉も外す。

正葉「……命拾いしましたね」

深夜「お願い正葉！元に戻って！」

『操り人形の術式』の解除は1d3ターンで行うとするか。ただし、詠唱中は行動不可能だから気をつけて。

深夜「では解除の詠唱をします」

詠唱ターン2d3 ↓ 2ラウンド

白朝「キツツ」

深夜「2人とも体力5ですからね……」

白朝「そうじゃん！ベリーハードじゃねえか！」

くラウンド2く

(操りの術式・解除まで残り1ターン)

白朝「取り敢えずは気絶狙うか……」

白朝 〈キック〉判定

成功率65% ↓ 49成功

白朝 〈マーシャルアーツ〉判定

成功率46% ↓ 67失敗

正葉 〈回避〉判定

成功率??% ↓ 16成功

放たれた蹴りは寸前の所で躲された。

白朝「(まだ躊躇いが……あの時は怒りで蹴れたけど、今は……)」

正葉「……こつちから行きますよ」

正葉 〈キック〉判定

成功率??% ↓ 47成功
対象1d2 ↓ 2(深夜)

正葉「まずは姉さん……死んで」

深夜「っ！」

白朝「庇うっ！」

白朝〈DEX×3〉判定

成功率51% ↓ 7成功

白朝「やらせはせんっ！」ザッ!

深夜「白朝!」

正葉「なら先に兄さんから……!」

ダメージロール1d6 ↓ 2ダメージ

白朝「ぐううううっ！」(残りHP3)

深夜「そんな……私の為に……」

白朝「正葉も、深夜も家族だ……死なせる訳にはいかない！」

正葉「……」

深夜「無理はしないでよ……」

白朝「嗚呼！」

くラウンド3く

操りの術式の解除はこのターンが終わってからにしよう。生き残れるかな？

白朝「やってやる！応急手当で態勢整えるぜ！」

白朝〈応急手当〉判定

成功率30% ↓ 22成功

回復量1d3 ↓ 1 (HP残り4)

正葉「今度こそ仕留める……」

正葉〈キック〉判定

成功率??% ↓ 18成功
対象1d2 ↓ 2(深夜)

白朝「させるかあああ!」

白朝〈DEX×3〉判定

成功率51% ↓ 4クリティカル

白朝「クロスカウンター良いですかw」

良かろうw

白朝「行くぞ正葉アアアア!」

白朝〈キック〉判定

成功率65% ↓ 46成功

白朝〈マーシャルアーツ〉判定

成功率46% ↓ 17成功

白朝 ダメージロール2d6+2+1d4 ↓ 9ダメージ

正葉 ダメージロール1d6 ↓ 4ダメージ

正葉 「はああああっ！」

白朝 「クロスカウンターアアアア！」

……バキッ。

正葉 「かは……っ」（残りHP3）

白朝 「……」

詠唱が完了し青い光が正葉を包む。その瞬間、黒い靄が消えていくのが見えた。戦闘終了です。お疲れ様でした。

深夜 「正葉っ！」

正葉 「あ、あれ……私、何をしてたんだっけ……」

白朝 「良かった……元に戻ったんだな……」

正葉 「兄さん……姉さん……どうしてここに……？」

深夜 「無事で良かったよおおお！」

正葉 「ごめんなさい……………迷惑を掛けたよね……………」

白朝 「……………」

深夜 「白朝？」

正葉 「兄さん？」

白朝 「……………(バタツ) (残りHPO)」

深夜&正葉 「白朝!?! / 兄さん!?!」